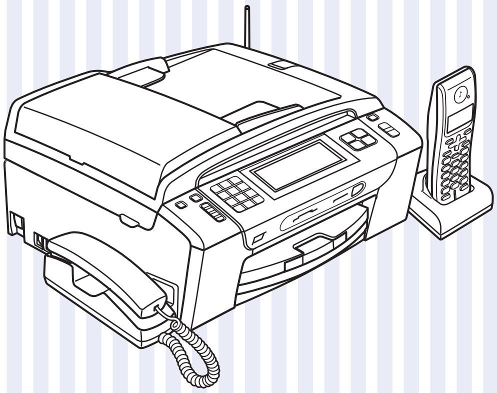
brother

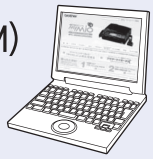
MyMio

MFC-J950DN/DWN
ユーザーズガイド
－基本編－



画面で見るマニュアル(CD-ROM)

本製品の使い方に加え、パソコンとつないだときの詳しい使い方をすばやく探せます。



困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 **第9章「こんなときは」で調べる** 231ページ

2

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。

ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

Version A JPN

ユーザーズガイドの構成

本製品には次のユーザーズガイドが用意されています。『かんたん設置ガイド』（基本編／ネットワーク編）をご覧いただき設置および接続が終了したら、『ユーザーズガイド 基本編』（本書）で安全にお使いいただくための注意や基本的な使用方法をよくお読みください。その後目的に応じて各ユーザーズガイドをご活用ください。

冊子

はじめにお読みください

■かんたん設置ガイド 基本編
・設置する
・パソコンへの接続
・ドライバ、ソフトウェアのインストール

■かんたん設置ガイド ネットワーク編
・ネットワークへの接続
・ドライバ、ソフトウェアのインストール

電話/ファクス/コピーの使い方を知りたい

■ユーザーズガイド 基本編
・電話をかける
・ファクスを送る
・コピーする
・デジタルカメラからプリントする
・RSS機能を使う
・トラブル対処/お手入れ方法
・消耗品や部品の交換

使いたい機能をすばやく探せます。

HTML（CD-ROM）

画面で見るマニュアル（HTML形式）

ユーザーズガイドの内容は、付属のCD-ROMに収録されている画面で見るマニュアル（HTML形式）からも閲覧できます。

基本編	応用編	ネットワーク設定編
・電話/ファクスの使用方法 ・RSS機能/プリンタ/コピーの使用方法 ・デジタルカメラからプリント ・トラブル対処/お手入れ方法 ・消耗品や部品の交換	・プリンタとして使う ・スキャナとして使う ・パソコンからファクスを送受信する ・RSS連携ユーティリティを活用する ・Control Centerで便利に使う	・LANにつないで使う ・ネットワークスキャナ、ネットワークプリンタとして使うための設定

CD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルを見たいときは、つぎの手順で操作します。

Windows® の場合

パソコンにドライバをインストールすると「画面で見るマニュアル（HTML形式）」のショートカットがデスクトップに作成されます。をクリックすると、画面で見るマニュアルが閲覧できます。

Macintoshの場合

1 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする
2 「Documentation」をダブルクリックする
3 「top.html」をダブルクリックする

◆画面で見るマニュアル（HTML形式）が表示されます。

最新版のマニュアルが、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードできます。

PDF

■ユーザーズガイド
基本編
応用編
ネットワーク設定編

■かんたん設置ガイド
基本編
ネットワーク編

最新のドライバーや、ファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 287 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

目次

困ったときは

付録 295

その他 .... CD-ROM

画面で見るマニュアル（HTML 形式）をみてください
- ●プリンター
- ●スキャナー
- ● PC-FAX
- ●フォトメディアキャプチャ
- ●リモートセットアップ
- ● RSS 設定
- ● ControlCenter

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
10 ページ	本書内での参照先を記載しています。

注意

■ **本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。**

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J950DN のイラストを使用しています。

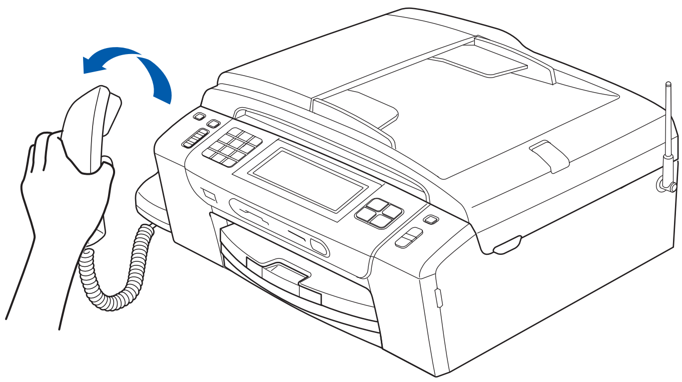
本書で対象となる製品

本書は MFC-J950DN、MFC-J950DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

電話をかける

基本的な電話のかけかたです。電話の操作方法や応用的な使用方法について詳しくは、第 2 章をご覧ください。

1 受話器台から受話器をとる



2 操作パネルのダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

相手が出たら話します。
保留にするときは、♪保留/子機 を押して、受話器を受話器台に戻します。保留ののち、通話を再開するときは、再度受話器をとります。保留が解除されます。

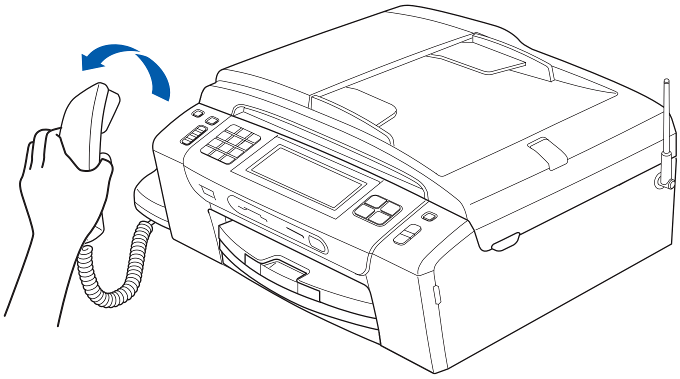
3 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

回線が切断されます。

電話を受ける

基本的な電話の受けかたです。

1 着信音が鳴ったら、受話器をとる



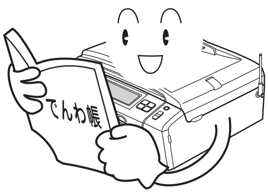
かけてきた相手と話します。
・保留にするときは、♪保留/子機 を押して、受話器を受話器台に戻します。保留ののち、通話を再開するときは、再度受話器をとります。保留が解除されます。
・子機に電話を取り次ぐときは、♪保留/子機 を押し、操作パネルのダイヤルボタンで子機の内線番号を押します。子機の相手が応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて受話器を戻します。子機が応答しない場合は、♪保留/子機 を押して、外線の相手との通話を再開します。
・通話を録音するときは、録音 を押します。録音をやめるときは 停止/終了 を押します。

2 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

回線が切断されます。

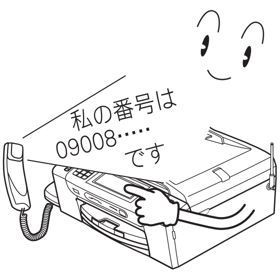
こんなこともできます

●電話帳や履歴から電話をかける



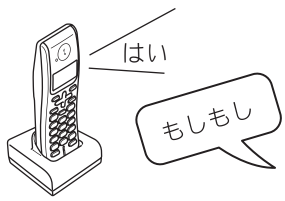
83 ページ
84 ページ

●通話を録音する



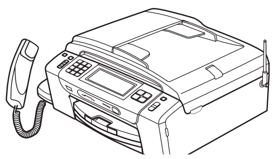
85 ページ

●受話器を持たずに電話をかける



83 ページ

●通話中のいろいろな機能



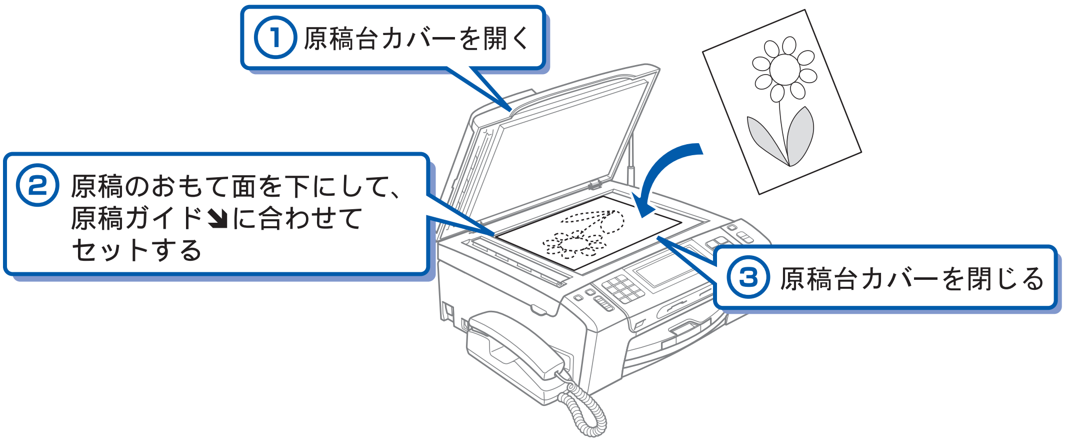
・迷惑電話を拒否する
・スピーカーホンに切り替える
・プッシュホンサービスを利用する
・受話音質を調節する
・内緒話モードにする

86 ページ
85 ページ

ファクスを送る

ファクスを送ります。

1 原稿をセットする



2 [ファクス] を押して、操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する

3 モノクロで送る場合は、[スタート モノクロ] を、カラーで送る場合は、[カラー スタート] を押す

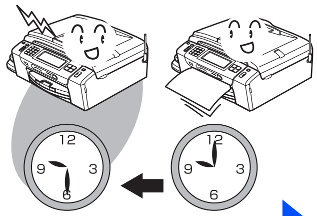
ファクスが送られます。

こんなこともできます

● 電話帳を使って送る

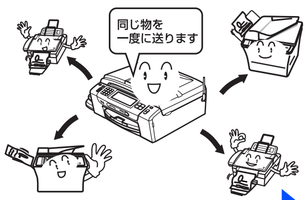
113 ページ

● 時間を指定して送る



125 ページ

●複数の相手に同じものを送る



128 ページ

ファクスを受ける

「みるだけ受信」が設定されていれば、画面でファクスを確認できます。「みるだけ受信」では、受信したファクスはメモリーに保存され、自動的に印刷されません。内容を確認してから印刷したり、印刷せずに消したりできます。
⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

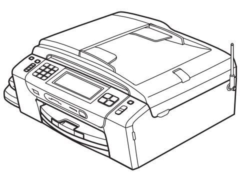
1 画面に「新着ファクス：XX」と表示されたら、【みるだけ受信】を押す

2 確認したいファクスを選ぶ

ファクスの内容が表示されます。

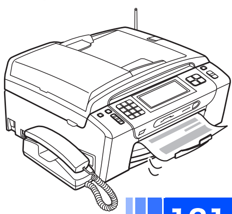
こんなこともできます

●着信音を鳴らさずに
ファクスを受ける



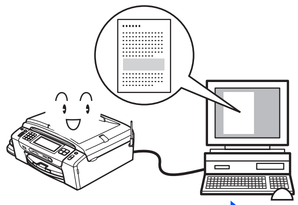
67 ページ

●ファクスを受信後、自動的に
印刷する（みるだけ受信を解除する）



121 ページ

●パソコンに転送する

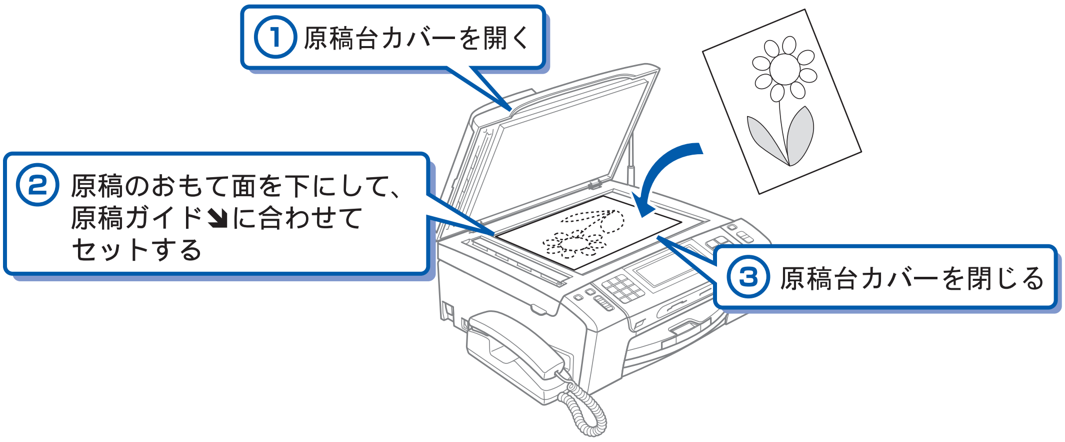


136 ページ

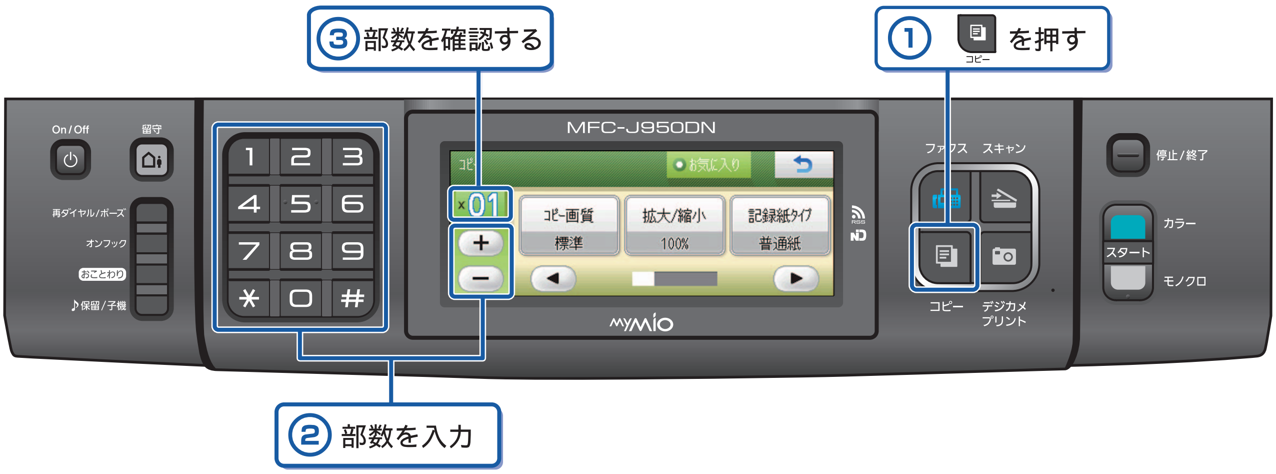
コピーする

モノクロ／カラーでコピーします。

1 原稿をセットする



2 コピー を押し、操作パネルのダイヤルボタンまたは ＋ ／ － で部数を入力する

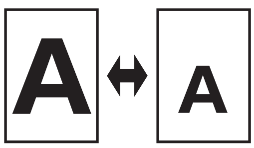


3 モノクロでコピーする場合は、スタート モノクロ を、カラーでコピーする場合は、カラー スタート を押す

コピーが開始されます。

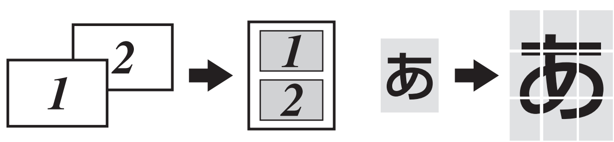
こんなこともできます

●拡大・縮小コピー



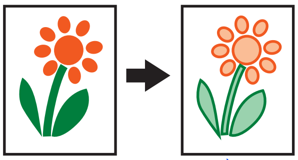
169 ページ

●N in 1 コピー／ポスターコピー



176 ページ

●インク節約モード



173 ページ

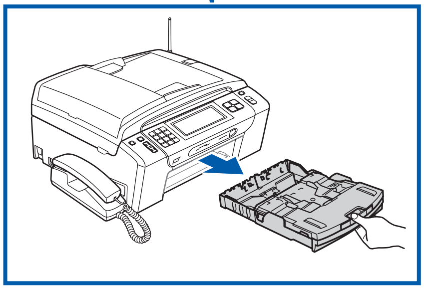
写真や動画をプリントする

メモリーカードや USB フラッシュメモリーなどメディアに保存された写真や、動画の画像をプリントします。動画は、本製品で自動的に 9 分割された画像を 1 枚の記録紙にプリントします。

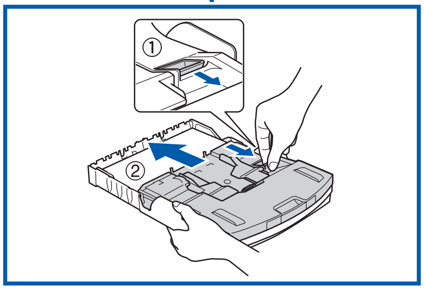
1 記録紙をスライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）にセットする

※ここでは、例として L 判の記録紙をセットする場合を説明しています。

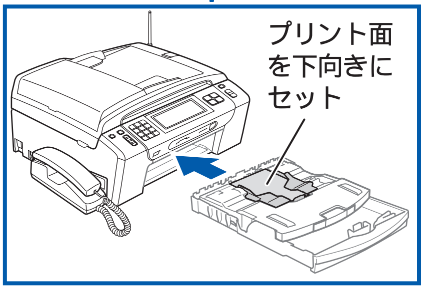
① 記録紙トレイを引き出す



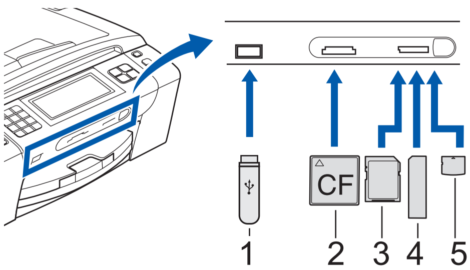
② リリースボタンをつまみ、スライドトレイを奥にずらす



③ 記録紙をセットして記録紙トレイを戻す



2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを入れる

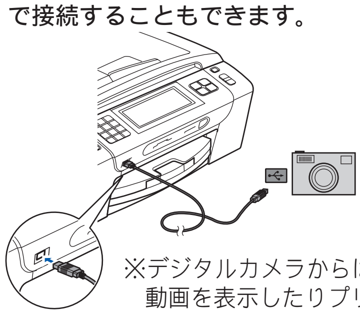


1. USBフラッシュメモリー
2. コンパクトフラッシュ® （TYPE1）
3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード
4. メモリースティック™、メモリースティック PRO™
5. xD-Picture Card™
   xD-Picture Card™ TypeM / TypeM+ / TypeH

※ miniSDカード/microSDカード/メモリースティック デュオ™/メモリースティック PRO デュオ™/メモリースティック マイクロ™ （M2™）も使用できます。本製品にセットするときはアダプターが必要です。

PictBridge

デジタルカメラと本機をUSBケーブルで接続することもできます。



※デジタルカメラからは直接動画を表示したりプリントしたりできません。

3 【かんたんプリント】を選ぶ

4 プリントする画像と枚数を設定する

※複数の写真をプリントしたいときは、①②③を繰り返します。
※動画は、ファイルを 9 分割して、それぞれ最初のシーンが縦 3 ×横 3 に配置されます。

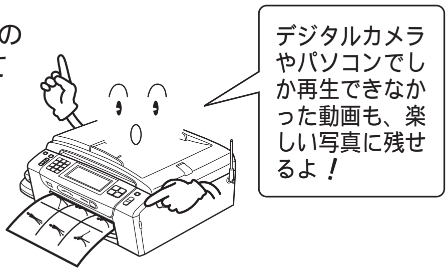
5 OK を押す

6 モノクロスタート または カラースタート を押してプリントする

選択した画像がカラーでプリントされます。

こんなこともできます

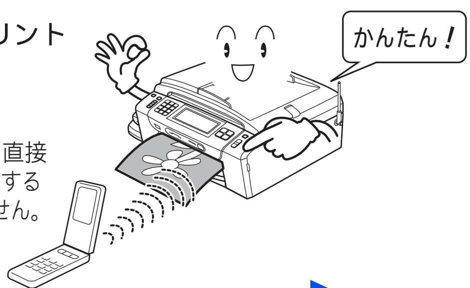
● 動画を9分割の静止画にしてプリント



189 ページ

● 赤外線プリント

※携帯電話から直接動画プリントすることはできません。



211 ページ

プリンターとして使う

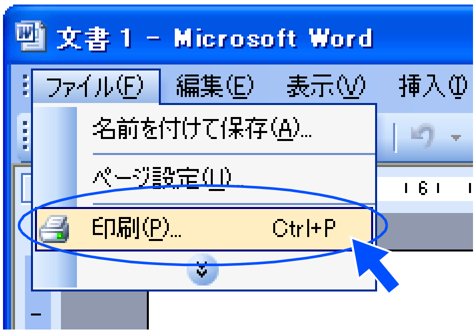
本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。

注意

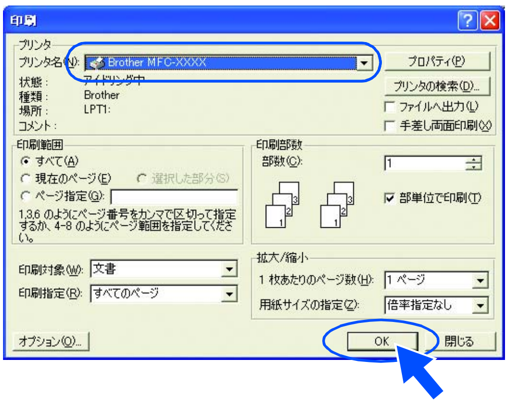
■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

Windows® の場合

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ



2 ［印刷］ダイアログボックスで、本製品を選び、［OK］をクリックする



Macintosh の場合

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

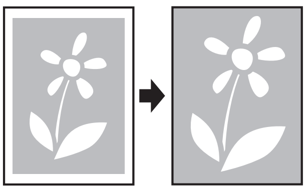
2 「対象プリンター」で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

4 ［プリント］をクリックする

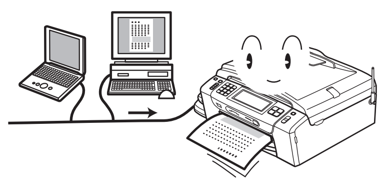
こんなこともできます

● ふちなし印刷



● おまかせ印刷

● ネットワークプリンター



「画面で見るマニュアルについて」（20 ページ）

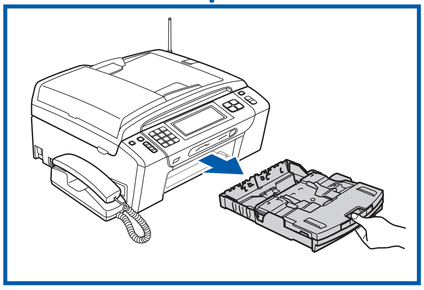
はがき（年賀状）に印刷する

スライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）を使って、はがきや年賀状に印刷します。
操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

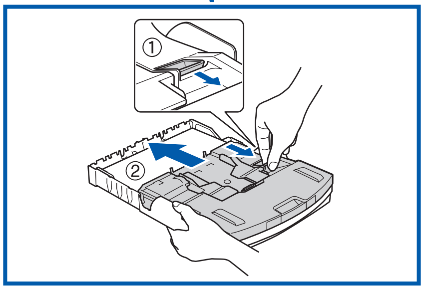
1 記録紙をスライドトレイにセットする

⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」

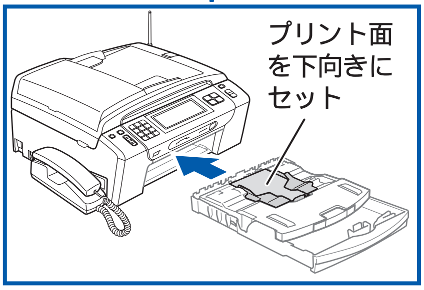
① 記録紙トレイを引き出す



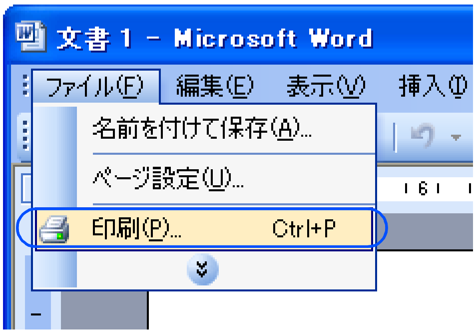
② リリースボタンをつまみ、スライドトレイを奥にずらす



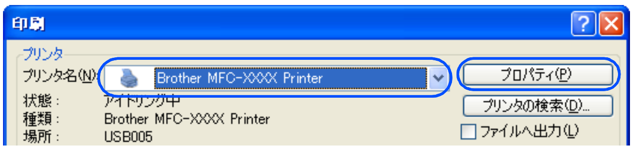
③ 記録紙をセットして記録紙トレイを戻す



2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

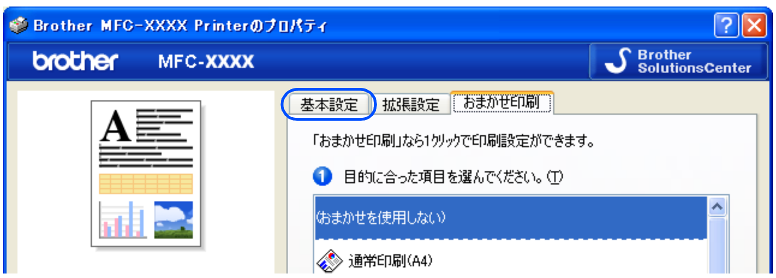


3 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする



「印刷設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 「基本設定」タブをクリックする



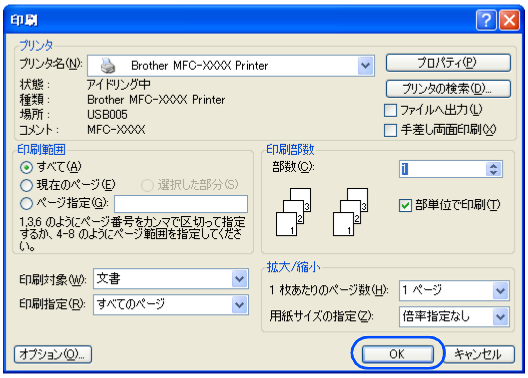
5 ［用紙種類］と［用紙サイズ］を設定し、［OK］をクリックする

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合

［用紙種類］を［インクジェット紙］に設定します。

［用紙サイズ］を［ハガキ］に設定します。

6 ［OK］をクリックする

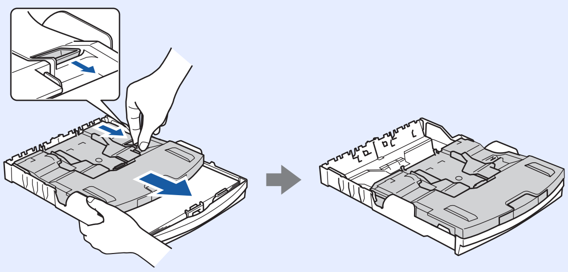


印刷が始まります。

注意

■ 印刷後、はがき・L判以外のサイズの記録紙に入れかえるときは、

- リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



- プリンタードライバーの［用紙種類］および［用紙サイズ］を設定し直してください。

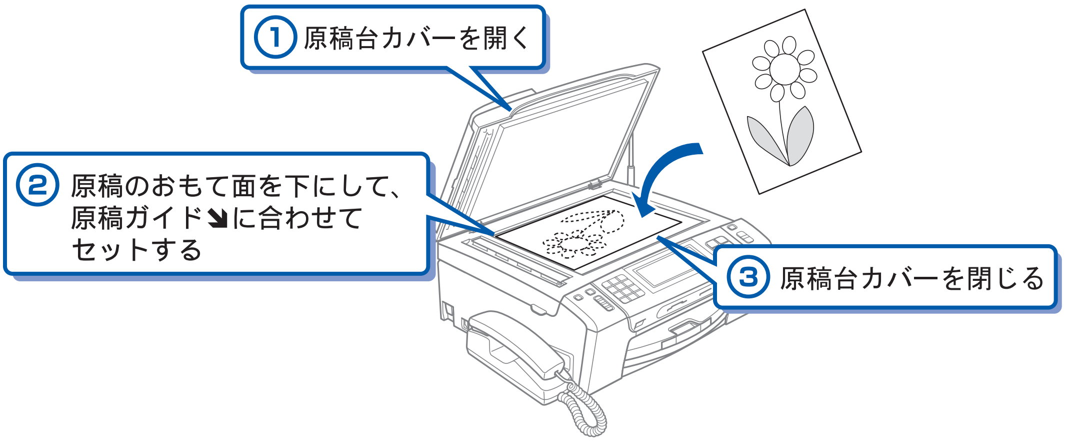
スキャンする

本製品でスキャンしたデータをパソコンに送ります。

注意

■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、「かんたん設置ガイド」（基本編／ネットワーク編）をご覧ください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする



2 スキャンを押して、【イメージ：PC 画像表示】を選ぶ

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 4 へ進んでください。

3 スキャンした画像を保存するパソコンを選んで OK を押す

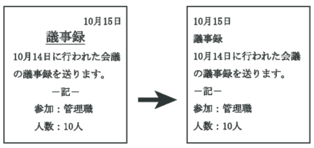
表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

4 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

スキャンが開始されます。

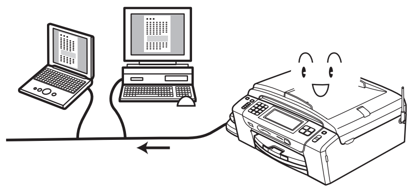
こんなこともできます

● テキストデータとして
スキャンする



● よく使う設定を登録
(ControlCenter)

● ネットワークスキャナー



「画面で見るマニュアルについて」（20 ページ）

RSS を楽しむ

RSS とは、ホームページやブログなどのウェブサイトが更新されたときに、その見出しや要約記事などを簡単にまとめて公開するというような利用方法で、多く使用され始めているウェブ上の新しい文書形式です。本製品はこの RSS 機能に対応し、あらかじめ登録しておいたウェブサイトの RSS を、街角の電光ニュースのように画面上で読むことができます。
RSS 機能を利用するためには、準備 / 設定が必要です。詳しくは、第 8 章をご覧ください。
⇒ 217 ページ「RSS」

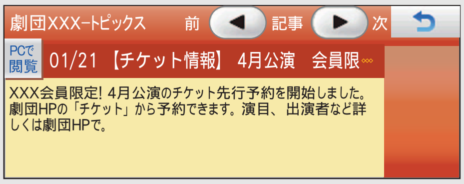
1 気になる見出しがあれば、その見出し上で画面を押す

【RSS】を【オン】に設定しておくと、待ち受け画面では、登録したウェブサイトの RSS 形式の見出しが右から左に流れて表示されています。

※ 図中のRSSサイト、見出し、要約記事は架空のものです。

2 要約記事の読みたい見出しを選ぶ

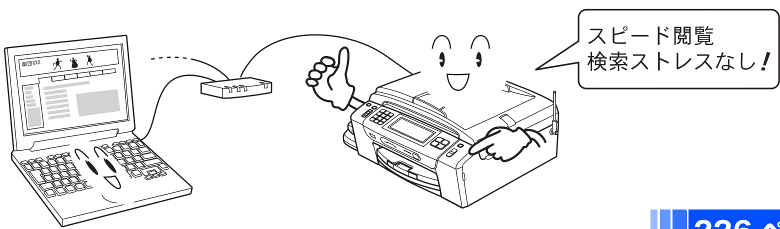
要約記事が表示されます。



※ウェブサイトによっては要約記事が配信されていないこともあります。

こんなこともできます

● PCで閲覧
本製品からパソコンに、ウェブブラウザー起動指令を出す



※ Windows®のみ

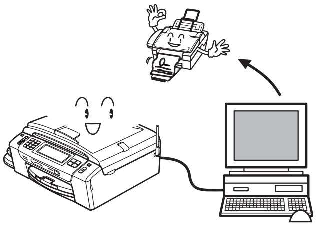
226 ページ

こんなこともできます

● その他の機能 「画面で見るマニュアルについて」（20 ページ）

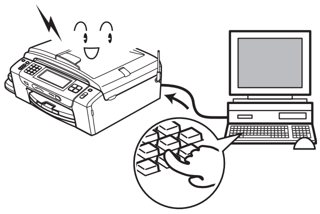
● パソコンからファクスを送る

パソコンで作成したファイルを、パソコンから直接ファクスできます。



● 本製品の設定をパソコンから変更する

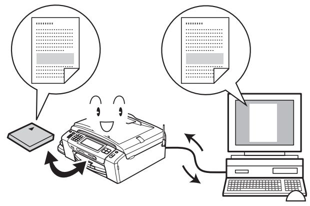
パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更できます。



● メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをリムーバブルディスクとして利用する

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter をご利用ください。⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」



● スキャナー、フォトメディアキャプチャなどを簡単に起動する
［ControlCenter］

スキャナーやフォトメディアキャプチャ機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

● 写真をプリント／加工する
［FaceFilter Studio］

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。（Windows® のみ）

画面で見るマニュアルについて

付属の CD-ROM には「画面で見るマニュアル（HTML 形式）」が収録されており、プリンター、スキャナーなどパソコンと接続して使う機能についても記載しています。
以下では画面で見るマニュアル（HTML 形式）の画面と操作を説明しています。
※この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なることがあります。

> パソコンにドライバーをインストールすると、Windows® のスタートメニューから画面で見るマニュアルを閲覧できます。
> ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-J950DN］－［画面で見るマニュアル（HTML 形式）］を選んでください。

● 表紙

1	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 機能一覧／仕様／アフターサービスのご案内などについて説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 画面で見るマニュアルを印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
4	オンラインユーザー登録のホームページに移動します。
5	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
6	「「故障かな？と思ったときは」を見る！」 故障かなと思ったときや、修理を依頼する前に確認していただきたい項目を説明しています。
	「サポートサイトにアクセス！最新の情報を調べる！」 サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）のホームページに移動します。
7	「「やりたいこと目次」を見る」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。

● 内容

1	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
2	各機能のページ（章）に移動します。
3	「やりたいこと目次」 やりたいことから操作を探せる目次を表示します。
4	現在のページを印刷します。
5	次のページに移動します。
6	操作内容を表示します。
7	現在のページの最上部に移動します。
8	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
9	前のページに移動します。
10	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「本ガイドを印刷」 画面で見るマニュアルを印刷する方法を説明しています。
	「消耗品の交換」「消耗品の注文」 インクカートリッジの交換方法や、ご注文方法を説明しています。
11	中見出し・小見出しです。
12	大見出しです。
13	トップページに移動します。

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつ、その切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

	「してはいけないこと」を示しています。		「しなければいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「水ぬれ禁止」を示しています。		

注意

■ 本製品は、クラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お客様相談窓口までご連絡ください。

■ お客様や第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。

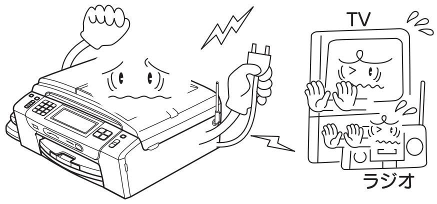
■ 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（⇒ 149 ページ「電話帳リストを印刷する」、⇒ 137 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本製品のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブへご注文ください。
⇒ 337 ページ「消耗品などのご注文について」

電波障害があるときは

本製品を設置することにより、近くに置いたラジオやスピーカー、マイク等に雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生することがあります。
その場合は電源プラグをコンセントから一度抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法で対処してください。

- 本製品をテレビやラジオから遠ざける
- 本製品またはテレビやラジオの向きを変える

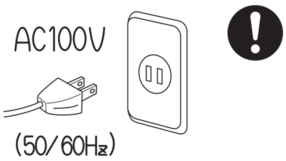


設置についてのご注意

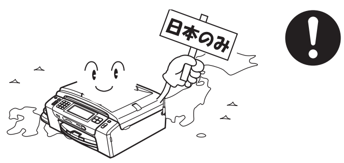
⚠警告

以下の注意事項を守らずに本製品を使用すると、火災、感電、故障、変形の原因になる場合があります。

● 電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。



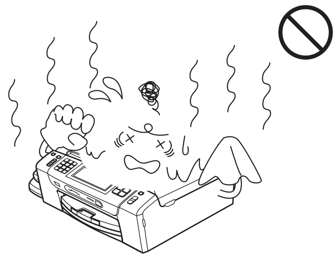
● 国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。



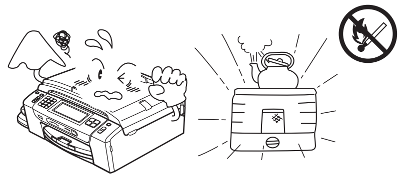
● 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。本製品からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因となります。

● 水のかかる場所（浴室や台所、加湿器のそばなど）や、湿度の高い場所には設置しないでください。漏電による感電、火災の原因になります。

● いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所には設置しないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。



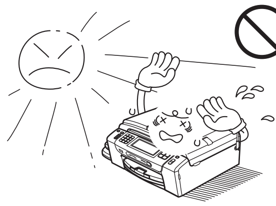
● 火気や熱器具、揮発性可燃物やカーテンに近い場所に設置しないでください。
火災や感電、事故の原因になります。



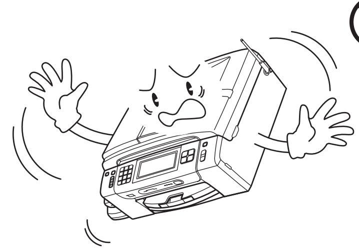
⚠注意

本製品は以下の場所に設置しないでください。けがをしたり、本製品の故障や変形の原因になります。

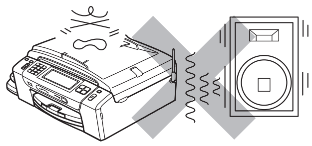
- 温度の高い場所
  直射日光が当たるところ、暖房設備などの近く



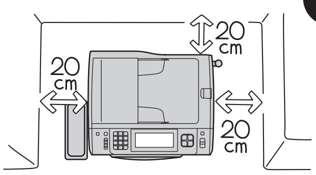
- 不安定な場所
  ぐらついた台の上や、傾いたところなど



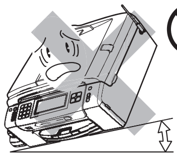
- 磁気の発生する場所
  テレビ、ラジオ、スピーカー、コタツなどの近く



- 壁のそば
  本製品を正しく使用し性能を維持するために周囲の壁から20cm 以上はなす



- 傾いたところ
  傾いたところに置くと正常に動作しないことがあります



- 風が直接当たるところ
  クーラーや換気口の近く
- ほこりや鉄粉、振動の多いところ
- 換気の悪いところ
- じゅうたんやカーペットの上

- DC 電源やインバータ（DC-AC 変換装置）を接続して使用しないでください。
  本製品を接続するコンセントが AC 電源または DC 電源のどちらかがわからない場合は、電気工事資格を持っている人に相談してください。

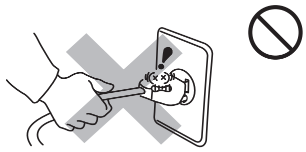
電源についてのご注意

⚠警告

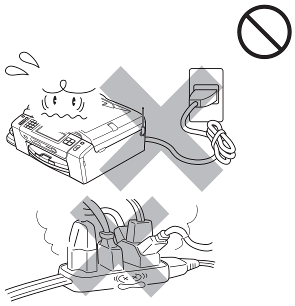
火災や感電、やけどの原因になります。

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

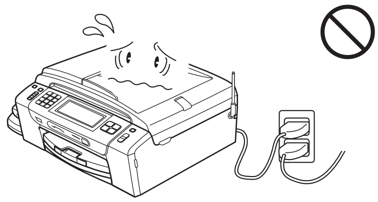
● 電源プラグを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグ（金属ではない部分）を持って抜いてください。



● たこ足配線はしないでください。
● 電源コードを破損するような以下のことはしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 加工する
- 無理に曲げる
- 高温部に近づける
- 引っ張る
- ねじる
- たばねる
- 重いものをのせる
- 挟み込む
- 金属部にかける
- 折り曲げをくりかえす
- 壁に押し付ける



● 電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源はさけてください。
誤動作の原因となります。

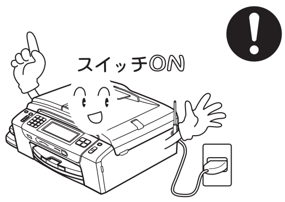


● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
● 本製品の電源プラグに液体、金属を落とさないでください。
● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠注意

火災や感電、やけどの原因になります。

● 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。また、本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。緊急時に容易にアクセスできるように本製品はコンセントの近くに設置してください。



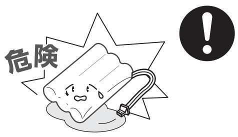
使用についてのご注意

⚠危険

バッテリの取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になります。
バッテリは、本製品内部、および子機に使われています。

● 液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。

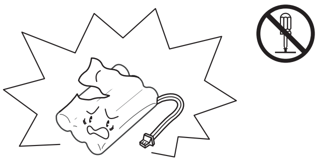
液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



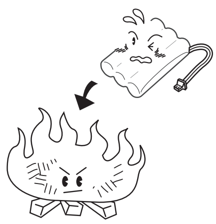
● 分解、改造をしないでください。

● バッテリ端子をショートさせないでください。やけどをする可能性があります。

● コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷つけたりしないでください。万一、傷をつけてしまったときは、使用しないでください。



● バッテリを加熱したり、火中に投げ込まないでください。



● バッテリを子機から取り出して充電しないでください。

● 温度の高いところでは充電しないでください。

● 金属製品といっしょに保管しないでください。

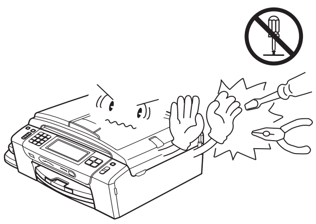
● バッテリの極性（赤 / 黒）を間違えないように入れてください。

● 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

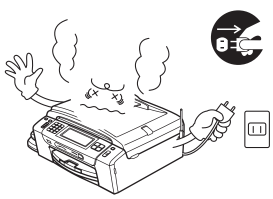
⚠警告

火災、感電、やけど、けが、故障の原因になります。

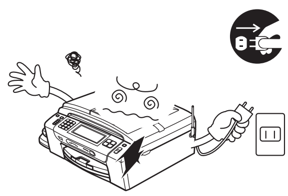
● 分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。分解、改造した場合は保証の対象外になります。



● 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源プラグをコンセントからはずし、コールセンターにご相談ください。



● 本製品を落としたり、破損したときは、電源プラグをコンセントからはずし、コールセンターにご相談ください。



● 内部に異物が入ったときは、電源プラグをはずして、コールセンターにご相談ください。

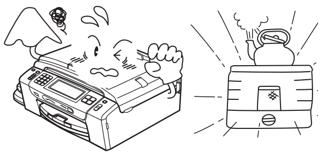
⚠警告

● 本製品に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。
万一、液体が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。

● 本製品を清掃する際、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。
火災・感電の原因となります。

可燃性スプレーの例
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレーなど
・アルコールなどの有機溶剤や液体

● 火気を近づけないでください。

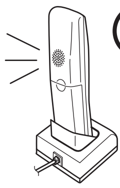


● 電源プラグのホコリなどは定期的にとってください。湿気などで絶縁不良の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

● 子機のバッテリ、子機の充電器は必ず専用のものをお使いください。
子機のバッテリを他の機器に使用しないでください。

● 万一、子機や充電器の内部に水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、子機のバッテリをはずしてコールセンターにご相談ください。

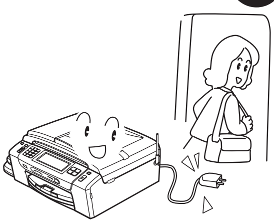
● 待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、聴覚障害の原因となることがあります。



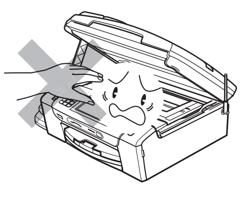
⚠注意

火災、感電、やけど、けがの原因になります。

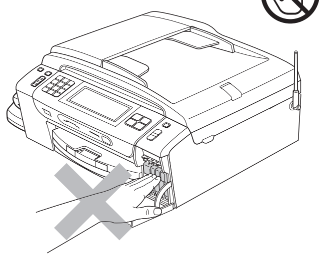
● 長期不在にするときは、安全のため電源プラグをコンセントからはずしてください。



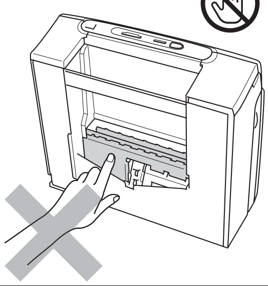
● 本体カバーを閉めるときに、指などをはさまないでください。



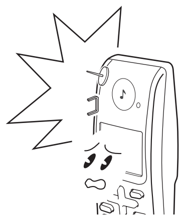
● インク挿入口に手や異物を入れないでください。



● 本製品底面の部分に手を触れないでください。

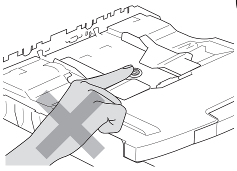


● 子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片（ホチキスの針、がびょう、針など）がついていたら取り除いてご使用ください。

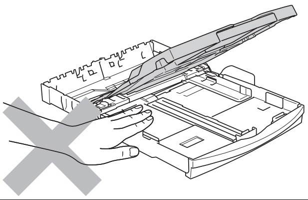


⚠注意

- スライドトレイの回転部に手をはさまないでください。



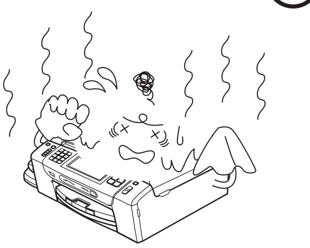
- 記録紙トレイのトレイカバーを閉めるときに、トレイの端に手を置かないでください。



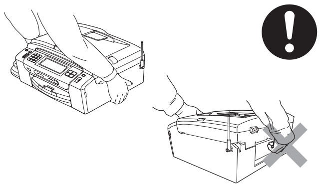
- インクカートリッジを交換するときは、インクが目や口に入ったり、皮膚に付いたりしないように注意してください。
- インクが目に入った場合は、すぐに清潔な流水で 15 分以上洗い流してください。
  皮膚に付いた場合は、すぐに水や石けんなどで洗い流してください。
  痛みなどの異常が続く場合は、医師の診察を受けてください。
- インクを飲み込んだ場合は、すぐに口を水でよく洗浄し、コップ 1 ～ 2 杯の水を飲み、すぐに医師の診察を受けてください。
- インクを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、すぐに医師の診察を受けてください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクカートリッジからインクが漏れることがあります。

- 落下、衝撃を与えないでください。

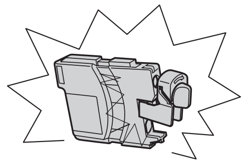
- 室内温度を急激に変えないでください。
  装置内部が結露するおそれがあります。



- 本製品を持ち上げるときは、正面から本製品の底面を持ってください。本体カバーや背面の紙づまり解除カバーを持つと、破損や落下の恐れがあります。



- インクカートリッジを分解しないでください。インクが漏れる原因になります。



- 充電器の上に硬貨などの金属を置かないでください。やけどやけがをするおそれがあります。
- 充電器からは磁力線が出ています。磁気に弱いもの（キャッシュカードなどの各種磁気カード、通帳、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。磁気に弱いものは、使えなくなる可能性があります。

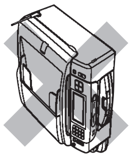
その他

⚠警告

- 製品を梱包しているビニール袋は幼児の手の届くところには置かないでください。あやまってかぶると窒息の恐れがあります。

⚠注意

- 本製品を立てて放置しないでください。
  インクが漏れる場合があります。



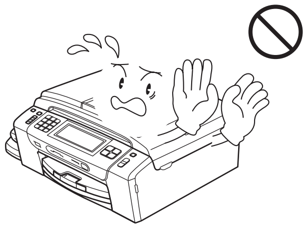
- 本製品に貼られているラベル類ははがさないでください。
- 梱包されている部品は必ず取り付けてください。

正しくお使いいただくために

本製品の使用について

● 動作中に電源プラグを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

誤動作の原因となります。

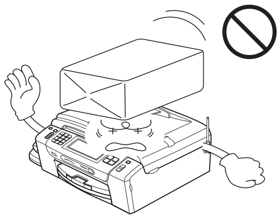


● 本製品の前方には物を置かないでください。

記録紙の排出の妨げになります。

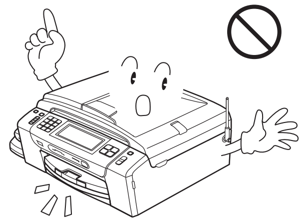
● 本製品の上に重い物を置いたり、強く押さえたりしないでください。

誤動作の原因となります。



● 指定以外の部品は使用しないでください。

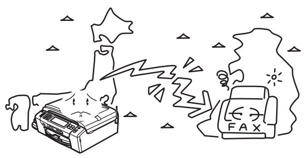
誤動作の原因となります。



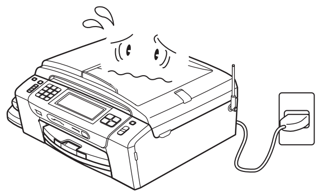
● 停電中は使用できません。

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話（AC 電源を必要としない電話機）をご用意いただくことをお勧めします。

● 海外通信をご利用になるとき、回線の状況により正常な通信ができないときがあります。



● ご利用の電話会社の支店、営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。ご利用の電話会社の支店、営業所へご相談ください。



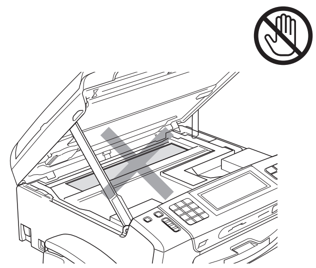
● しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。

● 記録紙は直射日光、高温、高湿を避けて保管してください。

● 本製品をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10 ～ 35 ℃
湿度：20 ～ 80％

● 記録部にはさわらないでください。



● 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

● インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

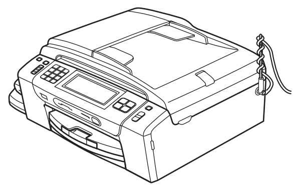
● 品質を保つため、電源を切るときは電源プラグを抜かないで電源ボタンを使用してください。

電源プラグを抜いた場合は、日付と時刻の設定をし直してください。（47 ページ）

子機の使用について

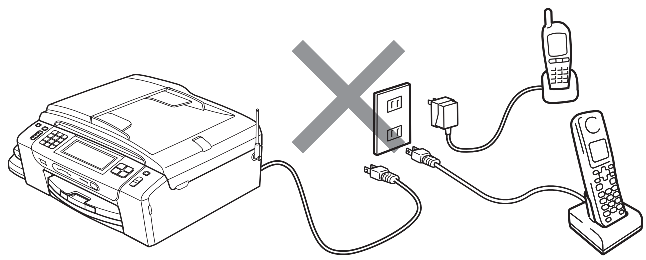
通話の途切れや、雑音について

● 電源コード、電話機コード、充電器の AC コードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりしているときは、子機の着信音が鳴らなかったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。



● 以下のような場合は雑音が入ることがあります。

- 電気製品（OA 機器、電子レンジ、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプターなど）の近くに設置しているとき
- 携帯電話や PHS、無線 LAN 機器などの AC アダプターを、子機充電台の AC コードや親機の電源コードと同じコンセントに接続しているとき

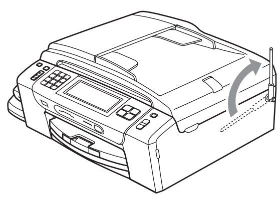


● 移動しながら子機を使用しているときは、使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。

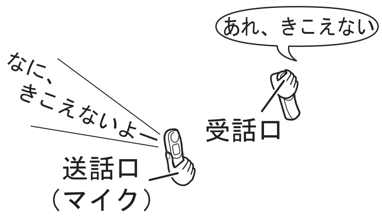
● ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、通話が途切れることがあります。一時的に親機をご使用ください。

● アンテナに無理な力を加えないでください。

● 親機のアンテナを立ててください。アンテナを立てていないと電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。



● 受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。



● その他、下記の機器でも 2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。なるべく設置場所や使用場所を離してください。

- 電子レンジ、火災報知器、工場や倉庫などの物流システム、マイクロ波治療器、自動ドア、自動制御機器、アマチュア無線局
- ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）、無線 LAN 機器、鉄道車両や緊急車両の識別システム
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー、万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など

着信音の遅れについて

● 電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

“傍受”にご注意ください

● 本製品は、デジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、コードレス子機を使っての通話は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をお勧めします。

「傍受」とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

充電器の特長

● 金属端子がないのでホコリや汚れに強く、確実に充電ができます。

子機の電波に関するご注意

● **本製品は、2.40GHz ～ 2.4835GHz の全帯域を使用する無線設備です**
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、
与干渉距離は 80m です。
本製品には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4 FH8

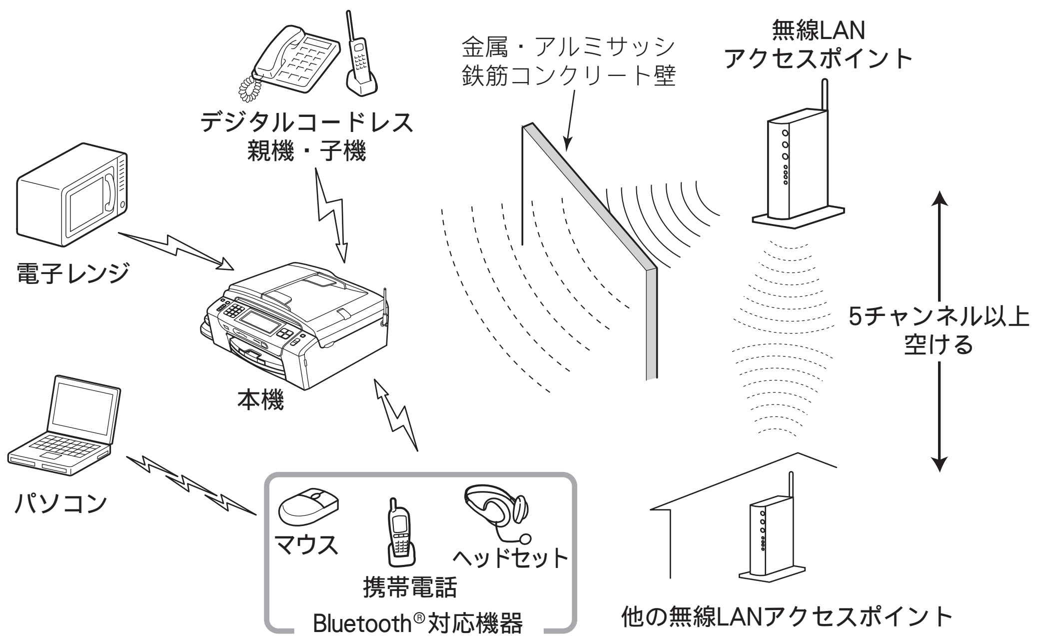
● **本製品の使用周波数に関わるご注意**
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、混信回避のため設置場所を変えるなどして互いに干渉が起きないようにしてください。

無線 LAN 機器の使用について

無線 LAN 接続に影響を及ぼす可能性のある環境について説明します。

本製品の近くに微弱な電波を発する電気製品、特に電子レンジやデジタルコードレス電話がある場合や、無線 LAN アクセスポイントと本製品の間に金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁がある場合、接続しにくくなったり、接続が切れたりすることがあります。また、建物自体が鉄筋コンクリートでできている場合、無線 LAN アクセスポイントと本製品の置いてある階や部屋が異なる場合も、影響を受けることがあります。接続状況が良くないときは、以下の図を参考に環境をご確認ください。



無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN 接続では、LAN ケーブルの代わりに電波を利用して、パソコン、無線 LAN アクセスポイントと本製品の間で情報のやり取りを行います。そのため、電波の届く範囲であれば、自由にネットワークに接続できます。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っています。無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、これらの問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、本製品を使用することをお勧めします。

無線 LAN の電波に関するご注意

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載（内蔵）しています。
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

● 電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式が DS-SS 方式であることを表す。（IEEE802.11b のとき）
「OF」：変調方式が OFDM 方式であることを表す。（IEEE802.11g のとき）
「4」：想定される与干渉距離が 40m 以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

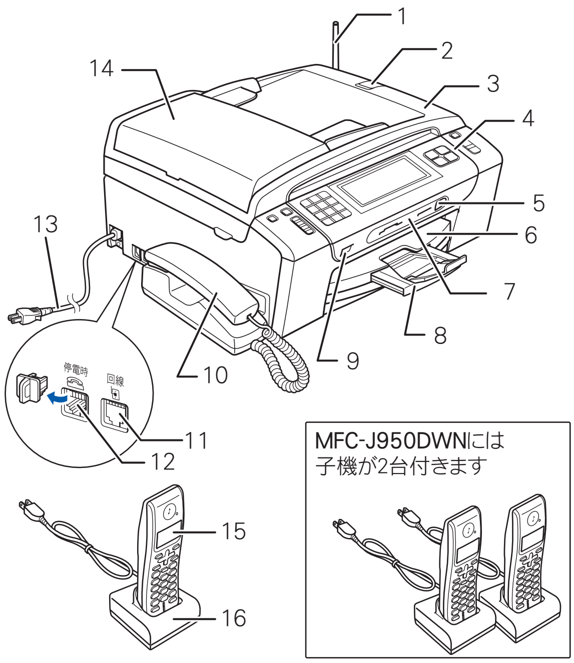
第 1 章

ご使用の前に

各部の名称とはたらき かならずお読みください

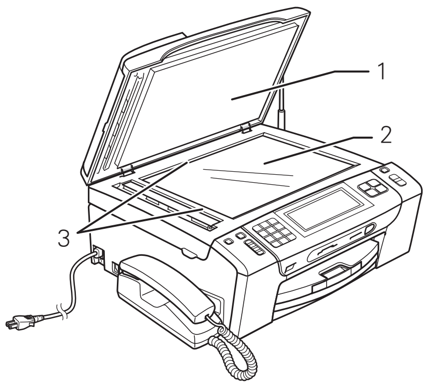
外観図

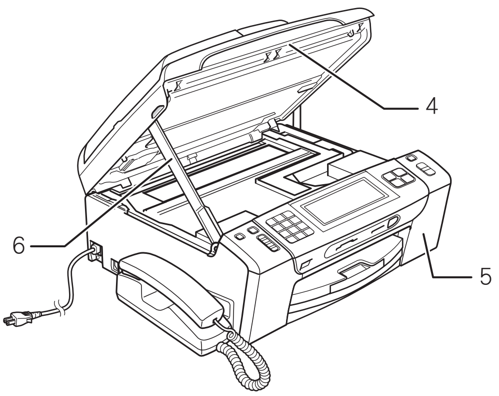
外面図

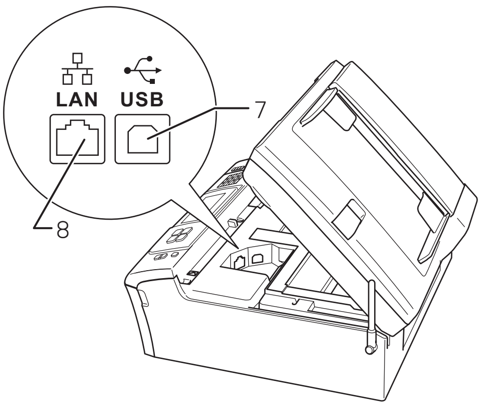


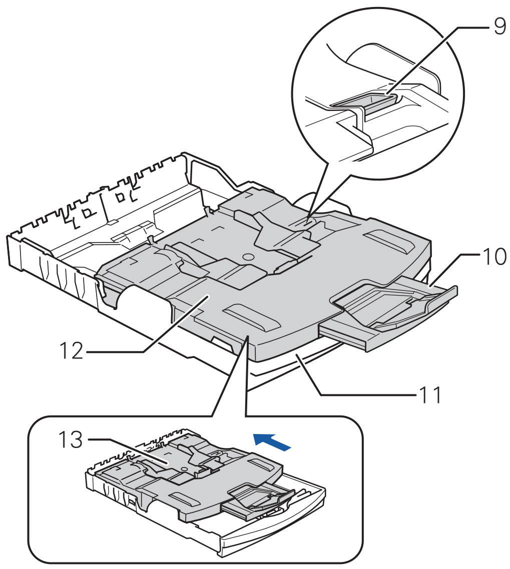
1	アンテナ
2	ADF 原稿ストッパー
3	原稿台カバー
4	操作パネル
5	赤外線受信ポート
6	記録紙トレイ
7	カードスロット
8	記録紙ストッパー
9	PictBridge ケーブル差し込み口 / USB フラッシュメモリー差し込み口
10	受話器（親機）
11	回線接続端子
12	停電用電話機接続端子
13	AC 電源コード
14	ADF（自動原稿送り装置）
15	子機
16	子機充電器

内面図



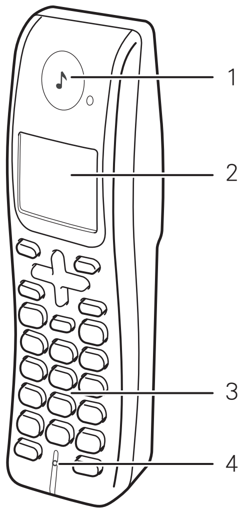




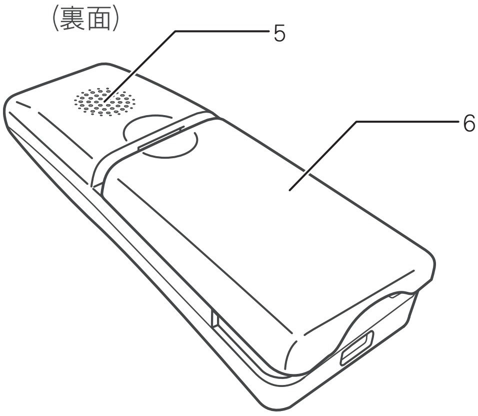


1	原稿台カバー
2	原稿台ガラス
3	原稿ガイド
4	本体カバー
5	インクカバー（インク挿入口）
6	本体カバーサポート
7	USB ケーブル差し込み口
8	LAN ケーブル差し込み口
9	リリースボタン
10	記録紙ストッパー
11	記録紙トレイ
12	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。
13	スライドトレイ L 判光沢紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでカバー部分を奥にスライドさせます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。

子機

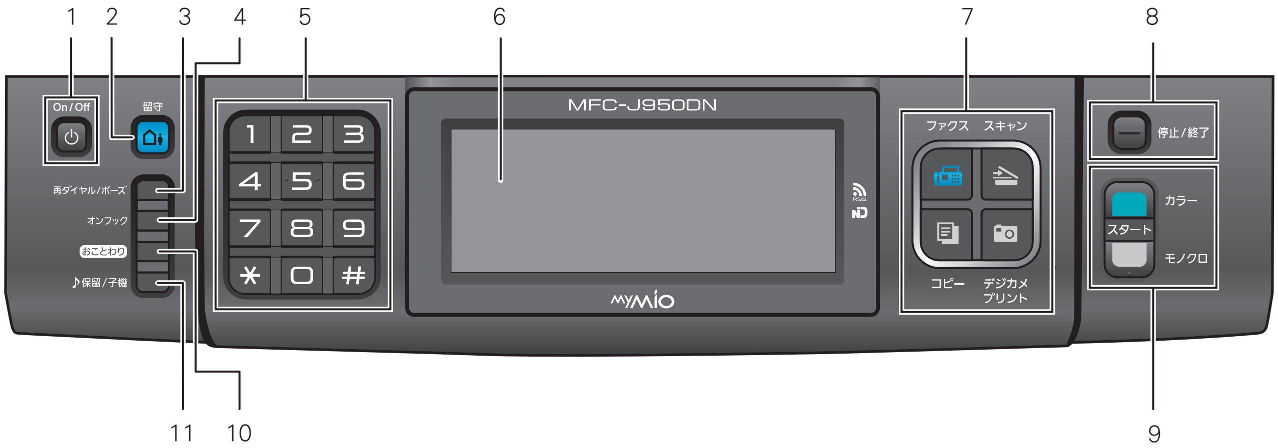


（裏面）



1	受話口
2	画面
3	操作パネル
4	マイクと送話口
5	スピーカー
6	バッテリカバー

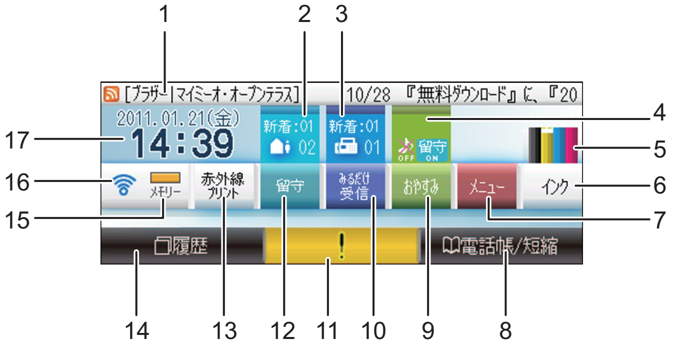
操作パネル（本体）



1	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。 ⇒ 43 ページ「電源ボタンについて」 電源をオフにした場合でも、定期的にヘッドクリーニングを行います。
2	留守ボタン	留守モードにするときに押します。 ⇒ 157 ページ「留守番機能をセットする」
3	再ダイヤル / ポーズボタン	最後にダイヤルした番号にダイヤルするとき、ファクス番号にポーズを入力するときに押します。
4	オンフックボタン	電話回線を接続 / 切断するときに使用します。押すだけで、受話器をとる / 置く、と同じ役割を果たします。天気予報や各種自動音声案内など、通話が不要なときに受話器を上げずにダイヤルして、そのまま聞いたり、案内に従ってダイヤル操作をしたりすることが可能です。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするとき、コピー部数を入力するときに押します。
6	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。画面に直接タッチして各設定を行います。 ⇒ 41 ページ「タッチパネル」
7	モードボタン	ファクス／スキャン／コピー／デジカメプリントの各モードに切り替えます。 ⇒ 43 ページ「モードについて」
8	停止 / 終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了するときに押します。
9	カラー / モノクロスタートボタン	ファクス、コピー、デジカメプリントまたはスキャンをスタートするときに押します。
10	おことわりボタン	迷惑電話がかかってきたときに、拒否メッセージを再生し、回線を切断します。 ⇒ 86 ページ「迷惑電話を拒否する」
11	保留 / 子機ボタン	通話を保留にするとき、子機を呼び出すときに押します。

待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時やインク残量などを確認でき、【メニュー】や【みるだけ受信】、【履歴】などよく使用するボタンが並んでいます。



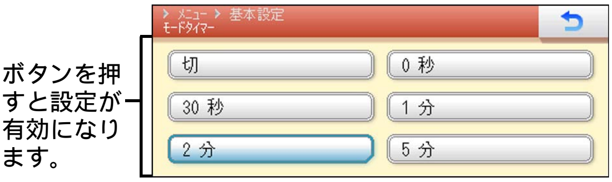
1	RSS 表示	【RSS】が【オン】に設定されている場合に、登録したウェブサイトの RSS 形式の見出しが流れて表示されます。
2	音声件数	留守モード時に録音された音声メッセージの件数が表示されます。 上：新着音声メッセージの件数 下：メモリーに保存されている音声メッセージの件数
3	ファクス件数	みるだけ受信設定時に保存されたファクスの件数が表示されます。 上：新着ファクスの件数 下：メモリーに保存されている受信ファクスの件数
4	おやすみモード設定表示	おやすみモードに切り替わると表示されます。電話やファクスの着信音が鳴らないことを示しています。
5	インク残量表示	ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。
6	インクメニューボタン	テストプリントやヘッドクリーニングなど、インクに関するメニューを表示させるときに押します
7	メニューボタン	メインメニューを表示させるときに押します。
8	電話帳 / 短縮ボタン	登録されているあて先や短縮ダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。
9	おやすみモード設定ボタン	おやすみモードを設定するときに押します。
10	みるだけ受信ボタン	受信したファクスを確認するときに押します。みるだけ受信が設定されていないときは、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。
11	エラー表示	エラーまたは保守メッセージがあるときに表示されます。表示されたこのマークを押すと本製品の現在の状態や、保守手順を表示します。第 9 章「こんなときは」－「エラーメッセージ」の手順に従って操作、保守を行ってください。 [X] を押すと待ち受け画面に戻ります。
12	留守ボタン	保存されているメッセージの一覧画面および音声再生メニューが表示されます。
13	赤外線プリントメニューボタン	赤外線プリントメニューを表示させるときに押します。画質や記録紙サイズなどが設定できます
14	履歴ボタン	発信履歴、着信履歴（ナンバー・ディスプレイサービス契約時のみ表示可能）を表示させるときに押します。履歴から直接電話帳に登録することもできます。
15	メモリー残量	本製品のメモリー残量が表示されます。
16	無線 LAN 電波強度	無線 LAN 接続時の電波強度が 4 段階（ ）で表示されます。
17	日時表示	現在の日時および曜日が表示されます。

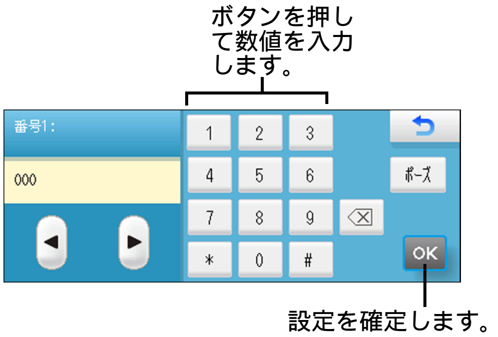
タッチパネル

画面に表示された項目やボタンを指で軽く押して使用します。

注意

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。





画面の操作例

ここでは、【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す

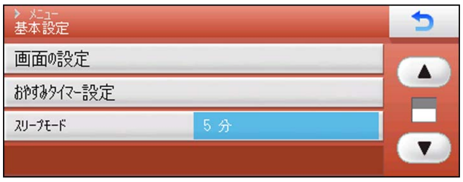
メニュー画面が表示されます。

2 【基本設定】を押す

次の階層が表示されます。

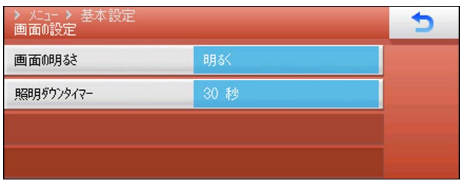
3 ▼ を押す

4 【画面の設定】を押す



次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



6 目的の明るさを押す

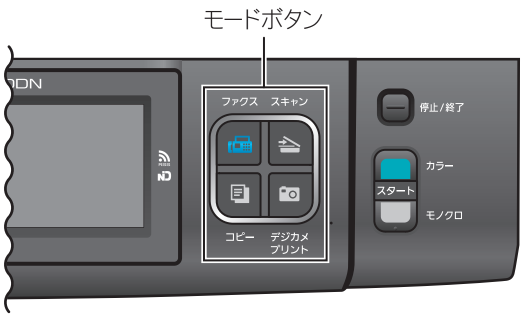
画面の明るさが変更されます。

7 停止/終了 を押す

設定を終了します。

モードについて

操作パネルのモードボタンでファクス、スキャン、コピー、デジカメプリントの各モードに切り替えることができます。
現在選択されているモードボタンは青色に点灯します。



モードタイマーを設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 【モードタイマー】を押す

モードタイマー設定画面が表示されます。

4 ファクスモードに戻る時間を選ぶ

時間は【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

設定が有効になります。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン／オフできます。電源をオフにした場合でも、印刷品質を維持するために本製品のヘッドクリーニングを定期的に行います。

- 本体の電源がオフのときは、電話機コードが接続されていても電話はつながりません。電源がオフの場合に使用できない機能は以下のとおりです。
  - RSS
  - ファクス
  - 電話
  - 親機 / 子機操作
  - パソコンからの印刷
  - デジカメプリント
  - コピー
  - スキャン
- ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。
- ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。

電源をオフにする

1 On/Off を 2 秒以上押す

画面に【電源をオフにします　オフ後はファクス / 電話 / 子機が使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

- 親機の電源をオフにすると子機に【デンゲン Off】と表示されます。

電源をオンにする

1 On/Off を押す

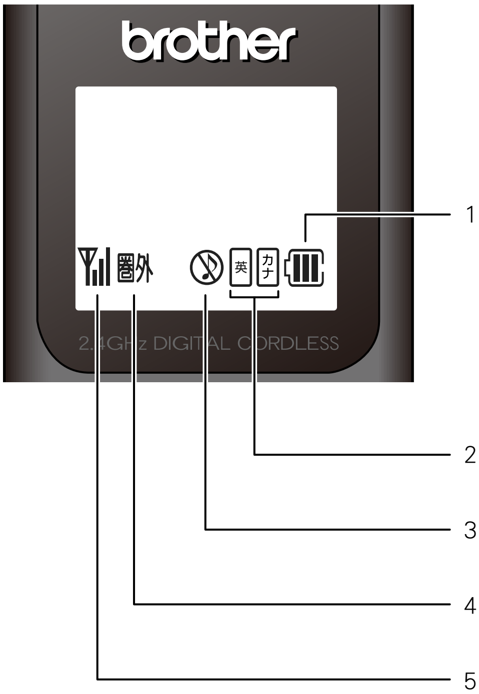
「子機が「デンゲン Off」表示の時は、子機の「外線」を押すと使えるようになります。」というメッセージが表示され、電源がオンになります。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付録

操作パネル（子機）

1	画面	操作手順や本製品の状態、メッセージなどが表示されます。
2	発信履歴ボタン	最近かけた相手にもう一度ダイヤルするときに押します。
3	クリア / 音質ボタン	文字を消すとき、通話中に相手の声をお好みの音質に調整するときなどに押します。
4	外線ボタン	電話をかけるときや受けるときに押します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	記号 1/ トーンボタン	記号を入力するとき、一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。
	記号 2 ボタン	記号を入力するときに押します。
6	スピーカーホンボタン	子機を持たずに通話するときに押します。
7	受話口	相手の声が聞こえます。
8	充電表示ランプ	充電中に点灯します。充電が終わると消灯します。
9	文字切替 /P ボタン	文字入力の種類を変えるとき、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押します。
10	マルチセレクトボタン	項目を選択します。
	電話帳ボタン	電話帳を表示するときに押します。
	音量ボタン	着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに押します。
11	機能 / 確定ボタン	各機能を設定するとき、設定内容を確定するときまたは通話中にメッセージを流して通話を拒否するときに押します。
12	切ボタン	電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
13	内線 / 保留ボタン	保留にして相手にメロディを流すときに押します。
14	キャッチ / 着信履歴ボタン	キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
15	マイクと送話口	子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

画面（子機）



1		バッテリの残量の目安を表示します。 〈バッテリ残量の目安〉 ：20%以上　：20%未満 ：10%未満　：要充電
2	英 カナ	入力できる文字の種類が表示されます。 英：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。 カナ：半角カタカナが入力できます。
3		着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
4	圏外	通話中、電波の届かない場所にいるときは の代わりに「圏外」が表示されます。
5		通話中の電波の状態が表示されます。 の数が多いほど、電波状態が良好です。

はじめに設定する

回線種別を設定する

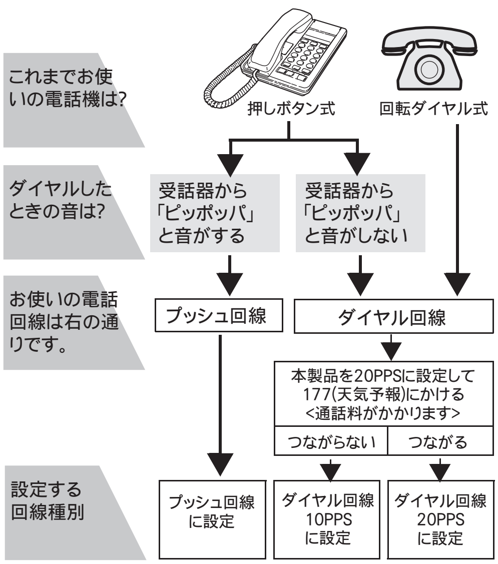
[回線種別設定]

回線種別がうまく自動設定されなかった場合や、あとで回線種別の設定を変更したい場合に手動で設定してください。

1 受話器を取り「ツー」という音が聞こえることを確認する

- 聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。「接続する」（⇒かんたん設置ガイド（基本編））
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 電話回線の種別を確認する



3 【メニュー】を押す

4 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

5 【回線種別設定】を押す

6 回線種別を選ぶ

- 回線種別がわからないときは、「ダイヤル 20PPS」「プッシュ回線」「ダイヤル 10PPS」の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、「プッシュ回線」に設定してください。

設定が有効になります。

7 停止/終了 を押す

回線種別の手動設定終了後、「177」（天気予報）につながることをご確認ください。（通話料金がかかります）

設定を終了します。

日付と時刻を設定する

［時計セット］

親機の場合

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクスを送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 【メニュー】を押す

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【時計セット】を押す

年の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、OK を押す

例：2011 年の場合は、1 1 を押します。

> 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。
>
> 日付や時刻を間違って入力したときは、⌫ を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、OK を押す

例：1 月の場合は、0 1 を押します。

日付の入力画面が表示されます。

6 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、OK を押す

例：21 日の場合は、2 1 を押します。

時刻の入力画面が表示されます。

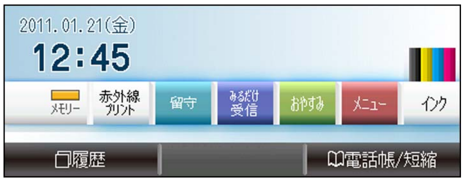
7 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、OK を押す

例：午後 0 時 45 分の場合は、1 2 4 5 を押します。

日付と時刻が設定されます。

8 停止/終了 を押す

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が画面に表示されます。



> 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

子機の場合

子機の日付と時刻を設定します。

1. 機能/確定 を押す

2. 十字キー で「トケイセッテイ」を選び、機能/確定 を押す

3. 日付を入力し、機能/確定 または 十字キー を押す

   例：2011 年 1 月 21 日の場合

   1ア 1ア 0ワ 1ア 2カABC 1ア 機能/確定 と押します。

4. 時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、機能/確定 を押す

   例：12 時 45 分の場合

   1ア 2カABC 4タGHI 5ナJKL 機能/確定 と押します。

5. 切 を押す

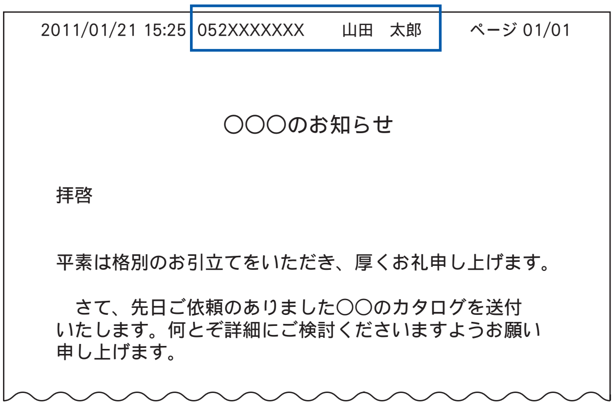
   設定を終了します。

> 数字を入れ間違えたときは、十字キー で間違えた箇所まで■（カーソル）を移動し、入力し直してください。
>
> 設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

[発信元登録]

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。



1. 【メニュー】を押す

2. ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3. 【発信元登録】を押す

   ファクス番号の入力画面が表示されます。

4. ファクス番号を入力し、OK を押す

   20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

   > ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

   名前の入力画面が表示されます。

5. 名前を入力し、OK を押す

   ⇒ 296 ページ「親機での文字の入れかた」

   名前として入力できる文字数は 16 文字までです。

   設定が有効になります。

6. 停止/終了 を押す

   設定を終了します。

発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」（48 ページ）の手順 ❸ までを行う

(2) [⌫] を 1 秒以上押して、ファクス番号を削除し、[OK] を押す

(3) [停止/終了] を押す

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」（⇒ 59 ページ「記録紙の種類を設定する」）またはプリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。（⇒画面で見るマニュアル「印刷の設定を変更する」）
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

本製品で使用できる記録紙

種類	厚さ	一度にセットできる枚数	サイズ			参照
			コピー	デジカメプリント	プリンター	
普通紙	$64g/m^2$ ～ $120g/m^2$ （0.08mm ～ 0.15mm）	100 （*1）	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5（JIS） A5 A6	⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」
		100	－	－	リーガル	
インクジェット紙	$64g/m^2$ ～ $200g/m^2$ （0.08mm ～ 0.25mm）	20	A4 B5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5（JIS） A5 A6 リーガル 2L 判（*2）	
光沢紙	$220g/m^2$ 以下 （0.25mm 以下）（*3）	20	A4 B5	A4 2L 判（*2）		
OHP フィルム	0.13mm 以下	10	A4 B5	－		
封筒	$75g/m^2$ ～ $95g/m^2$	10	－	－	DL 封筒 COM-10 C5 封筒 モナーク 洋形 4 号封筒	
ポストカード	0.25mm 以下	20	－	－	101.6mm × 152.4mm	
インデックスカード	$120g/m^2$ 以下 （0.15mm 以下）	30	－	－	127mm × 203.2mm	
L 判光沢紙	$220g/m^2$ 以下 （0.25mm 以下）（*3）	20	L 判	L 判	L 判	⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」
はがき（普通紙）	$220g/m^2$ 以下 （0.25mm 以下）	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	
はがき（インクジェット紙）	$220g/m^2$ 以下 （0.25mm 以下）	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	
はがき（写真用光沢はがき）	$220g/m^2$ 以下 （0.25mm 以下）（*3）	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	

（*1） $80g/m^2$ の場合

（*2） 127mm × 178mm

（*3） ブラザー BP71 写真光沢紙の厚さは $260g/m^2$ ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
  住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。

注意

■ 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）

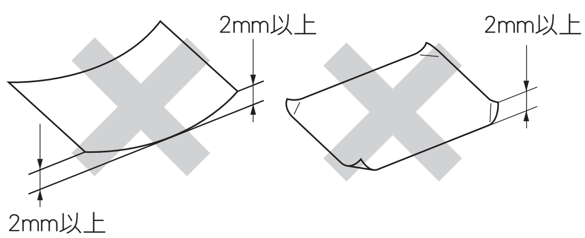
■ 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。

■ ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。

■ 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

■ 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

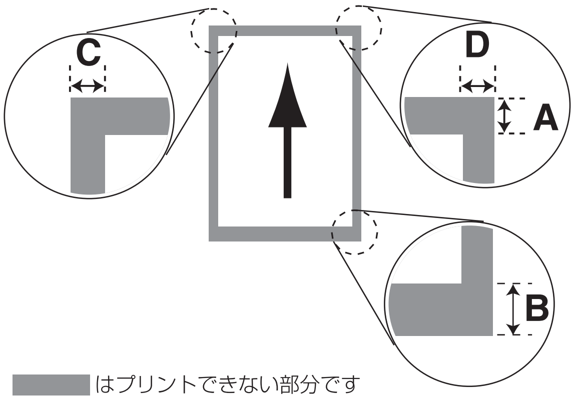
- カールしている記録紙について
  特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
  カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

> 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はお使いの OS やプリンタードライバーによって異なります。



はプリントできない部分です

（単位：mm）

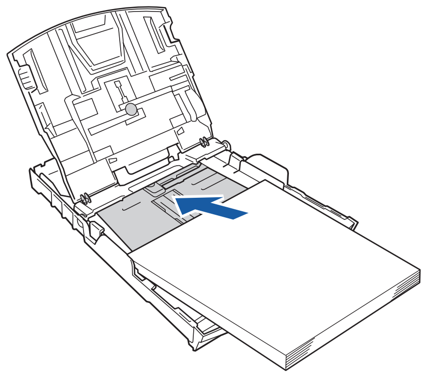
記録紙	A	B	C	D
普通紙 インクジェット紙 光沢紙 OHP フィルム ポストカード インデックスカード	3	3	3	3
封筒	12	24	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタードライバーによっても変わることがあります。

トレイの種類

記録紙をセットするトレイは、「記録紙トレイ」と「スライドトレイ」の 2 種類があります。

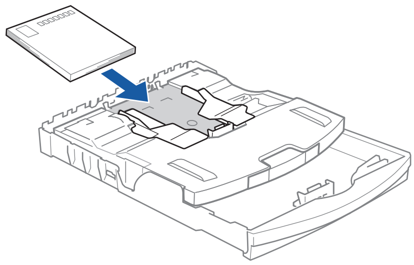
記録紙トレイ



主に、A4、B5 などの記録紙、封筒などをセットします。

⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ



L 判光沢紙、ハガキ（普通紙）、はがき（インクジェット紙）、写真用光沢はがきをセットします。

⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」

最大排紙枚数について

厚さ $80g/m^2$ の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。

写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- 普通紙
- インクジェット紙
- OHP フィルム
- ポストカード
- インデックスカード
- 光沢紙（L 判以外）
- 封筒

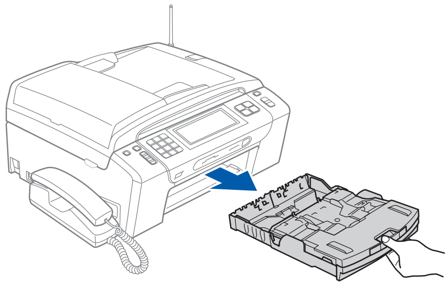
はがきおよび L 判光沢紙は、スライドトレイにセットしてください。

⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」

注意

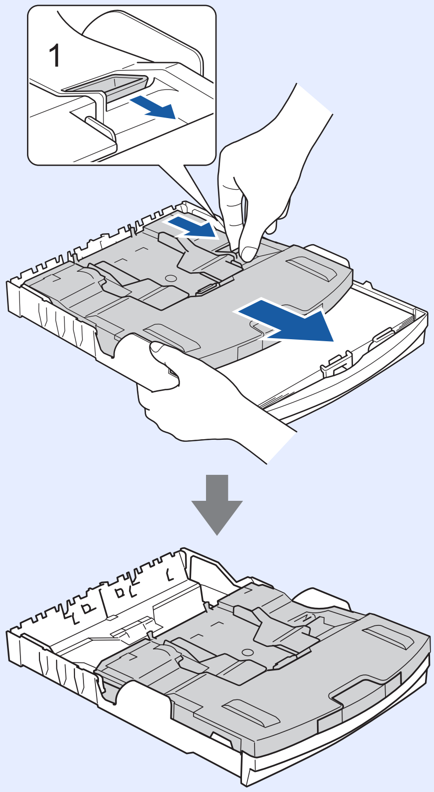
- ■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- ■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- ■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

1 記録紙トレイを引き出す

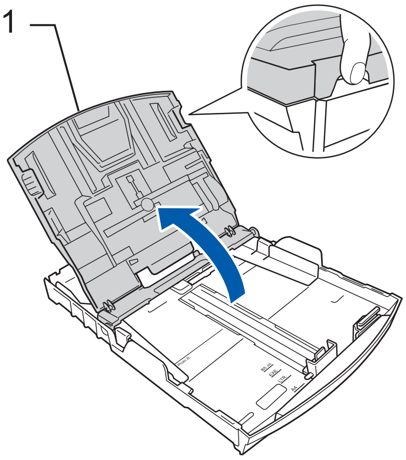


注意

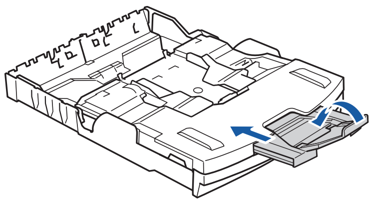
- ■ 記録紙トレイから印刷するときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。
リリースボタン（1）をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



2 トレイカバー（1）を開く



記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてからトレイカバーを開いてください。

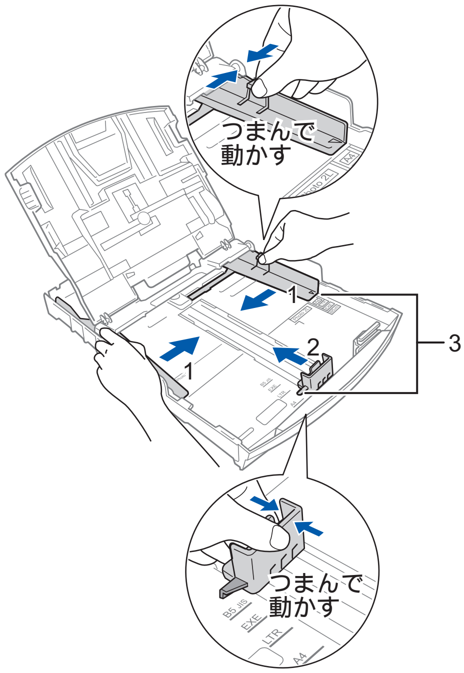


⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

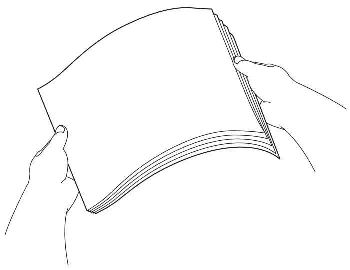
3 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



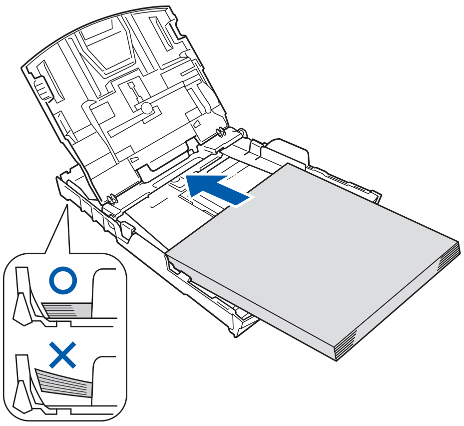
4 記録紙をさばく

紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。
記録紙がカールしていないことを確認してください。
記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。



5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

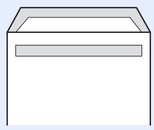


封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

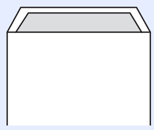
注意

- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

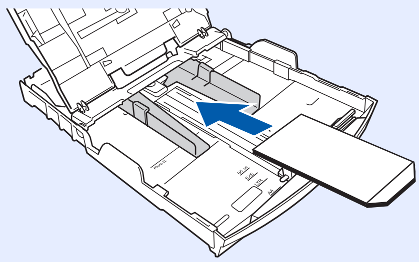
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。
- 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
  - ・窓付き封筒・エンボス加工がされたもの
  - ・留め金のついたもの
  - ・内側に印刷がほどこされているもの
  - ・ふたにのりが付いているもの



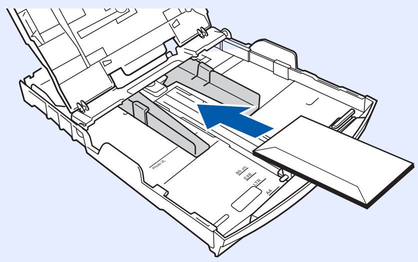
  - ・二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



- 縦長封筒は、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。

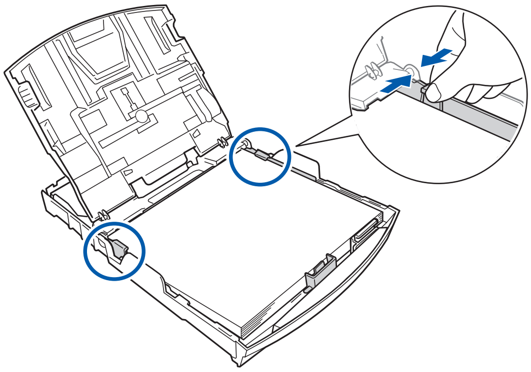


- 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。



- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。

6 幅のガイドを、記録紙にぴったりと合わせる



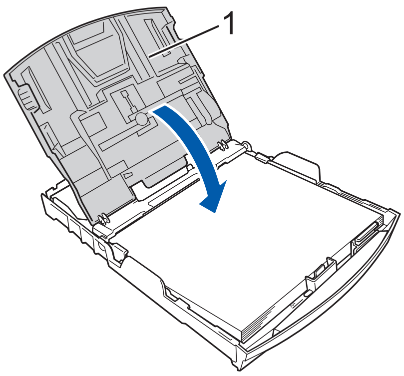
⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

注意

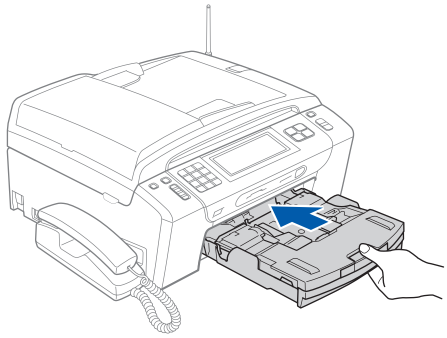
■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないようにご注意ください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバー（1）を閉める

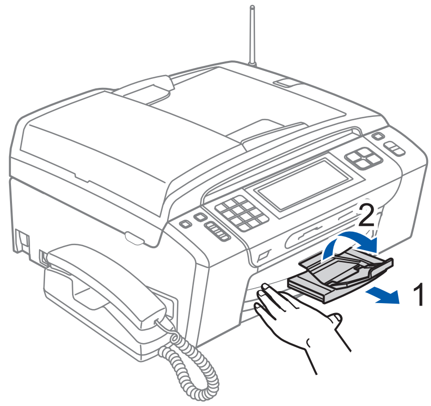


8 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）

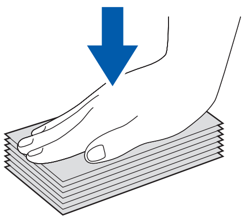


スライドトレイにセットする

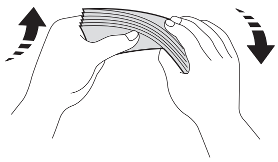
スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- はがき（普通紙）
- はがき（インクジェット紙）
- はがき（写真用光沢はがき）
- L 判光沢紙

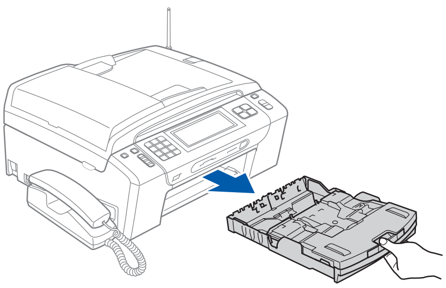
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする



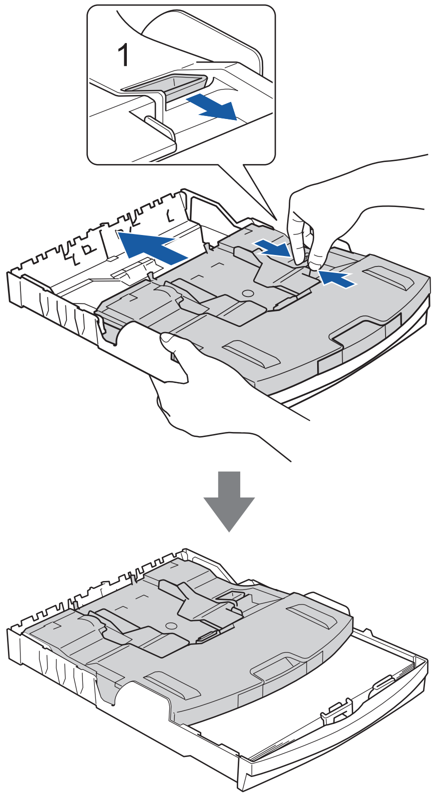
記録紙がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。



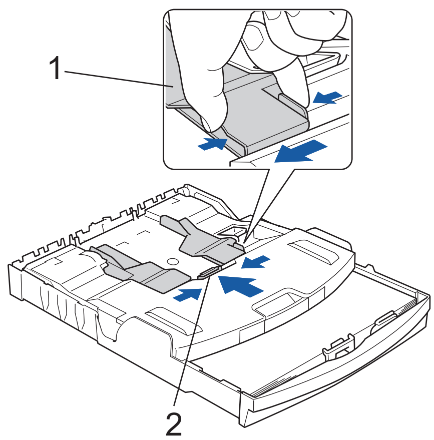
2 記録紙トレイを引き出す



3 リリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす

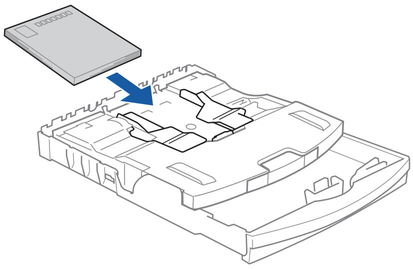


4 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

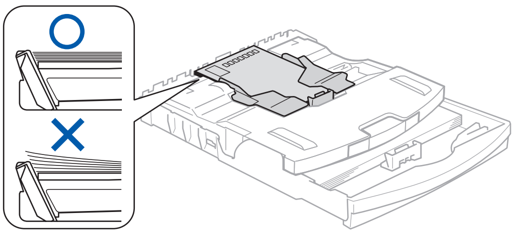


5 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。



記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



注意

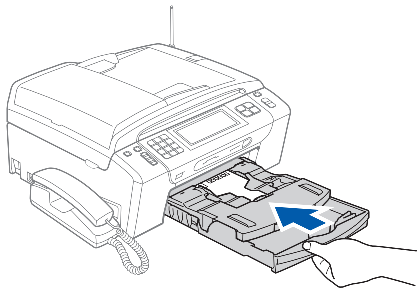
- ■ 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ■ ブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。

6 記録紙トレイを元に戻す

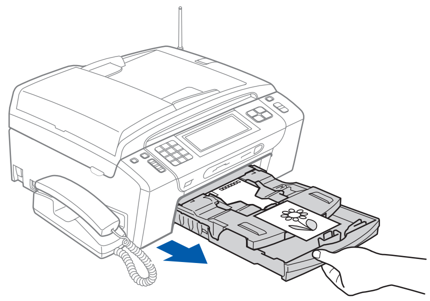
記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



印刷したあと、はがき、L 判の記録紙を取り出す

はがきや L 判サイズの記録紙など、小さなサイズの記録紙に印刷したときは、記録紙トレイを引き出して、印刷した記録紙を取り出してください。



記録紙の種類を設定する

[記録紙タイプ]

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

- コピーやフォトメディアキャプチャを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
  ⇒ 169 ページ「いろいろなコピー」
  ⇒ 205 ページ「いろいろなプリント方法」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
  ⇒画面で見るマニュアル「印刷の設定を変更する」

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 【記録紙タイプ】を押す

記録紙タイプ設定画面が表示されます。

4 記録紙タイプを選ぶ

記録紙タイプは、【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】から選びます。

- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、必ず【ブラザー BP71 光沢】を選んでください。それ以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

設定が有効になります。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

記録紙のサイズを設定する

[記録紙サイズ]

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

> コピーやフォトメディアキャプチャを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
> ⇒ 169 ページ「いろいろなコピー」
> ⇒ 205 ページ「いろいろなプリント方法」
>
> パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
> ⇒画面で見るマニュアル「印刷の設定を変更する」

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 【記録紙サイズ】を押す

記録紙サイズ設定画面が表示されます。

4 記録紙サイズを選ぶ

記録紙サイズは、【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】から選びます。

設定が有効になります。

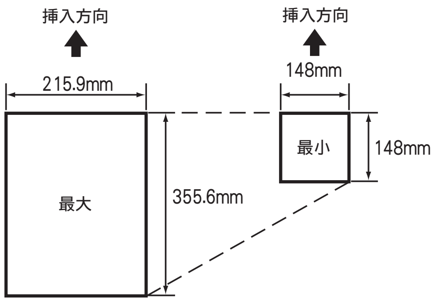
5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

原稿のセット

ADF にセットできる原稿

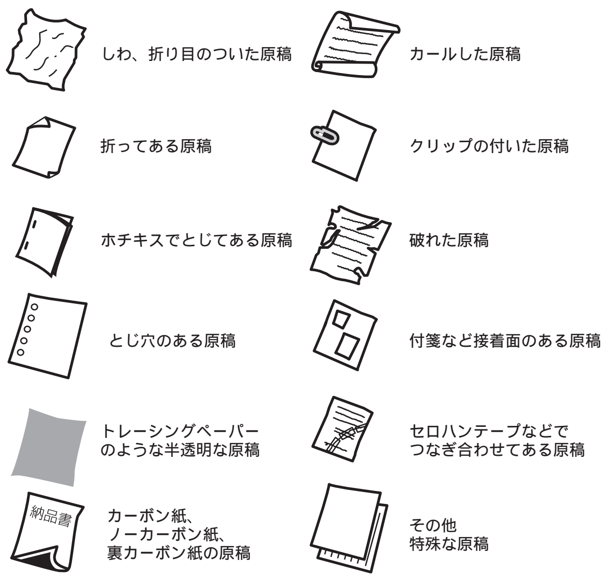
ADF にセットできる原稿サイズは下記のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



厚さ：0.08 ～ 0.12mm
坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

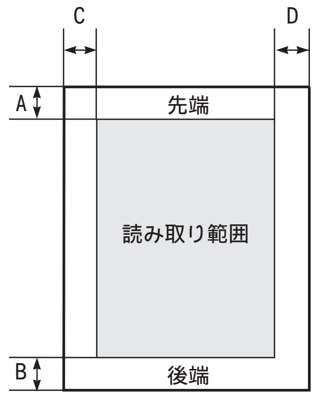
ADFに原稿をセットする場合の注意事項

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜて ADF にセットしないでください。
- ADF に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADF にセットしないでください。原稿台ガラスから送信してください。



原稿の読み取り範囲

ADF または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



（単位：mm）

機能	A	B	C	D
ファクス	3		原稿台ガラス：3 ADF：1	
コピー	3			
スキャン	3			

原稿をセットする

原稿台ガラスに原稿をセットする

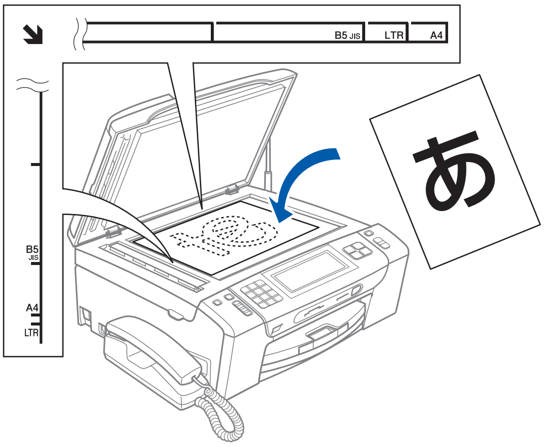
原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

注意

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

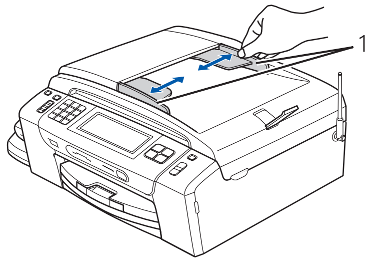
■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

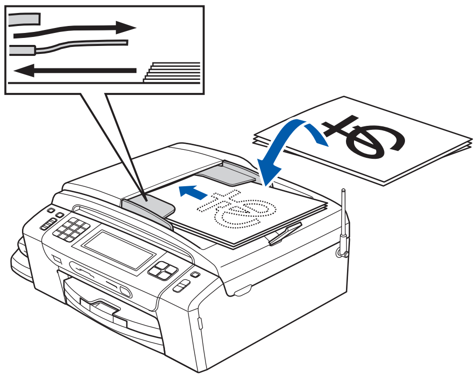
本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 ADF ガイド（1）を原稿の幅に合わせる



2 原稿をそろえ、読み取りたい面を下にして、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

原稿は一度に 15 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み取られます。



複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上に上向きで排出されます。

注意

■ ADF ガイドで左右から原稿を強くはさみつけないようにご注意ください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み取りができなくなることがあります。

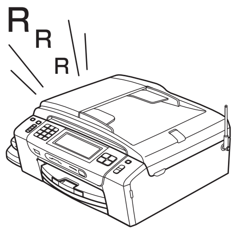
電話とファクスの受信設定

電話・ファクスの受けかた（お買い上げ時）

お買い上げ時は、次のように設定されています。

家にいるとき（在宅モード：留守 が消灯しているとき）

着信音が7回鳴る



→ 自動的に回線がつながる

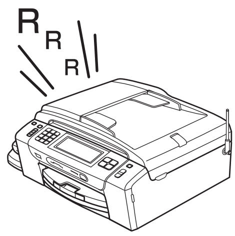
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 再呼出音が鳴る
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

> 着信音をメロディに設定しているときでも、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。
>
> 回線が切り替わると相手には、「トゥルー・トゥルー」というベル音（お買い上げ時）が流れます。その後、電話に出ないときは、相手に「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージが流れて回線が切れます。

留守にするとき（留守モード：留守 が点灯しているとき）

着信音が2回鳴る



→ 自動的に回線がつながる

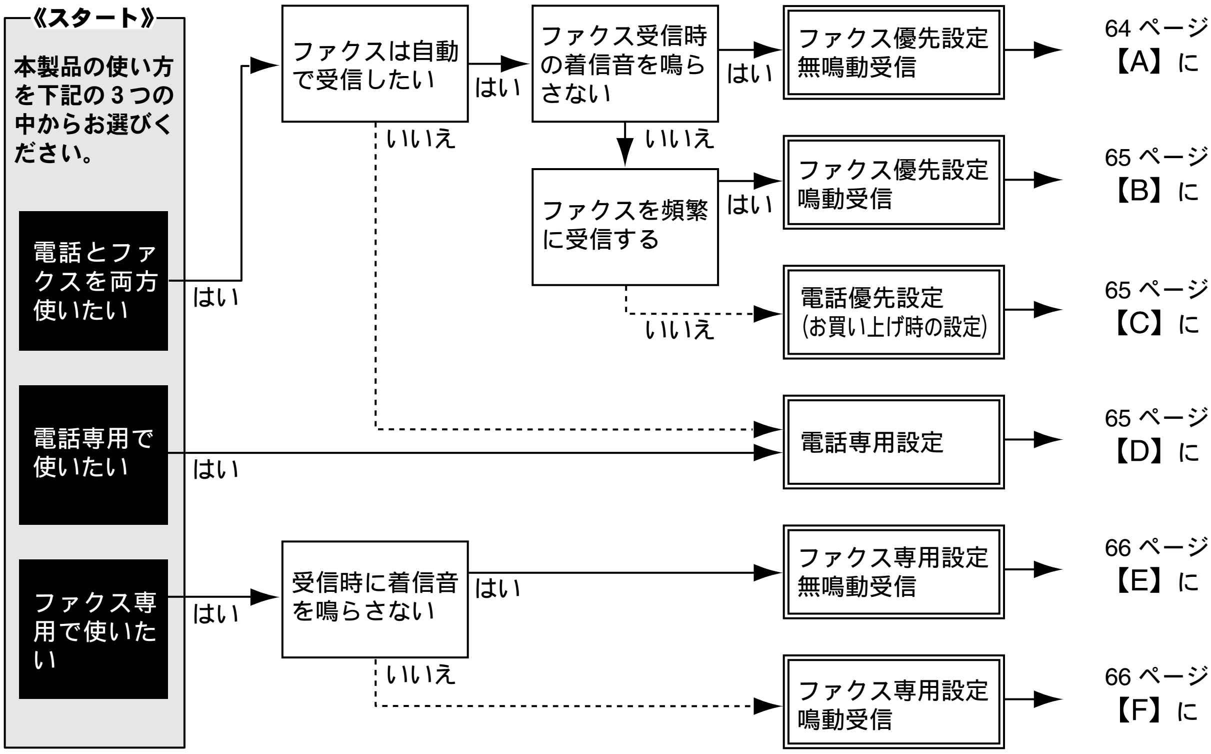
※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 留守応答メッセージが流れる
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付録

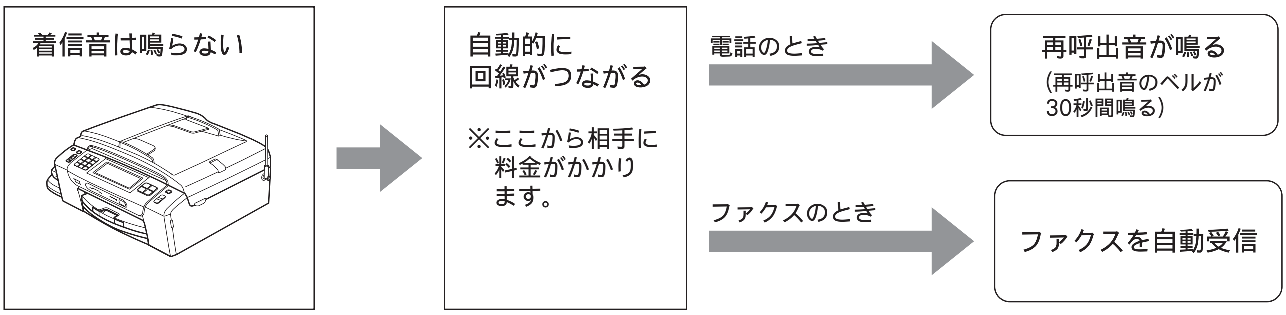
電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を、変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。



【A】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

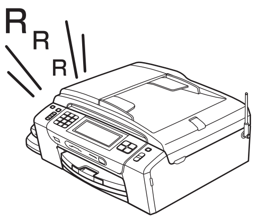
着信音の呼出回数を 0 回にし、再呼出設定を【オン（相手にベル：30 秒）】にします。
⇒ 67 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない」



【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信音の呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オン】にします。
⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 69 ページ「在宅応答ベル / メッセージと再呼出時間の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オン（相手にベル：20 秒)】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）



→ 自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

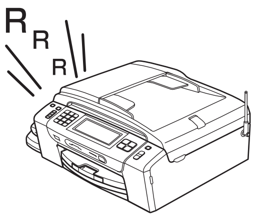
電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが20秒間鳴る）

ファクスのとき → ファクスを自動受信

【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信音の呼出回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出設定を【オン】にします。
⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 69 ページ「在宅応答ベル / メッセージと再呼出時間の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 8 回、再呼出設定を【オン（相手にベル：70 秒)】に設定した場合

着信音が鳴る（8回）



→ 自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 再呼出音が鳴る（再呼出音のベルが70秒間鳴る）

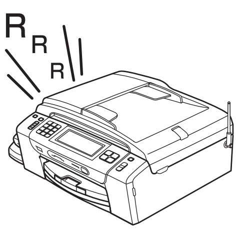
ファクスのとき → ファクスを自動受信

回線が自動的につながる前に受話器をとって、相手がファクスだった場合は、ファクスを手動で受信してください。
⇒ 117 ページ「電話に出てから受ける」

【D】電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信音の呼出回数を無制限にします。
⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」

着信音が鳴り続く



→ 受話器をとる

→ 回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 通話

ファクスのとき →

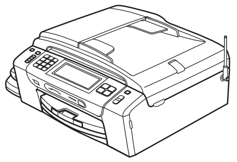
を押し、タッチパネル上に表示される 受信 を押して受信

親切受信を【する】にすると、受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受けることができます。
⇒ 130 ページ「電話に出ると自動的に受ける」

【E】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信音の呼出回数を 0 回にし、再呼出設定を【オフ（ファクス専用）】にします。
⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 69 ページ「在宅応答ベル / メッセージと再呼出時間の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 0 回、再呼出設定を【オフ（ファクス専用）】に設定した場合

着信音は鳴らない



自動的に
回線がつながる

※ここから相手に
料金がかかり
ます。

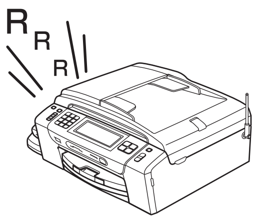
電話のとき → 電話に出られません

ファクスのとき → ファクスを自動受信

【F】本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信音の呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オフ（ファクス専用）】にします。
⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 69 ページ「在宅応答ベル / メッセージと再呼出時間の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オフ（ファクス専用）】に設定した場合

着信音が鳴る（2回）



自動的に
回線がつながる

※ここから相手に
料金がかかり
ます。

電話のとき → 電話に出られません

ファクスのとき → ファクスを自動受信

ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない

[ファクス無鳴動受信]

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。

注意

- ファクス無鳴動受信を「する」に設定すると、電話のときはベル音が鳴ります。このベル音はメロディなどに変更できません。
- ファクス無鳴動受信を「する」に設定すると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって本製品で電話をとらなくても、相手側には通話料金が発生します。
- ファクス無鳴動受信を「する」に設定しても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【ファクス無鳴動受信】を押す

【ファクスのときは着信音を鳴らさずに自動受信し、電話のときは再呼出音が鳴る設定にします。／する／しない】と表示されます。

5 【する】を押す

呼出回数が【0】、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒)】になり、ファクス優先無鳴動受信が設定されます。
【しない】を押すと、呼出回数が【7】、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒)】になります。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

呼出回数を設定する

[呼出回数]

着信してから本製品が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。お買い上げ時は「在宅モード 7 回」、「留守モード 2 回」に設定されています。

呼出回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。また、電話のときは相手に料金がかかります。）

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【呼出回数】を押す

呼出回数画面が表示されます。

5 呼出回数を設定したいモードを選ぶ

目的の呼出回数が表示されていない場合は、◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせます。

A）【在宅モード】のとき

呼出回数は【0 ～ 15（回）／無制限】から選びます。

- 【0 ～ 15（回）】：
  設定した呼出回数分の着信音が鳴ったあと、自動的に応答します。【0 回】の場合は、着信音が鳴らずに自動的に応答します。
- 【無制限】：
  自動的に受信しません。

B）【留守モード】のとき

呼出回数は【0 ～ 7（回）／トールセーバー】から選びます。

- 【0 ～ 7（回）】：
  設定した呼出回数分の着信音が鳴ったあと、自動的に応答します。
- 【トールセーバー】：
  外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
  ⇒ 68 ページ「トールセーバーを利用する」

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

- 2 回：新しい音声メッセージがある
- 5 回：新しい音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。
⇒ 161 ページ「外出先から本製品を操作する」

在宅応答ベル / メッセージと再呼出時間の設定をする

【再呼出設定】

在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。（ファクスのときは、自動的に受信します。）
お買い上げ時は、【オン（相手にベル）／ 30 秒】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【再呼出設定】を押す

再呼出設定画面が表示されます。

5 在宅応答のしかたを選ぶ

在宅応答は、【オン／オフ】から選びます。

- 【オフ】：
本製品がファクス専用として応答するので、相手が電話の場合でも「再呼出音」は鳴りません。
- 【オン】：
本製品が応答後、相手が電話の場合は、「再呼出音」（在宅応答メッセージ、または、ベル音）を鳴らします。
相手がファクスの場合は自動的に受信します。

A）【オフ】のとき

停止/終了 を押す

設定を終了します。

B）【オン】のとき

再呼出音を選ぶ

再呼出音は、【相手にベル／相手にメッセージ】から選びます。

- 【相手にベル】：
「トゥルートゥルー」というベル音を鳴らします。
- 【相手にメッセージ】：
在宅応答メッセージを再生します。

6 再呼出時間を選ぶ

再呼出時間は、【20 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 70 秒】から選びます。

7 停止/終了 を押す

設定を終了します。

音量を設定する

お好みで設定してください

本製品の、着信音量、ボタン確認音量、スピーカー音量を調整します。

親機の音量を設定する

1 **【メニュー】を押す**

2 **【基本設定】を押す**

3 **【音量】を押す**

音量設定画面が表示されます。

4 **変更したい音量を選ぶ**

①着信音量

着信時のベルやメロディの音量を調整します。

②ボタン確認音量

操作パネルのダイヤルボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。

③スピーカー音量

オンフック時の音量や留守録モニターの音量を調整します。

④受話音量

受話器を持って通話するときの音量を調整します。

5 **目的の音量を選ぶ**

音量は【切／小／中／大】から選びます。

受話音量には【切】はありません。

6 **停止/終了を押す**

設定を終了します。

スピーカー音量は、オンフックを押し、「ツー」という音が聞こえているときに停止/終了を押して表示される ／ でも調整できます。

スピーカー音量を【切】に設定していても、下記の場合は【小】の音量で音が鳴ります。

- 留守ボタンを押すと、応答メッセージが再生されます。
- 再生ボタンを押すと、録音メッセージが再生されます。

着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。

- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音
- 内線呼出音

ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

受話音量は、受話器をとって【音量】を押しても調整できます。

通話中に受話音量をかえる

通話中に【音量】を押し、 ／ を押すと、受話音量を変更できます。

子機の音量を調整する

着信音量を設定する

お買い上げ時は、「■■■」（3 段階目）に設定されています。

1 （上下左右ボタン）を押す

2 （上下左右ボタン）で音量を選ぶ

着信音量は「OFF」（画面に（アイコン）と表示されます）と 4 段階の調整ができます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音量を設定する

お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 機能/確定 を押す

2 【メイドウオンセッテイ】が選択されていることを確認、機能/確定 を押す

3 （上下左右ボタン）で「3. ボタンカクニンオン」を選び、機能/確定 を押す

4 （上下左右ボタン）で設定を選び、機能/確定 を押す

ボタン確認音量は【ON ／ OFF】から選びます。

5 切 を押す

設定を終了します。

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

スピーカーホン を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
お買い上げ時は、「■■」（2 段階目）に設定されています。

1 スピーカーホン を押す

2 （上下左右ボタン）を押す

3 （上下左右ボタン）で音量を選ぶ

スピーカー音量は 4 段階の調整ができます。

4 スピーカーホン を押す

設定を終了します。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、スピーカー音量を下げて使用ください。

受話音量を設定する

お買い上げ時は、「■■」（2 段階目）に設定されています。

1 通話中に （上下左右ボタン）を押す

2 （上下左右ボタン）で音量を選ぶ

受話音量は 4 段階の調整ができます。

> 2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。
>
> 通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、受話音量を下げて使用ください。

着信音と保留音を設定する

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。本製品には、あらかじめ 4 種類のベル音と 30 曲のメロディが登録されています。お買い上げ時は、着信音は「ベル 1」、保留音は「花のワルツ」に設定されています。

注意

- 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- 呼出回数を 0 回に設定していると、メロディを設定していても、回線が再呼出に切り替わりベル音が鳴るため、メロディが聞こえません。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

下記のメロディを着信音や保留音として設定できます。

	曲名		曲名
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダッタン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌（交響曲第 9 番）	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデイ
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷（ふるさと）
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【メロディ設定】を押す

4 【着信音】または【保留メロディ】を選ぶ

5 メロディを選び、OK を押す

現在選択されているメロディが流れます。目的のメロディが表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

ベル音は保留メロディには設定できません。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

構内交換機、ターミナルアダプター、ADSL モデムなどに接続している場合、それらの機器の着信音選択を【ベル 2】または【SIR】に設定しているときは、本製品で【ベル 1】に設定しても、メニュー選択時に聞こえる【ベル 1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

再呼出音をメロディにすることはできません。

相手先ごとに着信音を変える

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは相手先ごとに着信音を設定することができます。
⇒ 98 ページ「着信鳴り分けを設定する」

子機の着信音を選ぶ

下記のメロディを着信音として設定できます。

	曲名
1	アヴェ・マリア
2	オオキナフルドケイ
3	ガボット
4	キラキラボシ
5	シキヨリ［ハル］
6	ハナノワルツ

1. **機能/確定 を押す**
2. **【メイドウオンセッテイ】が選択されていることを確認、機能/確定 を押す**
3. **【1. チャクシンオン】が選択されていることを確認、機能/確定 を押す**
   現在選択されているメロディが流れます。
4. **十字キーで着信音を選び、機能/確定 を押す**
5. **切 を押す**

設定を終了します。

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

親機の画面設定を変更する

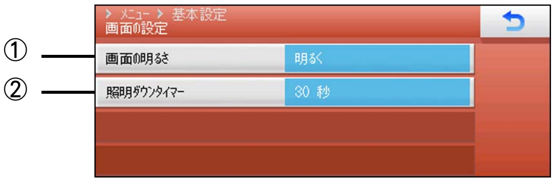
1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【画面の設定】を押す

画面の設定画面が表示されます。

4 変更したい項目を選ぶ



①画面の明るさ
画面の明るさを調整します。
②照明ダウンタイマー
画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

5 目的の設定を選ぶ

- 画面の明るさ
  【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー
  【切／ 10 秒／ 20 秒／ 30 秒】

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

子機の画面設定を変更する

1 機能/確定 を押す

2 ✥ で【ガメンノコントラスト】を選び、機能/確定 を押す

3 ✥ で明るさを選び、機能/確定 を押す

4 切 を押す

設定を終了します。

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【スリープモード】を押す

スリープモードの設定画面が表示されます。

4 希望の時間を選ぶ

【1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

目的の時間が表示されていない場合は、◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせます。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

- お買い上げ時は【5 分】に設定されています。
- 使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

おやすみモードに入る時間を設定する

設定した時刻に留守モードに切替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定ができます。

1 【メニュー】を押す

2 【基本設定】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【おやすみタイマー設定】を押す

おやすみタイマーの設定画面が表示されます。

4 【おやすみタイマー】を押す

5 【オン】を押す

おやすみタイマーが有効になります。

6 【開始時刻】を押す

7 おやすみタイマーの開始時刻を、画面に表示されているテンキーで入力し、OK を押す

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 【終了時刻】を押す

9 おやすみタイマーの終了時刻を、画面に表示されているテンキーで入力し、OK を押す

10 停止/終了 を押す

設定を終了します。

すぐにおやすみモードを開始／終了する

1 待ち受け画面で【おやすみ】を押す

おやすみタイマーでおやすみモード中の場合、おやすみモードが解除されます。

おやすみモード解除中の場合、【おやすみモードに設定しますか?着信音は鳴らずに留守電になります。】と表示されます。【はい】を押すとおやすみモードが開始されます。

- おやすみモード中に【おやすみ】を押しておやすみモードを解除すると、次のおやすみタイマー開始時までおやすみモードは解除されます。
- おやすみモード解除中に【おやすみ】を押しておやすみモードを開始させると、次のおやすみタイマー解除時までおやすみモードになります。

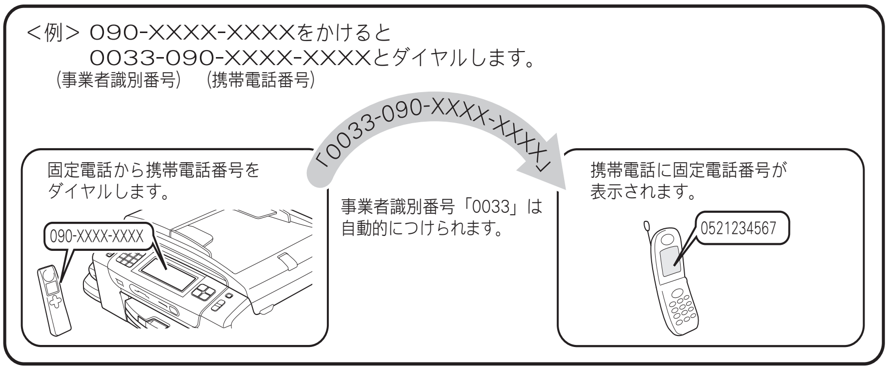
ケータイ通話お得サービスを利用する

ケータイ通話お得サービスとは

固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号をダイヤルすると、固定電話の電話会社が設定した料金でご利用できるサービスです。

【ケータイ通話お得サービス】を【する】に設定をすると、本製品から携帯電話に電話をかけるときに、携帯電話番号の前に事業者識別番号を自動的につけてダイヤルすることができます。

お買い上げ時の事業者識別番号は、【0033】（NTT コミュニケーションズ）に設定されています。



注意

- ■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス（＊ 1）、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【しない】に設定してください。
  ＊ 1：直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例 ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど）
- ■ ケータイ通話お得サービスは、登録した各事業者によりサービス提供エリアが異なります。サービス提供エリアについては、各事業者にお問い合わせください。
- ■ ケータイ通話お得サービスを利用するときは、携帯電話番号の前に事業者識別番号や IP 電話解除番号（＊ 2）をダイヤルしないでください。電話をかけることができなくなったり、通話料が異なる場合があります。
- ■ ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していても、ケータイ通話お得サービスを利用しないで電話をかけることができます。この場合は、通話状態にしてから【キャッチ】を押したあとに、ご利用になる事業者識別番号や IP 電話解除番号（＊ 2）をダイヤルしてください。
  ＊ 2：IP 電話サービスを利用時、一時的に IP 電話を利用しないための番号です。
- ■ 直収電話サービスについては、各サービス事業者へお問い合わせください。
- ■ 構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンに接続している場合は、ケータイ通話お得サービスを利用できません。【しない】に設定してください。
- ■ 電話をかけても、しばらく「ツー」という音だけが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- ■ 事業者識別番号を自動的につけて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかることがありますが故障ではありません。
- ■ 国内の携帯電話会社への通話が対象です。対象となる携帯電話番号は、「090」「080」から始まる番号のみです。PHS への通話は利用できません。
- ■ マイラインおよびマイラインプラスの登録に関係なく利用できます。
- ■ 通話先、通話時間や発信事業者の料金体系により、料金は安くならない場合があります。サービスについては、各事業者へお問い合わせください。

NTT コミュニケーションズの 0033 モバイルサービスのご案内

- お申し込み手続きは不要です。定額料もかかりません。
- 携帯電話会社の留守番電話サービスの遠隔操作、フリーアクセス（「0800」で始まる番号）など一部サービスを利用できない場合があります。
- 携帯電話への通話料金はNTTコミュニケーションズご利用分として請求されます。
- NTT コミュニケーションズが提供する「固定電話から携帯電話への通話サービス (0033 モバイル)」詳細については、NTT コミュニケーションズのカスタマーズフロントにお問い合わせください。

NTT コミュニケーションズ カスタマーズフロント 0120-506506 受付時間：午前 9:00 ～午後 9:00（年末年始除く） ※本製品の機能・設定については、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。

注意

■ NTT 東日本・西日本の「ひかり電話」や NTT 東日本・西日本以外のサービス事業者が提供する直収電話サービス（＊）、その他の事業者が提供するすべての光電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用時は、この機能はご利用できません。【しない】に設定してください。
＊：直収電話サービスとは、NTT 東日本・西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。（例：ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDI のメタルプラスなど）

ケータイ通話お得サービスを設定する

[ケータイ通話お得サービス]

お買い上げ時は、事業者識別番号「0033」に設定されています。ひかり電話や直収電話サービスをご利用の場合は、この機能はご利用できません。

1 【メニュー】を押す

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す

4 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【ケータイ通話お得サービス】を押す

ケータイ通話お得サービスの設定画面が表示されます。

5 【する】を押す

ケータイ通話お得サービスを使用しない場合は、【しない】を選びます。ひかり電話サービスや直収電話サービスをご利用の場合も【しない】を選びます。

6 電話回線を選ぶ

- 【一般回線】：一般回線をお使いの場合に選びます。
  ⇒手順 11 へ
- 【IP 電話】：IP 電話をお使いの場合に選びます。
  ⇒手順 7 へ
- 【ひかり電話 / その他】：この場合は、ケータイ通話お得サービスをご利用できません。
  ⇒手順 11 へ

7 メッセージを確認して、【OK】を押す

8 「IP 電話解除番号は分かりますか？」と表示された画面で、【はい】を押す

9 IP 電話解除番号を入力して、OK を押す

画面に表示されているテンキーで番号を入力します。（操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。）

IP 電話解除番号の例（2010 年 5 月 1 日現在）

事業者名	サービス名	IP 電話解除番号
Yahoo! BB（ソフトバンク BB）	Yahoo! BB フォン (*1)	0000p (*2)
OCN（NTT コミュニケーションズ）	OCN ドットフォン (*1)	0000
KDDI（DION）	KDDI － IP 電話 (*1)	0009 (*3)

- その他の IP 電話サービスをご利用のお客様は、ご利用中の IP 電話事業者に IP 電話解除番号とポーズ入力「p」（ポーズ で入力）が必要かお問い合わせください。
- IP電話解除番号は予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

*1 Yahoo! BB 光、OCN 光サービス、KDDI メタルプラスはご利用になれません。
*2 Yahoo! BB をご利用の場合は「0000」のあとにポーズ「p」（ポーズ で入力）を入力してください。
*3「IP 電話対応機器（NTT 東日本・西日本提供）」をご利用の場合は「0000」を入力してください。

注意

■ **携帯電話への発信ができなくなる場合がありますので、IP 電話解除番号が正しく入力されていることを確認してください。**

- IP 電話解除番号を空白にしたまま設定するとケータイ通話お得サービスが利用できなくなります。
- IP 電話解除番号は、携帯電話に発信するときなどに、IP 電話を使わずに NTT などの一般回線で発信するための番号です。

10 【はい】を押す

IP 電話解除番号を修正するときは、【いいえ】を押してください。

11 停止/終了 を押す

設定を終了します。

- 携帯電話以外への通常の発信は、IP 電話サービスを利用します。
- ケータイ通話お得サービスは、次の場合も利用できます。
  - 「184」「186」などの番号を付けたとき（「184」をつけて非通知で電話をかけると、携帯電話に電話番号は表示されません。）
  - 再ダイヤル、発信履歴からかけ直すとき（事業者識別番号は画面に表示されません）
  - 電話帳からかけるとき
  - 着信履歴からかけ直すとき（ナンバー・ディスプレイ利用時のみ）
- 【する】に設定していても、その通話に限り、ケータイ通話お得サービスを利用しない場合は【キャッチ】を押してからダイヤルしてください。

事業者識別番号を変更する

[事業者識別番号]

「0033」(NTT コミュニケーションズ) 以外のサービスをご利用のときは、事業者識別番号を変更します。お買い上げ時は、事業者識別番号「0033」に設定されています。

1. **【メニュー】を押す**

2. **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

3. **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**

4. **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【事業者識別番号】を押す**

   事業者識別番号の設定画面が表示されます。

5. **事業者識別番号を入力して、OK を押す**

   画面に表示されているテンキーで番号を入力します。

   操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6. **停止/終了 を押す**

   設定を終了します。

第２章

電話

電話の基本機能

電話の応用機能

オプションサービス

電話をかける／受ける

電話の基本機能

親機や子機で電話をかけたり受けたりできます。

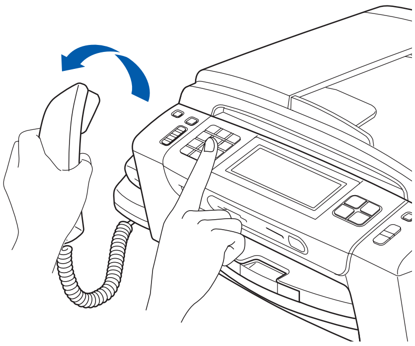
電話をかける

親機の場合

1 受話器をとる

ファクスモードに切り替わります。

2 0 ～ 9 で相手の電話番号を押す



通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

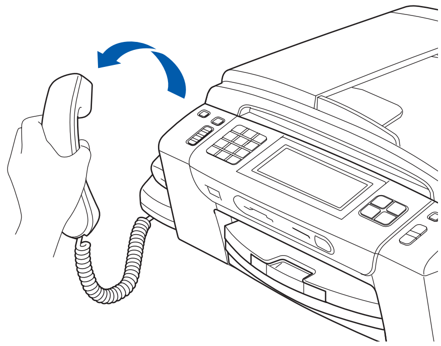
1 充電器から子機をとり、0 ～ 9 で相手の電話番号を押す

通話が終わったら子機を充電器に戻します。
切 を押しても通話が終了します。

電話を受ける

親機の場合

1 電話が鳴ったら、受話器をとって受ける

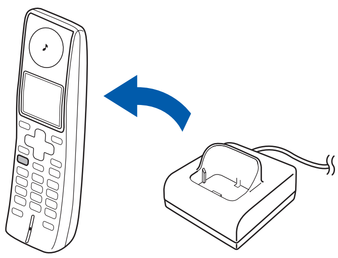


通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

1 電話が鳴ったら、充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、外線 を押します。



通話が終わったら子機を充電器に戻します。
切 を押しても通話が終了します。

いろいろな電話のかけかた

リダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

注意

■ 着信履歴を利用するには、ご利用の電話会社と「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約が必要です。
⇒ 94 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

親機の場合

(1) 受話器をとる

(2) 再ダイヤル/ポーズ を押す

子機の場合

(1) 充電器から子機をとる

(2) 発信履歴 を押す

受話器を置いたままかける

親機の場合

(1) オンフック を押し、相手先の電話番号を押す

(2) 相手が出たら、受話器をとる

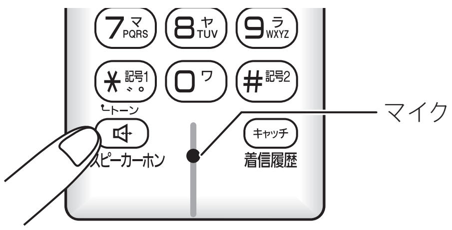
※途中で操作をやめるときやかけ直すときは、もう一度 オンフック を押します。

子機の場合

(1) スピーカーホン を押す

(2) 相手先の電話番号を押す

(3) 相手が出たら、マイクに向かって話す



※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器からとって話してください。

最近かけた相手にかける（発信履歴）

親機の場合

(1) 受話器をとる

(2) 【履歴】を押す

(3) 相手先を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

(4) 【電話をかける】を押す

子機の場合

(1) 充電器から子機をとる

(2) 切 を押す

(3) 外線 が消灯していることを確認し、発信履歴 を押す

(4) で相手先を選ぶ

(5) 外線 を押す

発信履歴を削除する（親機）
⇒ 112 ページ「発信履歴や着信履歴を削除する」

発信履歴を削除する（子機）
⇒ 101 ページ「履歴を削除する（子機）」

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合のみ、使用できます。

親機の場合

(1) 受話器をとる
(2) 【履歴】を押す
(3) 【着信履歴】を押す
(4) 相手先を選ぶ
目的の相手先が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。
(5) 【電話をかける】を押す

子機の場合

(1) 充電器から子機をとる
(2) 切 を押す
(3) 外線 が消灯していることを確認し、キャッチ 着信履歴 を押す
(4) で相手先を選ぶ
(5) 外線 を押す

電話帳からかける

［電話帳 / 短縮（親機）］

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。（⇒ 144 ページ「親機の電話帳を利用する」）

1 【電話帳 / 短縮】を押す

2 受話器をとり、電話をかける相手を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

3 【電話をかける】を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順またはあいうえお順に並べ替えることができます。*01 あ のときはあいうえお順に、*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

子機の電話帳からかける

(1) 充電器から子機をとる
(2) 電話帳 を押す
(3) で電話をかける相手を選ぶ
(4) 外線 を押す

通話中の各種操作（保留 / 録音ほか）

保留のしかたや通話中に会話を録音する方法です。また通話中にできるその他の機能を紹介します。

通話を保留にする

親機の場合

(1) **通話中に ♪保留/子機 を押す**

◆保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

(2) **受話器を受話器台に戻す**

(3) **通話に戻るときは、受話器をとる**

子機の場合

(1) **通話中に 内線 保留 を押す**

◆保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

(2) **通話に戻るときは、内線 保留 または 外線 を押す**

通話を録音する（親機のみ）

(1) **通話中に 録音 を押す**

◆録音が始まります。

(2) **録音をやめるときは、停止/終了 を押す**

※録音時間を設定する

⇒ 155 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

※録音した内容は、留守録メモリーに記憶されます。

※設定した録音時間が過ぎると、録音は中止されます。

※受話器を置いて、待ち受け画面で【留守】を押すと、録音した内容が再生されます。

子機でスピーカーホン通話に切り替える（子機のみ）

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) **通話中に スピーカーホン を押す**

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) **スピーカーホン通話をやめるときは、スピーカーホン を押す**

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。
ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1) **受話器をとり、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする**

(2) **ダイヤル回線の場合は、＊（子機の場合は ＊ トーン）を押す**

(3) **サービスの指示に従って操作パネルまたは子機のダイヤルボタンを押す**

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を設定する（子機のみ）

相手の声をお好みの音質に 5 段階に調整できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) **通話中に クリア 音質 を押す**

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2) **クリア 音質 を押して音質を調整する**

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する（子機のみ）

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) **通話中に クリア 音質 を約 2 秒押す**

◆「ナイショ：ON」と表示されます。

※設定を解除するには、もう一度 クリア 音質 を約 2 秒押します。

※スピーカーホンで通話中は内緒話モードを設定できません。

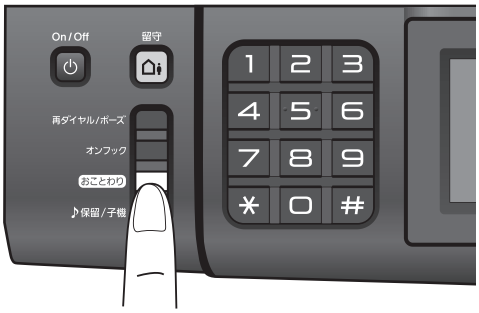
ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付録

迷惑電話を拒否する

迷惑電話がかかってきたときに、拒否メッセージを再生し、回線を切断します。

通話前に迷惑電話を拒否する

1 かかってきた電話が迷惑電話の場合、おことわり を押す



【おことわりしますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

メッセージが流れ、電話が切られます。

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切られます。

通話中の迷惑電話を拒否する（親機）

1 通話中の電話が迷惑電話の場合、おことわり を押す

【おことわりしますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

メッセージが流れ、電話が切られます。

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切られます。

通話中の迷惑電話を拒否する（子機）

1 通話中の電話が迷惑電話の場合、機能/確定 を長押しする

メッセージが流れ、電話が切られます。

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切られます。

子機からは通話中でのみ迷惑電話を拒否できます。

電話を取り次ぐ

電話の応用機能

親機から子機へ電話を取り次ぐ

親機で受けた電話を子機に取り次ぎます。

1 通話中に ♪保留/子機 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

- 呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは ♪保留/子機 を押します。
- 親機・子機の内線番号について
⇒ 90 ページ「親機と子機の内線番号について」

3 子機を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

4 子機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、受話器を置く

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ電話を取り次ぐ

子機で受けた電話を親機に取り次ぎます。

1 通話中に 内線/保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 十字キーで、「オヤキ」を選び、機能/確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

- 親機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは 内線/保留 を押します。

3 親機の受話器をとる

4 親機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて 切 を押す

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から子機へ電話を取り次ぐ

子機を 2 台以上使用しているとき、子機でとった電話を別の子機に取り次ぐことができます。ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明しています。

1 通話中に [内線/保留] を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 で「コキ 2」を選び、[機能/確定] を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

> 呼び出している子機 2 が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、[内線/保留] を押します。

3 子機 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、[内線/保留] または [外線] を押します。

4 子機 2 の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、[切] を押す

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

電話を簡単に取り次ぐことができます。

親機から子機へ

1 通話中に [♪保留/子機] を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 親機の受話器を置く

3 充電器から子機をとる

充電器に置いていないときは [外線] を押します。

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ

1 通話中に [内線/保留] を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 子機を充電器に戻す

3 親機の受話器をとり、[♪保留/子機] を押す

親機と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

親機から子機へ、子機から親機へ、子機から子機へ内線電話をかけることができます。

親機から子機へかける

1 **受話器をとって、♪保留/子機 を押す**

2 **通話したい子機の内線番号を押す**

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 **子機を充電器からとる**

充電器から外しているときは、内線 保留 または 外線 を押します。

親機と子機で通話できます。

子機から親機へかける

1 **子機を充電器からとり、切 を押してから 内線 保留 を押す**

2 **で「オヤキ」を選び、機能 確定 を押す**

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 **親機の受話器をとる**

親機と子機で通話できます。

内線通話中に外線がかかってきたときは、内線通話状態のまま親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して、もう一度受話器をとると外線と電話がつながります。

子機から子機へかける

子機を 2 台以上使用しているとき、子機同士で通話することができます。
外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。⇒ 88 ページ「子機から子機へ電話を取り次ぐ」
ここでは、子機 1 から子機 2 に内線をかける場合を例に説明します。

1 子機を充電器からとり、切 を押してから 内線/保留 を押す

2 ✥ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

子機 1 と子機 2 で通話できます。

電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は、以下のように設定されています。

機種 ＼ 通話先	子機 1	子機 2	増設子機 2	増設子機 3	増設子機 4
MFC-J950DN	1	–	2	3	4
MFC-J950DWN	1	2	–	3	4

3 人で同時に話す

親機と子機と外線の相手、または子機同士と外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

注意

- ■ 外線の相手2人と同時に通話することはできません。
- ■ トリプル通話中は、保留にできません。トリプル通話から二者通話に戻す場合は、親機の受話器を戻すか、子機の切を押してください。

親機から子機を呼び出してトリプル通話をする

1 親機で外線通話中に ♪保留/子機 を押す

通話が保留になります。

2 通話したい子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 子機を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

4 子機の相手に 3 人で話すことを伝えて、♪保留/子機 を押す

トリプル通話が始まります。

子機から親機を呼び出してトリプル通話をする

1 **子機で外線通話中に［内線 保留］を押す**

通話が保留になります。

2 **［十字キー］で「オヤキ」を選び、［機能 確定］を押す**

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 **親機の受話器をとる**

4 **親機の相手に３人で話すことを伝えて、［内線 保留］を押す**

トリプル通話が始まります。

子機１から子機２を呼び出してトリプル通話をする

1 **子機 1 で外線通話中に［内線 保留］を押す**

通話が保留になります。

2 **［十字キー］で「コキ 2」を選び、［機能 確定］を押す**

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 **子機 2 を充電器からとる**

充電器から外しているときは、［内線 保留］または［外線］を押します。

4 **子機２の相手に３人で話すことを伝えて、［内線 保留］を押す**

トリプル通話が始まります。

キャッチホンサービスを利用する オプションサービス

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「キャッチホンサービス」をご利用いただくことができます。

> キャッチホン／キャッチホン II は、外線通話中に別の電話やファクスを受けられる、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

注意

- 「キャッチホン／キャッチホン II」を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 「ピピッ」と聞こえたら【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押す

新しくかかってきた相手の声が聞こえます。
待たせている相手の方には保留メロディが流れます。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押す

最初の相手に戻ります。

> 【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押すごとに、通話の相手が切り替わります。

> キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

1 「ピピッ」と聞こえたら【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押す

「ピーピー」という音が聞こえます。
相手先は保留メロディが流れます。

2 もう一度【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押し、最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 手短に通話を終えて【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

注意

- ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4 **親機の スタート モノクロ または カラー スタート を押し、【受信】を押す**

5 **ファクスの受信が終わったら、受話器を戻す**

親切受信を【する】に設定していると、【キャッチ】（ キャッチ 着信履歴 ）を押して「ピーピー」と聞こえたときに自動的にファクスを受信することがあります。自動的にファクスを受信したくないときは親切受信を【しない】にしてください。

⇒ 130 ページ「電話に出ると自動的に受ける」

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

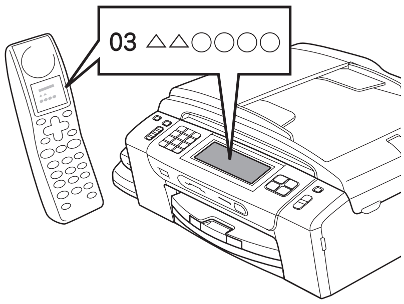
ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

注意

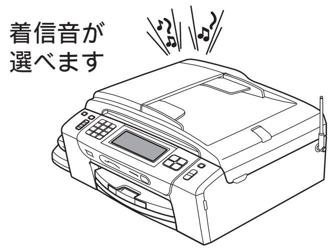
- 本製品の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。契約していない場合は、【なし】に設定してください。
- ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。

電話番号表示機能
電話がかかってくると、相手の電話番号が画面に表示されます。



名前表示機能
親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が画面に表示されます。
※電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本製品に登録された名前が表示されます。

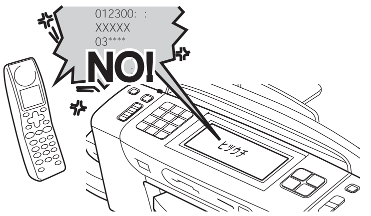
着信音鳴り分け機能（親機のみ）
電話番号ごとに着信音を指定できます。
また、迷惑指定にして、特定の番号からかかってきても、着信音を鳴らさないこともできます。



迷惑電話防止／非通知着信拒否／公衆電話拒否機能／表示圏外拒否機能

迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。
また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話、表示圏外の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。

※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプターによっては、着信を拒否できない場合があります。



着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。

- 画面に表示する
- 「着信履歴」として印刷する（親機のみ）
- 親機または子機の電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける

ナンバー・ディスプレイサービスを設定する

［ナンバーディスプレイ］

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは【あり】に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは【なし】に設定します。
【あり】に設定しているときは、「着信鳴り分け」「非通知着信拒否」「公衆電話拒否」「表示圏外拒否」「着信拒否モニター」「キャッチディスプレイ」などが設定できます。また、「着信履歴」を表示したり、「着信履歴リスト」を印刷することができます。お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ【あり】に設定されています。

注意

- ■「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくためには、電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約していない場合は【なし】にしてください。
- ■ ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイ」の設定を【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 【メニュー】を押す

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【ナンバーディスプレイ】を押す

4 【あり】または【なし】を選ぶ

設定は【あり】または【なし】から選びます。

- 【あり】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できます。（別途、電話会社との契約が必要です）。
- 【なし】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。

親機

子機

● その他の表示例

- 【非通知】
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】
  公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】
  相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

- 【なし】に設定しているときは、【着信鳴り分け】【非通知着信拒否】【公衆電話拒否】【表示圏外拒否】【着信拒否モニター】【キャッチディスプレイ】などのメニューは表示されません。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。
- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本製品に登録された名前が表示されます。
- 「ネーム・ディスプレイ」の契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。

着信鳴り分けを設定する

［着信鳴り分け］

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、かけてきた相手によって着信音を変えたり、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したりすることができます。

電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 【メニュー】を押す

2 ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 【ナンバーディスプレイ】を押す

4 【あり】を押す

5 【着信鳴り分け】を押す

6 着信音を鳴り分けさせたい電話番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

> ＊01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順またはあいうえお順に並べ替えることができます。
> ＊01 あ のときはあいうえお順に、
> ＊01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 着信鳴り分け設定を選ぶ

設定は【ファクス／迷惑指定／電話】から選びます。

- 【ファクス】
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】
  着信音が鳴りません。
  ⇒ 99 ページ「迷惑電話を防止する」
- 【電話】
  設定した着信音で親機が鳴ります。

【電話】を選んだ場合⇒手順 8 へ
【ファクス】【迷惑指定】を選んだ場合
⇒手順 9 へ

8 着信音を選び、OK を押す

⇒ 72 ページ「親機の着信音・保留音を選ぶ」
目的のメロディが表示されていない場合は、▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせます。

9 停止/終了 を押す

設定を終了します。

電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 機能/確定 を押し、十字キーで「メイドウオンセッテイ」機能/確定「2. チャクシン ナリワケ」を選び、機能/確定 を押す

着信音を選ぶ画面が表示されます。

2 十字キーで着信音を選び、機能/確定 を押す

⇒ 73 ページ「子機の着信音を選ぶ」

3 切 を押す

> 子機では、電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。
>
> 子機の電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

ナンバー・ディスプレイの利用方法（親機のみ）

迷惑電話を防止する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（98 ページ）の手順 5 までを行う

(2) 着信音を鳴らしたくない電話番号を選ぶ

(3) 【迷惑指定】を選ぶ

(4) 停止/終了 を押す

迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（98 ページ）の手順 4 までを行う

(2) 【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を選ぶ

(3) 【する】を押す

(4) 停止/終了 を押す

番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。

着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。
⇒ 99 ページ「着信拒否モニターを設定する」

ファクスの場合は、自動的に電話を切ります。（ファクスは受信しません。）

着信拒否モニターを設定する

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、非通知着信拒否または公衆電話拒否、表示圏外拒否のときの着信拒否メッセージを本製品のスピーカーから聞くことができます。

(1) 「電話帳に登録した電話番号によって着信音を変える（親機）」（98 ページ）の手順 4 までを行う

(2) ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【着信拒否モニター】を押す

(3) 【する】を押す

(4) 停止/終了 を押す

スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

着信履歴を利用する

[着信履歴]

注意

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。【着信がありません】(親機)「チャクシンリレキ　ナシ」(子機) と表示されます。

着信履歴を見る

親機の場合

(1) 待ち受け画面で【履歴】を押す

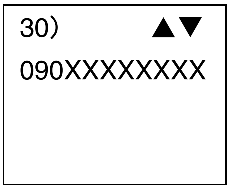
(2) 【着信履歴】を押す

◆最新の着信履歴が表示されます。

子機の場合

(1) キャッチ 着信履歴 を押す

◆着信履歴が表示されます。



- 着信履歴は最新の 30 件が記録されています。
- 着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
  ⇒ 84 ページ「最近かかってきた相手にかける(着信履歴)」
  ⇒ 146 ページ「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

着信履歴を印刷する(親機のみ)

(1) 記録紙をセットする

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【レポート印刷】を押す

(4) ▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【着信履歴リスト】を押す

(5) スタート モノクロ を押す

◆着信履歴が印刷されます。

(6) 停止/終了 を押す

着信履歴を削除する(親機)

(1) 待ち受け画面で【履歴】を押す

(2) 【着信履歴】を押す

◆最新の着信履歴が表示されます。

(3) 削除したい着信履歴を選ぶ

(4) 【メニュー】を押す

(5) 【消去】を押す

◆【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(6) 【はい】を押す

◆指定した着信履歴を削除し、一つ前の(より古い)着信履歴が繰り上がって表示されます。

(7) 停止/終了 を押す

履歴を削除する（子機）

1 件のみ削除する場合

(1) を押し、で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、を押す

(2) で削除したい履歴を選び、を押す

(3) で「1 ケン　ショウキョ」を選び、を押す

(4) を押す

◆選択した履歴が削除されます。

(5) 切 を押す

◆設定を終了します。

すべての履歴を削除する場合

(1) を押し、で「チャクシンリレキ」または「ハッシンリレキ」を選び、を押す

(2) を押す

(3) で「ゼンケン　ショウキョ」を選び、を押す

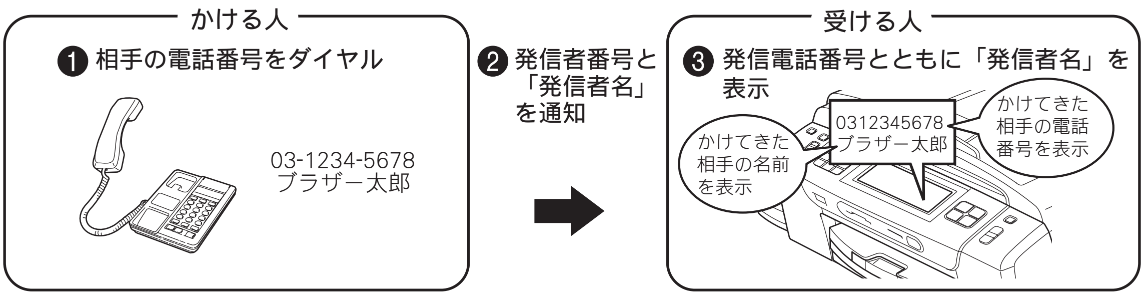
(4) を押す

◆子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

ネーム・ディスプレイサービスを利用する

ネーム・ディスプレイは NTT が行っているサービスです。本製品の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が画面に表示されます。サービスの詳細については NTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。⇒ 96 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

- 子機は対応していません。
- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。
- お客様がご利用されている電話会社が NTT 東日本、NTT 西日本以外の場合は、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- IP 電話（050 番号）への着信には「発信者名」を表示させることはできません。



電話をかけるときに、「発信者名」が発信電話番号とともに相手の電話機に表示されるので、安心して電話に出てもらえます。

ご自分の「発信者名」を通知するには

NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。費用はかかりません。

電話に出る前に、かけてきた相手の「発信者名」が発信電話番号とともに電話機に表示されるので、安心して電話に出ることができます。

「発信者名」をご自分の電話機に表示させるには

「ネーム・ディスプレイ」、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。NTT東日本・NTT西日本にお申し込みください。

● 提供地域	● 発信者名を表示する通話	● 表示される文字
全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域）※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。	NTT 東日本および NTT 西日本の加入電話回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。	10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

● 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも 105 円（INS ネット 1500 については 1,050 円）
別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
（参考）ナンバー・ディスプレイ料金（2010 年 5 月 1 日現在）

- 月額使用料
  加入電話、ライトプラン：420 円（住宅用）、1,260 円（事務用）
  INS ネット 64、INS ネット 64 ライト：630 円（住宅用）、1,890 円（事務用）
  INS ネット 1500：18,900 円
- 工事料：2,100 円

お申し込み・お問い合わせは

局番なしの「116：無料」
受付時間 9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、電話会社のサービスです。
サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチホン・ディスプレイ【なし】に設定されています。

注意

- 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、ご利用の電話会社と「キャッチホン」または「キャッチホン II」（⇒ 92 ページ「キャッチホンサービスを利用する」）と「ナンバー・ディスプレイサービス」（⇒ 94 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」）の両方を契約していただく必要があります。（有料）
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホン・ディスプレイが入ると「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- 子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒間です。

1 **【メニュー】を押す**

2 **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

3 **【ナンバーディスプレイ】を押す**

4 **【あり】を押す**

5 **▼ / ▲ を押して画面をスクロールさせ、【キャッチディスプレイ】を押す**

6 **【あり】または【なし】を選ぶ**

設定は、【あり／なし】から選びます。

- 【あり】：
  キャッチホン・ディスプレイが設定されます。
- 【なし】：
  キャッチホン・ディスプレイは設定されません。

7 **停止/終了 を押す**

設定を終了します。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付録

Memo

第3章

ファクス

ファクスを送る

基本

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。

注意

- 相手先のファクシミリがモノクロの場合は、カラーで送ってもモノクロで受信されます。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
- ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。
- ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス、再ダイヤル）をすることができません。

ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る

［自動送信］

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 61 ページ「ADF にセットできる原稿」

⇒ 62 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル/ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは スタート モノクロ を、カラーで送るときは カラー スタート を押す

スタート モノクロ を押した場合：原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

カラー スタート を押した場合：相手につながってから原稿の読み取りが開始されます。

送信する前にファクスをキャンセルする

ダイヤル中または送信中に、停止/終了 を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ? ／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

送信したあとでファクスをキャンセルする

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】から【ファクス / 電話】を選び、【通信待ち確認】からキャンセルします。
（142 ページ）

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信（114 ページ）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき）

［自動送信］

1 枚のファクスを送ります。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

オンフック は押さないでください。

再ダイヤル/ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは スタート モノクロ を、カラーで送るときは カラー スタート を押す

- スタート モノクロ を押した場合：
原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わり、【次の原稿はありますか ? ／はい／いいえ】と表示されたら、【いいえ】を押してください。
- カラー スタート を押した場合：
【カラーファクスを 1 枚のみ送信します 複数枚送信のときは [いいえ] を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されたら、【はい（カラー送信）】を押してください。

原稿の送信が開始されます。

送信する前にファクスをキャンセルする

ダイヤル中または送信中に、停止/終了 を押してください。
※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ? ／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

送信したあとでファクスをキャンセルする

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】から【ファクス / 電話】を選び、【通信待ち確認】からキャンセルします。
（142 ページ）
再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。
※手動送信（114 ページ）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき）

［自動送信］

モノクロでファクスを送る場合に限り、原稿台ガラスからも複数枚の原稿を送ることができます。この場合は、すべての原稿をメモリーに蓄積してから送信します。ADF が使用できない原稿を送る場合などに使用します。（⇒ 61 ページ「ADF に原稿をセットする場合の注意事項」）

注意

- リアルタイム送信を【する】にしている場合は、原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ることができません。原稿台ガラスから複数枚のファクスを送る場合は、リアルタイム送信を【しない】にしてください。⇒ 124 ページ「原稿をすぐに送る」
- カラーで複数枚送信する必要がある場合は、1 枚ずつ送るか、ADF から送ってください。
⇒ 107 ページ「原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき）」
⇒ 106 ページ「ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る」

1）1 枚目の原稿を読み込む

1 1 枚目の原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

注意

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル/ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 スタート モノクロ を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み込む

6 原稿台に 2 枚目の原稿をセットして、スタート モノクロ を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合⇒手順 7 へ
- これで送信する場合⇒手順 8 へ

3）3 枚目の原稿を読み込む

7 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、スタート モノクロ を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または スタート モノクロ を押す

ファクスが送られます。

送信中・印刷中に次のファクスを読み取る（デュアルアクセス）

ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。
※カラーファクスの場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

内容を確認してからファクスを送る

[みてから送信]

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。

注意

- みてから送信を行うときは、「リアルタイム送信」と「ポーリング受信」を【しない】に設定してください。
  ⇒ 124 ページ「原稿をすぐに送る」
  ⇒ 132 ページ「本製品の操作で相手の原稿を受ける」
- みてから送信を行うときは、カラーファクス送信はできません。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

注意

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

2 を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

4 / を押して画面をスクロールさせ、【みてから送信】を押す

5 【する】を押す

6 を押す

- ADF 使用時、原稿の読み取りが開始され、画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。⇒手順 9 へ
- 原稿ガラスから読み込んだ場合、読み込みが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
  - 2 枚目の原稿がある場合⇒手順 7 へ
  - これで送信する場合⇒手順 8 へ

7 【はい】を押し、2 枚目の原稿をセットして、を押す

3 枚以上原稿がある場合は、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

9 画面で、ファクスの内容を確認する

【メニュー】を押すと、以下のボタンが表示されます。

ボタン	操作内容
/	縦方向にスクロールします。
/	横方向にスクロールします。
/	拡大／縮小表示します。
/	前のページ／次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。

A）ファクスを送る場合

10 を押す

ファクスが送られます。

B）ファクス送信を中止する場合

11 停止/終了 を押す

画面に、【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

12 【はい】を押す

送信が中止されます。

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

注意

■「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 94 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 【履歴】を押す

4 ファクスを送る相手先を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は、スタート モノクロ を、カラーで送る場合は、カラー スタート を押す

ファクスが送られます。

発信履歴や着信履歴を削除する

(1) 「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」の手順 2、3 の操作を行う
(2) 削除する相手先を選ぶ
(3) 【メニュー】を押す
(4) 【消去】を押す
◆【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。
(5) 【はい】を押す
◆選んだ番号が消去されます。
(6) 停止/終了 を押す

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

【電話帳 / 短縮】

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、簡単な操作でダイヤルすることができます。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

ファクスモードに切り替わります。

3 【電話帳 / 短縮】を押す

4 ファクスを送る相手を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送る場合は、スタート モノクロ を、カラーで送る場合は、カラー スタート を押す

ファクスが送られます。

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順またはあいうえお順に並べ替えることができます。*01 あ のときはあいうえお順に、*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

相手先の受信音を確認してから送る

［手動送信］

相手の受信音を確認してからファクスを送ります。

注意

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 オンフック を押したあと、相手のファクス番号をダイヤルする

4 相手の受信音（ピー音）を確認して、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。⇒手順 5 へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

ファクスの送信が終わると、回線が自動的に切れます。

送るのをやめるときは

(1) 停止／終了 を押す

◆【停止しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

話をしてから送る

[手動送信]

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。

注意

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 相手先に電話をかける

⇒ 82 ページ「電話をかける」

2 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクシミリのスタートボタンを押してもらう

相手先のファクスが応答すると「ピー」という音が聞こえます。

3 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

4 [スタート モノクロ] または [カラー スタート] を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【ファクスしますか ? ／送信／受信】と表示されます。⇒手順 5 へ

5 【送信】を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

6 受話器を戻す

送るのをやめるときは

(1) [停止/終了] を押す

◆【停止しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスの送信が中止されます。

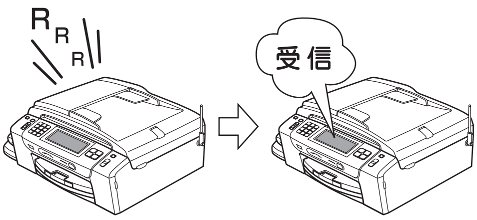
ファクスを受ける

本製品では、以下の方法でファクスを受けることができます。
また、電話・ファクスの受け方を用途に合わせて設定することができます。
⇒ 64 ページ「電話・ファクスの受けかたを変更する」

自動的に受ける

[自動受信]

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にメモリーに受信します。（⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」）



注意

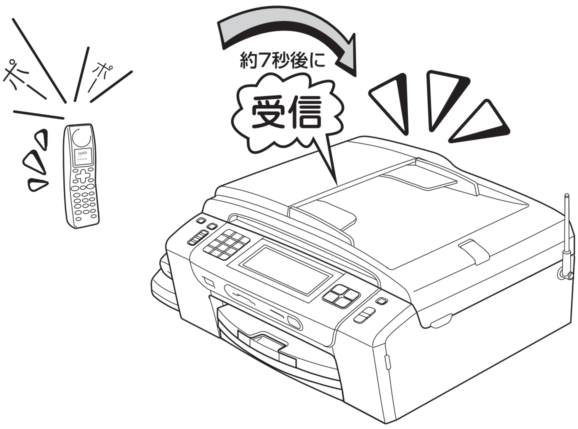
- 着信音を鳴らさずにファクスを受信したい場合は、「ファクス無鳴動受信」を設定してください。
  ⇒ 67 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない」
- 呼出回数を【無制限】に設定しているときは自動的に受信しません。⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」

ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、画面で内容を確認できます。はじめから記録紙で受信したいときは、「みるだけ受信」を設定しないでください。お買い上げ時は、みるだけ受信が【する】に設定されています。（⇒ 121 ページ「ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する / 設定する）」）

※「みるだけ受信」を設定しないと、画面で確認したり、あとでもう一度印刷したりすることはできません。

子機で受ける

あらかじめ「親切受信」を【する】に設定しておくと、子機を取って約 7 秒後に自動的に受信します。お買い上げ時は親切受信（⇒ 130 ページ「電話に出ると自動的に受ける」）が【する】に設定されています。



親切受信を設定していないときや、相手と話したあとに受信するときは、親機の スタート モノクロ【受信】を押して受信します。

電話に出てから受ける

［手動受信］

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 受話器を取って電話を受ける

2 「ポー、ポー」と音がしていたら、ファクスを押してファクスモードにしてから、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

相手と通話したあとにファクスを受信したいときは、相手へファクスに切り替えることを伝えて スタート モノクロ または カラー スタート を押します。

【ファクスしますか？／送信／受信】と表示されます。

> 【ファクスしますか ?】のメッセージが表示されないときは、停止/終了 を押して、スタート モノクロ または カラー スタート を押してください。

3 【受信】を押す

ファクスを受信します。

4 受話器を戻す

> 親切受信（⇒ 130 ページ「電話に出ると自動的に受ける」）を【する】に設定している場合は、受話器をとって約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

[みるだけ受信]

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。お買い上げ時は、みるだけ受信が設定されています。受信したファクスを自動的に印刷したいときは、みるだけ受信を解除してください。（⇒ 121 ページ）

注意

- 「みるだけ受信」と「ファクス転送」を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。「ファクス転送」で「本体でも印刷する」を設定していても印刷されません。
- 「みるだけ受信」を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

1 【新着ファクス：XX】が表示されたら、【みるだけ受信】を押す

現在メモリーに保存されているファクスの件数は、【みるだけ受信】の上に表示されています。

新着のファクスの一覧が表示されます。

新着ファクスがないときは、既読ファクスの一覧が表示されます。

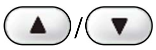
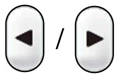
2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、確認したいファクスを選んで押す

既読ファクスが見たいときは、【既読ファクス】を押してください。

ファクスの内容が表示されます。

表示されたファクスは、既読ファクスの一覧に移動します。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
	リスト画面に戻ります。
	縦方向にスクロールします。
	横方向にスクロールします。
	拡大／縮小表示します。
	前のページ／次のページを表示します。
	90°ずつ右回転します。
	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 119 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
	ファクスを印刷します。 ⇒ 119 ページ「ファクスを印刷する」
	プレビュー画面のメニュー表示を終了します。

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

ファクスを印刷する

(1) 印刷したいファクスが画面に表示された状態で [印刷アイコン] を押す

(2) 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する

◆すべてのページを印刷する場合は、【すべてのページをプリント】を押して、(3) に進みます。

◆見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押します。

◆見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押します。

(3) ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す

(4) [停止/終了] を押す

ファクスをメモリーから消去する

(1) 消去したいファクスが画面に表示された状態で、[ごみ箱アイコン] を押す

◆【すべてのページを消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

◆ファクスのデータが消去されます。

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているすべてのファクスデータをまとめて印刷することができます。

1 **【みるだけ受信】を押す**

2 **【メニュー】を押す**

3 **【すべてプリント】を押す**

ファクスのデータがすべて印刷されます。

4 **停止/終了 を押す**

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているすべてのファクスデータをまとめて消去することができます。

1 **【みるだけ受信】を押す**

2 **【メニュー】を押す**

3 **【すべて消去】を押す**

【消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 **【はい】を押す**

ファクスのデータがすべて消去されます。

5 **停止/終了 を押す**

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する/設定する）

[みるだけ受信]

【みるだけ受信をしない】に設定すると、みるだけ受信が解除され、受信したファクスは自動的に印刷されます。

注意

- ■ みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、全てのファクスデータを印刷しておくこともできます。
  ⇒ 119 ページ「ファクスを印刷する」
  ⇒ 120 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- ■ 「みるだけ受信」と「ファクス転送」を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。また、「ファクス転送」で「本体でも印刷する」を設定していても印刷されません。

1 **【みるだけ受信】を押す**

2 **【メニュー】を押す**

3 **【みるだけ受信をしない】を押す**

【みるだけ受信をしないにすると受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。
【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 **メッセージを確認して、【はい】を押す**

【みるだけ受信をしないにすると受信ファクスが消去されます／消去する／全て印刷してから消去／キャンセル】と表示されます。

5 **【消去する】または【全て印刷してから消去】を押す**

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

みるだけ受信を設定する

(1) **【みるだけ受信】を押す**
　◆【みるだけ受信を「する」にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**

(3) **メッセージを確認し、【はい】を押す**
　◆みるだけ受信が設定されます。

記録紙がなくなったときは

「みるだけ受信」を設定していなくても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。（メモリー代行受信）

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。
※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
※電源を抜いたときや停電のときは、数時間以上たつとメモリーに記憶された受信ファクスメッセージが消去されます。
※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

ファクスの便利な送りかた

応用

設定を変えてファクスするには

ファクス を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。

例：みてから送信

◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ【みてから送信】を押す

設定値を選ぶ

画質や濃度を変更する

［ファクス画質／原稿濃度］

ファクス を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 124 ページ「変更した設定を保持する」

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【ファクス画質】または【原稿濃度】を選ぶ

4 設定を選ぶ

画質は以下の設定から選びます。

- 【標準】：
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】：
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】：
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】：
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

濃度は以下の設定から選びます。

- 【自動】：
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】：
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】：
  原稿が濃いときに選びます。

5 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

画質を変更して、ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準に比べて送信時間がかかります。
- 写真モードで送っても、相手のファクシミリが標準モードで受け取ると、画質が劣化します。
- 原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- カラーファクスを送信するときや、ファクス画質で【写真】を選択したときは、原稿濃度は【自動】で送信されます。
- カラーファクスを送信するときは、画質を【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【ファイン】で送信されます。

原稿をすぐに送る

［リアルタイム送信］

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 124 ページ「変更した設定を保持する」

注意

- リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイムで送信されます。
- リアルタイム送信では、原稿を原稿台ガラスにセットした場合、相手が通話中であれば自動再ダイヤルを行いません。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀/▶ を押して画面をスクロールさせ、【リアルタイム送信】を押す

4 設定を選ぶ

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  リアルタイム送信で送ります。
- 【しない】：
  通常の送信で送ります。

> 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。

5 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは スタート モノクロ を、カラーで送るときは カラー スタート を押す

原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

> 本製品は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

変更した設定を保持する

(1) ファクス を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する

保持できる設定は以下のとおりです。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- みてから送信
- リアルタイム送信

(2) ◀/▶ を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

◆現在の設定が初期値として登録されます。

※初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。

注意

- タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 [ファクス] を押す

3 ◀/▶ を押して画面をスクロールさせ、【タイマー送信】を押す

4 【する】を押す

送信時刻を入力する画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで送信時刻を入力し、OK を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

例）午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

- 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。
- 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ 122 ページ「画質や濃度を変更する」

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、[スタート モノクロ] を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ

送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして [スタート モノクロ] を押す

送りたい原稿について、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または [スタート モノクロ] を押す

設定を終了します。

読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

- 相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。
- タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付録

同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

注意

- ■ とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ■ とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1 ファクス を押す

2 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【とりまとめ送信】を押す

3 【する】を押す

設定は、【する／しない】から選びます。

4 停止/終了 を押す

設定を終了します。

海外へ送る

［海外送信モード］

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。

海外送信モードは送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【海外送信モード】を押す

4 【する】を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ 122 ページ「画質や濃度を変更する」

5 相手先のファクス番号をダイヤルして、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 7 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 6 へ

6 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして スタート モノクロ または カラー スタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

7 【いいえ】または スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ファクスが送られます。

相手の操作で原稿を送る

［ポーリング送信］

本製品に原稿を登録しておくと、ポーリング機能のある他のファクシミリはその原稿を自由に取り出すことができます。これを「ポーリング送信」といいます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

機密ポーリング送信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

注意

- 相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【ポーリング送信】を押す

4 【標準】または【機密】を選ぶ

5 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定を選びます。
⇒ 122 ページ「画質や濃度を変更する」

6 スタート モノクロ を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 8 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして スタート モノクロ を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

8 【いいえ】または スタート モノクロ を押す

原稿を読み取り、メモリーに蓄積します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除したいときは、【メニュー】から【ファクス / 電話】【通信待ち確認】を選んで解除します。
⇒ 142 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先に同じ原稿を送る

［同報送信］

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・電話帳 / 短縮ダイヤル・グループダイヤルから、合わせて最大 250 箇所まで指定できます。

注意

■ 同報送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【同報送信】を押す

4 【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ

5 【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、OK を押す

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び OK を押す

目的の相手先が表示されていない場合は、▼／▲ を押して画面をスクロールさせます。

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ 147 ページ「グループダイヤルを登録する」

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順またはあいうえお順に並べ替えることができます。

*01 あ のときはあいうえお順に、

*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

6 手順 5 を繰り返し、2 件目以降の相手先を選ぶ

7 すべての相手先を選び終わったら、OK を押す

8 スタート モノクロ を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして スタート モノクロ を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

10 【いいえ】または スタート モノクロ を押す

原稿を読み取り、指定した相手先にファクスが送られます。
すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆【同報送信をキャンセルします。現在のあて先のみか、全ての送信先かを選択してください。／XXX（現在の番号または電話帳に登録してあるなら名前）／全ての同報送信】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブをキャンセルする場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※キャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(3) 【はい】を押す

すべての同報通信をキャンセルした場合は、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブをキャンセルした場合は、数秒後に次の番号が表示されます。続けてキャンセルする場合は⑴～⑶を繰り返します。

※キャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

- 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。
- 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- 原稿読み込み中に【メモリーがいっぱいです】と表示されたら、停止/終了 を押して送信を中止するか、スタート モノクロ を押して読み込まれた分だけ送ります。

ファクスの便利な受けかた

電話に出ると自動的に受ける

［親切受信］

受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信します。
お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 【親切受信】を押す

5 【する】を押す

設定は【する／しない】から選びます。
- 【する】：親切受信をする
- 【しない】：親切受信をしない

6 停止/終了を押す

設定を終了します。

注意

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を【しない】にしてください。

親切受信を設定した場合のファクスの受けかた

(1) 着信音が鳴ったら、受話器をとる
◆「ポー、ポー」と音が聞こえます。

(2) そのまま 7 秒待つ
◆7 秒後に、自動的にファクスが受信されます。

(3) 画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

- ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。
- 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポー、ポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、スタート モノクロ または スタート カラー を押さないとファクスを受信することができません。
- 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、スタート モノクロ または スタート カラー を押して手動でファクスを受信してください。
- 親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま スタート モノクロ または スタート カラー を押して手動でファクスを受信します。

自動的に縮小して受ける

[自動縮小]

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲ を押して画面をスクロールさせ、【自動縮小】を押す

5 【する】を押す

設定は【する/しない】から選びます。

- 【する】:
  自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されます。
- 【しない】:
  自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

> 自動縮小を【しない】に設定し、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、縮小せず等倍のままで複数枚の記録紙に分割して印刷します。

本製品の操作で相手の原稿を受ける

[ポーリング受信]

本製品から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。(これを「ポーリング受信」といいます。)
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

> 機密ポーリング受信は、相手側のファクシミリもブラザー製の場合のみ行えます。

注意

- 相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。
- ポーリング受信のときは、モノクロで受信されます。(カラーでの受信はできません。)
- ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

ポーリング受信をする

1 ファクス を押す

2 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【ポーリング受信】を押す

3 設定を選ぶ

- 【標準】:
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】:
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】:
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】:
  ポーリング受信を行いません。

4 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

【タイマー】を選んだ場合、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、OK を押す

時刻は 24 時間制で入力します。

例) 午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

> 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 相手先のファクス番号をダイヤルし、スタート モノクロ を押す

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

ファクスを受信します。

> 本製品では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式(音声が聞こえるもの)とポーリング方式(ピーと音がするもの)があります。各種サービスに合わせて操作してください。

> ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に ＊ を入力してください。

> タイマーポーリング受信をキャンセルするには、【メニュー】【ファクス / 電話】【通信待ち確認】からキャンセルしたい設定を選びます。
> ⇒ 142 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

複数の相手先からポーリング受信をする

複数の相手先からポーリング受信をすることを「順次ポーリング」といいます。
順次ポーリングでは、1 回の操作で、複数の相手先のファクシミリにセットされた原稿を受けることができます。

1 ［ファクス］を押す

2 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【ポーリング受信】を押す

3 設定を選ぶ

- 【標準】：
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- 【機密】：
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- 【タイマー】：
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- 【しない】：
  ポーリング受信を行いません。

4 【機密】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで 4 桁のパスワードを入力して、OK を押す
【タイマー】を選んだ場合、画面に表示されているテンキーで受信時刻を入力して、OK を押す

時刻は 24 時間制で入力します。
例） 午後 3 時 5 分の場合は、「1505」と入力します。

> 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【同報送信】を押す

6 【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ

7 【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、OK を押す

> 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び OK を押す

目的の相手先が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

> グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。⇒ 147 ページ「グループダイヤルを登録する」
>
> ［*01 あ］を押すと、電話帳を短縮番号順またはあいうえお順に並べ替えることができます。
> ［*01 あ］のときはあいうえお順に、
> ［*01 あ］のときは短縮番号順に並べ替えられます。

【番号追加】を選んだ場合⇒手順 8 へ
【電話帳検索】を選んだ場合⇒手順 9 へ

8 手順 7 を繰り返し、2 件目以降の相手先を指定する

9 すべての相手先を選び終わったら、OK を押す

10 ［スタート モノクロ］を押す

ファクスを受信します。
すべての相手先からの受信が終わると、自動的に「順次ポーリングレポート」が印刷されます。

順次ポーリング受信をやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆現在受信中のジョブ（相手先のファクス番号が表示されます。）をキャンセルするか、順次ポーリングをキャンセルするかを選択する画面が表示されます。

※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(2) 目的のボタンを押す

(3) 【はい】を押す

※順次ポーリングのキャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

ファクスを転送する

[ファクス転送]

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は、ファクス転送は設定されていません。

注意

- 「ファクス転送」の設定前に受信済みのファクスは転送できません。
- 「みるだけ受信」と「ファクス転送」を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。「ファクス転送」で「本体でも印刷する」を設定していても印刷されません。
- 「ファクス転送」を設定していても、カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。
- 「ファクス転送」は、「メモリ保持のみ」、「PC ファクス受信」と同時に設定することはできません。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【ファクス転送】を押す

6 画面に表示されているテンキーで転送先のファクス番号を入力し、OK を押す

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

すでに転送先のファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号が表示されます。
転送先のファクス番号を変更する場合は ⌫ を押し、入力し直します。

「みるだけ受信」に設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 8 へ
「みるだけ受信」に設定されていない場合
⇒手順 7 へ

7 本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

8 停止/終了 を押す

設定を終了します。

転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に 5 分おきに 3 回まで再ダイヤルされます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

［PC ファクス受信］

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。

注意

- ■ カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- ■「PC ファクス受信」は、「ファクス転送」「メモリ保持のみ」と同時に設定することはできません。
- ■「PC ファクス受信」は Windows® でのみ使用できます。
- ■「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【PC ファクス受信】を押す

6 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「PC-FAX（Windows®）」－「パソコンでファクスを受信する」－「PC-FAX 受信を起動する」

7 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、＜ USB ＞を選びます。

ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

注意

- ■ このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

8 OK を押す

「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 10 へ
「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 9 へ

9 本製品で印刷するかしないかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

10 停止/終了 を押す

設定を終了します。

- パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、画面で見るマニュアルをご覧ください。
  ⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「PC ファクス（Windows®）」－「パソコンでファクスを受信する」
- 手順 9 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 手順 9 で【本体でも印刷する】を設定しておくと、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

ファクスをメモリーで受信する

［メモリー受信］

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶します。お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

注意

■「メモリー受信」を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

■「メモリ保持のみ」は、「ファクス転送」「PC ファクス受信」と同時に設定することはできません。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【メモリ保持のみ】を押す

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

メモリー受信は最大 99 件で 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

手順 5 で、メモリーに受信データが残っている状態で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

［ファクス出力］

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【ファクス出力】を押す

4 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。

印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

ファクスメッセージをメモリーから消去する

本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【受信設定】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

5 【オフ】を押す

> 以下のメッセージが表示されます。
> ・ファクス転送、PC ファクス受信をオフするときに、未転送のファクスがある場合
> 【すべてのファクスをプリントしますか ？／はい／いいえ】
> ・メモリー受信をオフする場合
> 【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】

6 【はい】を押す

> メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。
> メモリー受信の設定が解除されます。

7 停止/終了 を押す

> 設定を終了します。

通信状態を確かめる

通信管理

本製品では、ファクスの送受信についてのレポートを印刷したり、画面で送信待ちファクスを確認したりできます。

通信管理レポートを印刷する

［通信管理レポート］

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

注意

■ 通信管理レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷するとき

1 **記録紙をセットする**

2 **【メニュー】を押す**

3 **【レポート印刷】を押す**

4 **【通信管理レポート】を押す**

5 **スタート モノクロ を押す**

通信管理レポートが印刷されます。

6 **印刷が終了したら、停止/終了 を押す**

定期的に印刷するとき

1 **【メニュー】を押す**

2 **【ファクス / 電話】を押す**

3 **【レポート設定】を押す**

4 **【通信管理レポート】を押す**

5 **印刷間隔を選ぶ**

印刷間隔は、【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

目的の印刷間隔が表示されていない場合は、◀／▶を押して画面をスクロールさせます。

A)【7 日ごと】を選んだ場合

(1) **印刷時間を入力し、OK を押す**

(2) **曜日を選ぶ**

◆目的の印刷間隔が表示されていない場合は、◀／▶を押して画面をスクロールさせます。

(3) **停止/終了 を押す**

◆通信管理レポートが設定されます。

B)【6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと】を選んだ場合

(1) 印刷時間を入力し、OK を押す

(2) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

C)【レポート出力しない／ 50 件ごと】を選んだ場合

(1) 停止/終了 を押す

◆通信管理レポートが設定されます。

> 定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

送信結果レポートを印刷する

[送信結果レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

注意

■ 送信結果レポートは、モノクロでしか印刷できません。

すぐに印刷するとき

1. **記録紙をセットする**
2. **【メニュー】を押す**
3. **【レポート印刷】を押す**
4. **【送信結果レポート】を押す**
5. **スタート モノクロ を押す**

   送信レポートが印刷されます。

6. **印刷が終了したら、停止/終了 を押す**

印刷するタイミングと内容を設定する

1. **【メニュー】を押す**
2. **【ファクス / 電話】を押す**
3. **【レポート設定】を押す**
4. **【送信結果レポート】を押す**
5. **設定を選ぶ**

   設定は【オン／オン+イメージ／オフ／オフ+イメージ】から選びます。

   - 【オン】：
     ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
   - 【オン+イメージ】：
     ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
   - 【オフ】：
     送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
   - 【オフ+イメージ】：
     送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの1ページ目を印刷します。

   リアルタイム送信 （⇒ 124 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

   カラーファクスで送信できなかった場合は送信結果レポートにイメージは印刷されません。

6. **停止/終了 を押す**

   設定を終了します。

着信履歴リストを印刷する

［着信履歴リスト］

着信履歴を印刷します。

注意

■ 着信履歴リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【レポート印刷】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【着信履歴リスト】を押す

5 スタート モノクロ を押す

着信履歴リストが印刷されます。

6 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

送信待ちファクスを確認・解除する

［通信待ち確認］

タイマー送信などで待機している通信を解除できます。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【通信待ち確認】を押す

4 確認または解除する設定を選び、OK を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 解除する場合は、【はい】を押す

送信待ちのファクスが解除されます。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

第 4 章

電話帳

電話帳

リモートセットアップ

親機の電話帳を利用する

電話帳

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを電話帳に登録します。さらに、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、相手先に応じた着信音の鳴り分けや、着信拒否などを設定できます。(⇒ 94 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」)また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳に登録することもできます。
⇒ 152 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する」

電話帳に登録する

[電話帳に登録]

相手先の電話(またはファクス)番号と名称を、2 桁の短縮番号 00 ～ 99(最大 100 件× 2 番号)に登録します。

1 待ち受け画面または、ファクス を押して表示されるファクスモード画面で、【電話帳 / 短縮】を押す

2 【メニュー】を押す

3 【電話帳登録】を押す

名前を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 296 ページ「親機での文字の入れかた」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、OK を押す

読みがなは、電話帳検索時、あいうえお順に並べ替えるときに使われます。
読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6 画面に表示されているテンキーで【番号 1】に登録する相手先の電話番号を入力し、OK を押す

電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字 (0 ～ 9)
- 記号 (＊、＃)
- スペース
  ▶ を押す
- ポーズ (p)

※電話番号にハイフンは入力できません。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 同様の手順で【番号 2】に登録する相手先の電話番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

8 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、OK を押す

短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

9 登録内容を確認し、OK を押す

短縮ダイヤルが電話帳に登録されます。

10 停止/終了 を押す

設定を終了します。

注意

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 149 ページ「電話帳リストを印刷する」

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リスト（⇒ 149 ページ「電話帳リストを印刷する」）を印刷すると確認できます。

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A)「186」または「184」を付ける場合

同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。

例)
〇 186 XXX XXX XXXX
（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
× 186 XXX XXXX
（市内局番）（相手先番号）

(B) 構内交換機（PBX）で“0”発信の場合

“0”のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

(C) 国際電話の場合

国番号のあとにポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。

- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
  010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
  （国際電話サービス会社指定の番号）+010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」で表示されます。

電話帳から電話をかける

⇒ 84 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更する

(1) 「電話帳に登録する」の手順 3 で、【変更】を押す

(2) 変更したい相手先を選ぶ

(3) 変更したい項目を選ぶ

(4) 名前や電話番号を入力し直し、OK を押す

複数の項目を変更する場合は、手順（3）（4）を繰り返します。

(5) OK を押す

◆変更した内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

電話帳の内容を削除する

(1) 「電話帳に登録する」の手順 3 で【消去】を押す

(2) 消去したい相手先を選び、OK を押す

【消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(3) 【はい】を押す

◆選んだ番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクシミリの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録することができます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 142 ページ「着信履歴リストを印刷する」

注意

- 「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 待ち受け画面または、ファクス を押して表示されるファクスモード画面で、【履歴】を押す

最新の履歴が表示されます。

履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 電話帳に登録したい番号を選ぶ

目的の相手先が表示されていない場合は、▼/▲を押して画面をスクロールさせます。

3 【メニュー】を押す

4 【電話帳に登録】を押す

名前の画面が表示されます。

5 画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 296 ページ「親機での文字の入れかた」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、OK を押す

読みがなは、電話帳検索時、あいうえお順に並べ替えるときに使われます。
読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 【番号 1】に選択した番号が入力されていることを確認して、OK を押す

変更したい場合は、画面に表示されているテンキーで変更します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 画面に表示されているテンキーで【番号 2】に設定する番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

9 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、OK を押す

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

10 登録内容を確認し、OK を押す

11 停止/終了 を押す

選択した番号が電話帳に登録されます。

グループダイヤルを登録する

[グループ登録]

電話帳に登録した複数の相手先を、1 つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒ 128 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）するときに使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1 つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも 1 件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録することはできません。

注意

■ グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 待ち受け画面または、ファクス を押して表示されるファクスモード画面で、【電話帳 / 短縮】を押す

2 【メニュー】を押す

3 【グループ登録】を押す

グループ名を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。

⇒ 296 ページ「親機での文字の入れかた」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているテンキーでグループ番号を入力し、OK を押す

グループ番号を編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6 グループに登録する相手先を選ぶ

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順またはあいうえお順に並べ替えることができます。

*01 あ のときはあいうえお順に、

*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

7 登録する番号をすべて選んだら、OK を押す

8 登録内容を確認し、OK を押す

9 停止/終了 を押す

グループダイヤルが電話帳に登録されます。

注意

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 149 ページ「電話帳リストを印刷する」

グループダイヤルに登録されている相手先を変更する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 3 で、【変更】を押す
(2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ
(3) 【番号追加 / 消去】を押す
(4) 追加／削除する相手先を選び、OK を押す
追加したい相手を押してチェックマークをつけます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。
(5) OK を押す
◆変更内容が反映されます。
(6) 停止/終了 を押す

グループダイヤルを削除する

(1) 「グループダイヤルを登録する」の手順 3 で、【消去】を押す
(2) 削除するグループダイヤルを選び、OK を押す
【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。
(3) 【はい】を押す
(4) 停止/終了 を押す

親機の電話帳を子機へ転送する

[子機に転送]

1 待ち受け画面または、ファクス を押して表示されるファクスモード画面で、【電話帳 / 短縮】を押す

2 【メニュー】を押す

3 【子機に転送】を押す

子機に転送する相手先を選ぶ画面が表示されます。
子機が複数ある場合は、子機を選択する画面が表示されます。操作パネルのダイヤルボタンの 1 ～ 4 を押して子機を選ぶと、相手先を選ぶ画面が表示されます。

4 子機に転送する相手先を選ぶ

一度に転送できる相手先は 1 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。

【子機に転送してもよろしいですか？／相手先名／番号／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

電話帳が転送されます。
引き続き別の相手先を転送する場合は、手順 4、5 を繰り返してください。

6 停止/終了 を押す

- 相手先登録情報のうち、ヨミガナが子機の登録名として転送されます。
- 子機の登録名の最大文字数は 11 文字です。親機の登録ヨミガナが 12 文字以上の場合、12 文字目以降の文字は消去されます。
例）親機の登録ヨミガナ：ﾌﾞﾗｻﾞｰｺｳｷﾞｮｳ
↓
子機の登録名：ﾌﾞﾗｻﾞｰｺｳｷﾞｮ
（「ｳ」は消去される）
- 以下の場合は、電話帳を転送できません。
  - 外線使用中
  - 親子内線通話中、呼び出し中
  - 子機が待ち受け画面でない場合

電話帳リストを印刷する

［電話帳リスト］

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

注意

■ 電話帳リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す

3 【レポート印刷】を押す

4 【電話帳リスト】を押す

5 【あいうえお順】または【番号順】を選ぶ

6 スタート モノクロ を押す

電話帳リストが印刷されます。

7 印刷が終了したら、停止/終了 を押す

子機の電話帳を利用する

電話帳には 100 件まで登録できます。

電話帳に登録する

1 で「デンワチョウトウロク」を選び、確定を押す

2 名前を入力し、確定を押す

名前は 11 文字まで入力できます。
⇒ 298 ページ「子機での文字の入れかた」

3 電話番号を入力し、確定を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。
（数字、＊、＃、P（ポーズ）のみ。）

電話番号が登録されます。

4 切を押す

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。
⇒ 98 ページ「電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）」

「186」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。
⇒ 145 ページ「こんなときは～電話番号を登録するとき～」

電話帳の内容を変更する

(1) 電話帳を押す

(2) で変更したい電話帳データを選び、確定を押す

(3) で「ヘンコウ」を選び、確定を押す

(4) 「電話帳に登録する」の手順 2 以降の手順で登録内容を変更する

※ 変更しない項目は、確定を押すと次の手順へ進むことができます。

(5) 切を押す

電話帳の内容を削除する

(1) 電話帳を押す

(2) で削除したい電話帳データを選び、確定を押す

(3) で「ショウキョ」を選び、確定を押す

(4) 1 を押す

◆選んだ電話帳データが削除されます。

(5) 切を押す

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

注意

■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。

1 **[機能/確定] を押す**

2 **[十字キー] で「ハッシンリレキ」または「チャクシンリレキ」を選び、[機能/確定] を押す**

3 **[十字キー] で登録する番号を選び、[機能/確定] を押す**

4 **[十字キー] で「デンワチョウトウロク」を選び、[機能/確定] を押す**

5 **名前を入力し、[機能/確定] を押す**

名前は 11 文字まで入力できます。

⇒ 298 ページ「子機での文字の入れかた」

登録したい番号が表示されます。

6 **[機能/確定] を押す**

電話番号が登録されます。

7 **[切] を押す**

発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、[切] を押す必要はありません。

子機の電話帳を親機へ転送する

1 **[電話帳] を押す**

2 **[十字キー] で親機に転送する相手先を選び、[機能/確定] を押す**

3 **[十字キー] で【テンソウ】を選び、[機能/確定] を押す**

電話帳が転送されます。

4 **[切] を押す**

親機の登録名の最大文字数は 10 文字です。子機の登録名が 11 文字の場合、11 文字目の文字は消去されます。

例）子機の登録名：ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻ

↓

親機の登録名：アイウエオカキクケコ

（「サ」は消去される）

ヨミガナは 11 文字すべて登録されます。

短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。

以下の場合は、電話帳を転送できません。

- 外線使用中
- 親子内線通話中、呼び出し中
- 親機の電源オフ中
- みるだけ受信閲覧中
- 親機で音声設定中
- 子機で【オヤキ　ショウチュウ】表示中
- 親機の電話帳が最大件数登録済みの場合
- 親機のメニュー操作中

パソコンを使って電話帳に登録する リモートセットアップ

本製品と接続しているパソコン上で、電話帳の登録・編集を行うことができます。これを「リモートセットアップ」といいます。
リモートセットアップを使って、パソコンから電話帳を登録する手順については、画面で見るマニュアル（HTML 形式）をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」ー「リモートセットアップ」

（画面例）

第 5 章

留守番機能

留守番機能を設定する

留守番機能

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。
留守番機能では、以下のような設定をすることができます。

留守番機能で設定できること

● **メッセージの録音時間**

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの1回あたりの録音時間を設定することができます。

⇒155ページ「メッセージの録音時間を設定する」

> 録音時間は、相手側の状況（声の質や周りの騒音など）によって変わることがあります。また、受信したファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。

● **留守応答メッセージ**

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、自分の声で留守応答メッセージ（2種類）を録音することができます。

⇒155ページ「応答メッセージを設定する」

また、録音した留守応答メッセージは、留守モードにしたあとで選ぶことができます。

⇒157ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

> お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話ください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」と録音されています。
>
> 在宅時の応答メッセージは、【再呼出設定】を【オン（相手にメッセージ）】に設定すると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● **呼出回数**

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定することができます。

⇒68ページ「呼出回数を設定する」

● **留守録モニター**

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

⇒156ページ「留守録モニターを設定する」

> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒70ページ「親機の音量を設定する」

メッセージの録音時間を設定する

[録音時間]

留守モード時や通話を録音するとき、1 回あたりの録音時間を設定します。
1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60 秒】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【留守番電話設定】を押す

4 【録音時間】を押す

5 録音時間を選ぶ

録音時間は、【30 秒／ 60 秒／ 120 秒／ 180 秒】から選択します。

6 停止/終了を押す

設定を終了します。

応答メッセージを設定する

[応答メッセージ]

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて自分の声で在宅応答メッセージ（1 種類）と留守応答メッセージ（2 種類）を録音（20 秒まで）することができます。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【留守番電話設定】を押す

4 【応答メッセージ】を押す

5 設定したい応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【留守応答 1 ／留守応答 2 ／在宅応答】から選びます。

6 【応答録音】を押す

7 受話器を取り、スタート モノクロを押してメッセージを録音する

8 録音が終わったら受話器を戻す

今録音した内容が自動的に再生されます。

9 停止/終了を押す

設定を終了します。

応答メッセージを削除する

(1) 手順 6 で、【応答消去】を押す
◆【応答を消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

(3) 停止/終了 を押す
◆応答メッセージが消去されます。

※本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する

(1) 手順 6 で、【応答再生】を押す
◆応答メッセージが再生されます。

(2) 停止/終了 を押す
◆確認を終了します。

留守録モニターを設定する

[留守録モニター]

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【留守番電話設定】を押す

4 【留守録モニター】を押す

5 【する】または【しない】を選ぶ

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

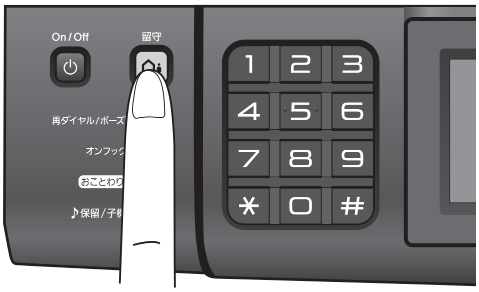
留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
⇒ 70 ページ「親機の音量を設定する」

出かけるとき

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 留守 を押す



留守 が点灯し、留守モードとなります。

留守番機能を解除するときは、もう一度 留守 を押します。

留守応答メッセージを選ぶ

自分の声で留守応答メッセージを録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 留守 を押す

ボタンが点灯しているときは、留守 を押し、ボタンを消灯させてから再度 留守 を押してください。

2 メッセージ再生中に、◀◀ または ▶▶ で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【応答再生／応答再生 1 ／応答再生 2】 から選択します。

- 【応答再生】：
  あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【応答再生 1】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【応答再生 2】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 2

メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。

応答メッセージが登録されていない場合、◀◀ または ▶▶ は表示されません。

メッセージ再生中に 停止/終了 を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。

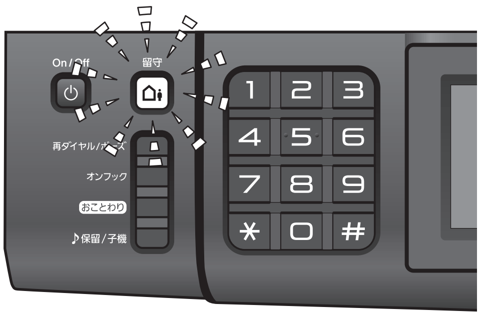
帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、[留守] が点滅しています。

みるだけ受信を設定していると、新着ファクスがある場合にも [留守] が点滅します。



1 **[留守] を押す**

[留守] が消灯し、留守モードが解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

メモリー内のメッセージを一括再生する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生することができます。

1 **待ち受け画面の【留守】を押す**

保存されているメッセージの一覧画面が表示されます。

2 **[全て再生] を押す**

音声メッセージを確認する

(A) 再生中のメッセージを聞き直すとき

[◀◀] を押す。

◆再生中のメッセージの最初に戻ります。

※ [◀◀] を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。

(B) 次のメッセージを聞くとき

[▶▶] を押す。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

再生中に [停止/終了] を押す。

(D) メッセージを 1 件消去するとき

再生中に [消去] を押し、【この用件を消去しますか ?】と表示されたら、【はい】を押す。

◆再生中のメッセージが消去されます。

※消去をキャンセルする場合は、【この用件を消去しますか ?】と表示中に【いいえ】を押します。

(E) すべてのメッセージを消去するとき

【留守】を押したあと [全て消去] を押し、【音声消去しますか ?】と表示されたら、【はい】を押す。

◆すべてのメッセージが消去されます。

メッセージの一覧画面のいずれか 1 つを押して個別に再生することもできます。

ファクスが届いているとき

「みるだけ受信」で受信した新着ファクスがあるときは、留守 が点滅しています。

【みるだけ受信】を押して、受信したファクスの内容を確認できます。

⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

新しく録音された音声メッセージがあるときも、留守 が点滅します。

「みるだけ受信」を設定していない場合は、受信したファクスが印刷されています。
記録紙がなくなると、画面に、【記録紙を送れません　記録紙を入れ直してスタートを押してください】と表示されます。このとき、ファクスはメモリーに記憶されています。記録紙をセットして スタート モノクロ または カラー スタート を押してください。

外出先から本製品を操作する

外出先での機能

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

[暗証番号]

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字または記号と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 【暗証番号】を押す

4 画面に表示されているテンキーで暗証番号を入力し、OK を押す

「＊」の左側の 3 桁に、0 ～ 9 、＊ 、# からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

例）暗証番号「123」の場合は、

1 2 3 を押し、OK を押します。

- 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。
- 暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

暗証番号を削除するときは

(1) 「暗証番号を設定する」の手順 3 までの操作を行う

(2) クリア を押す

(3) OK を押す

◆暗証番号が削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。
在宅モードでも操作できます。

注意

- ■ リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。
⇒ 160 ページ「暗証番号を設定する」
- ■ ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ■ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティ装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- ■ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。

2 「#」、「＊」を押す

暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号を入力する

暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポー」：
ファクスメッセージが記憶されています。
- 「ポーポー」：
音声メッセージが記憶されています。
- 「ポーポーポー」：
ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

次のページの「リモコンコード」を入力します。

例）録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取ってお使いいただくと便利です。
⇒ 333 ページ「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

間違った操作をしたときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。このときはもう一度操作してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
設定		
951	メモリー受信を【オフ】にする（留守録転送やファクス転送の設定も解除されます） ※受信データがメモリーに残っている場合は、メモリー受信を【オフ】にすることはできません。	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	「9」「5」「4」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、「#」を 2 回押す。ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
956	メモリー受信を有効にする（「メモリ保持のみ」となり、リモコンアクセスによるファクス転送が可能になる）	
メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	「9」「6」「2」のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し「#」を 2 回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先でメモリーに記憶されたファクスを取り出すには、【みるだけ受信】を【する】に設定するか、【メモリー受信】を【メモリ保持のみ】に設定する必要があります。

⇒ 121 ページ「みるだけ受信を設定する」

⇒ 137 ページ「ファクスをメモリーで受信する」

外出先に転送する

留守録転送を設定する

[留守録転送]

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。

注意

- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。⇒160ページ「暗証番号を設定する」
- 通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
- NTTのボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTTにお問い合わせください。
- 転送先の電話が話し中のときは、10分おきに5回まで再ダイヤルされます。

1 【メニュー】を押す

2 【ファクス / 電話】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【留守番電話設定】を押す

4 【留守録転送】を押す

5 【する】を押す

> 暗証番号が設定されていないときは、【暗証番号を登録してください】と表示されます。このときは暗証番号を設定してください。
> ⇒160ページ「暗証番号を設定する」
>
> 転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。
> 電話番号を変更する場合は、【クリア】を押します。⇒手順6
> 電話番号を変更しない場合は、【変更しない】を押します。⇒手順7へ

6 画面に表示されているテンキーで転送先の電話番号を入力し、OKを押す

> 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

7 停止/終了を押す

設定を終了します。

転送先で確認する

(1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

(2) メッセージを聞く
◆2件以上あるときは連続して再生されます。
◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

(1) 「留守録転送を設定する」の手順5で【しない】を押す

(2) 停止/終了を押す
◆留守録転送が解除されます。

Memo

第６章

コピー

基本

応用

コピーに関するご注意 基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

● **法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**
- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手やはがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

● **著作権のあるもの**
- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

● **その他注意を要するもの**
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

● **記録紙について**
- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

● **原稿について**
- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー（読み取り部）が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。
⇒ 61 ページ「ADF にセットできる原稿」

● **スキャナー（読み取り部）について**
- スキャナー（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーすることができません。
⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

> 原稿の読み取り範囲について
> ⇒ 61 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

カラーまたはモノクロでコピーします。

注意

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」をご覧ください。

原稿台ガラスを使用する場合、複数枚の原稿は手動で入れ替える必要があります。定型のそろった原稿であれば、ADF の使用をお勧めします。

1 部コピーする

1枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 169 ページ「設定を変えてコピーするには」

4 モノクロでコピーするときは [スタート モノクロ] を、カラーでコピーするときは [カラー スタート] を押す

途中でコピーを中止したいときは、[停止/終了] を押してください。

原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1 ～ 99 部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

①
②

①を押して表示されるテンキーを押したり、②を押すことでも部数の入力ができます。

①で入力した部数を取り消すときは、部数を押して表示される画面で [クリア] を押します。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付録

4 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

途中でコピーを中止したいときは、停止/終了 を押してください。

原稿がコピーされます。

いろいろなコピー　応用

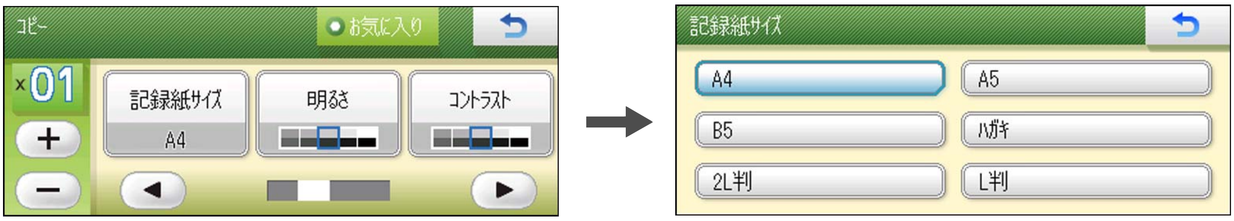
設定を変えてコピーするには

（コピー）を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は、コピー後に元に戻ります。

例：記録紙サイズ

◀/▶ を押して画面をスクロールさせ【記録紙サイズ】を押す

設定値を選ぶ



(1) コピー画質

コピーの画質を設定します。
- 【高速】
  速くコピーしたい場合に選びます。
- 【標準】
  通常のコピーを行う場合に選びます。
- 【高画質】
  写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。
※【高速】に設定していても、インク節約モード、ブックコピー、透かしコピーを【オン】に設定しているときは、コピーに時間がかかることがあります。

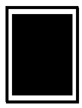
(2) 拡大 / 縮小

倍率を変更してコピーします。
拡大 / 縮小と、レイアウト コピーは同時に設定できません。
【等倍 100%】
【拡大】
- 【240% L 判 ⇒ A4】
- 【204% ハガキ ⇒ A4】
- 【142% A5 ⇒ A4】
- 【115% B5 ⇒ A4】
- 【113% L 判 ⇒ ハガキ】 *1

【縮小】
- 【86% A4 ⇒ B5】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【46% A4 ⇒ ハガキ】
- 【40% A4 ⇒ L 判】

【用紙に合わせる】 *2
【カスタム（25-400%）】 *3

*1 L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。



*2 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。「用紙に合わせる」は次のような制約があります。
- ADF は使用できません。
- 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。
- ソートコピー、レイアウトコピー、ブックコピー、透かしコピーと同時に設定できません。

*3 画面に表示されているテンキーで倍率を入力し、OK を押します。（操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。）

(3) 記録紙タイプ

使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】

(4) 記録紙サイズ

使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。
【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

(5) 明るさ

コピーの明るさを調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すと明るくなり、◀ を押すと暗くなります。

(6) コントラスト

コピーのコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すとコントラストが強くなり、◀ を押すとコントラストが弱くなります。

(7) インク節約モード

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。
⇒ 173 ページ「インクを節約してコピーする」

(8) スタック / ソート

複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー)、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。
⇒ 174 ページ「スタック / ソートコピーする」

(9) レイアウト コピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。
⇒ 176 ページ「2in1 コピー /4in1 コピー / ポスターコピーする（レイアウト コピー)」

(10) ブックコピー

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。
⇒ 178 ページ「ブックコピーする」

(11) 透かしコピー

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。
⇒ 180 ページ「コピーに文字や画像を追加する」

(12) お気に入り設定

コピーのいろいろな設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。

(1) [コピー] を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する

(2) 【お気に入り設定】を押す

(3) 【保存】を押す

(4) お気に入り設定の保存先を選ぶ

保存先は【お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3】から選びます。

(5) 画面に表示されているキーボードでお気に入り設定の名前を入力する

お気に入り設定の名前を編集する必要がない場合は、そのまま [OK] を押します。

◆変更した設定がお気に入りに登録されます。

※登録したお気に入りを呼び出すには、コピーモード画面で、[お気に入り] を押して、目的のお気に入りボタンを押します。

※登録したお気に入りの名前を変更するには、【お気に入り設定】、【名前の変更】、変更したいお気に入りのボタンの順に押し、表示されているキーボードで名前を入力して、[OK] を押します。

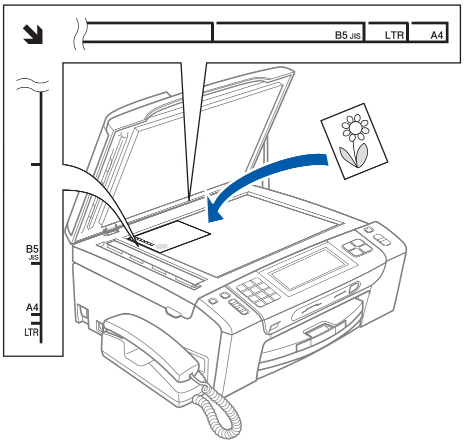
L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



3 原稿台カバーを閉じる

4 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

1）コピー画質を設定する

5 【コピー画質】を押す

6 【高画質】を押す

2）拡大・縮小率を設定する

7 【拡大 / 縮小】を押す

8 【拡大】を押す

9 【113% L 判⇒ハガキ】を押す

3）記録紙タイプを設定する

例：本製品に付属されているブラザー BP71 写真光沢紙にコピーする場合

10 【記録紙タイプ】を押す

11 【ブラザー BP71 光沢】を押す

ブラザー BP71 写真光沢紙以外をお使いの場合は、【その他光沢】を選びます。

4）記録紙サイズを設定する

12 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【記録紙サイズ】を押す

13 【ハガキ】を押す

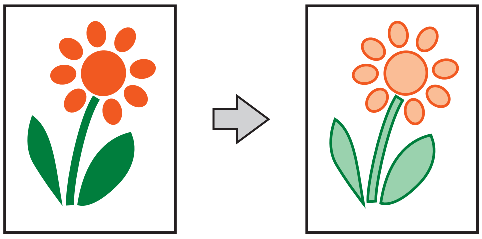
14 [カラースタート] を押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

インクを節約してコピーする

[インク節約モード]

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



注意

- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- 「レイアウトコピー」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 （コピー）を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

4 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【インク節約モード】を押す

5 【オン】を押す

6 モノクロでコピーするときは（スタート モノクロ）を、カラーでコピーするときは（カラー スタート）を押す

「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

スタック / ソートコピーする

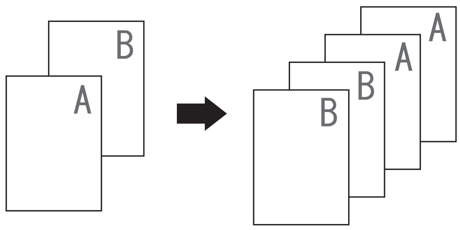
[スタックコピー / ソートコピー]

複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

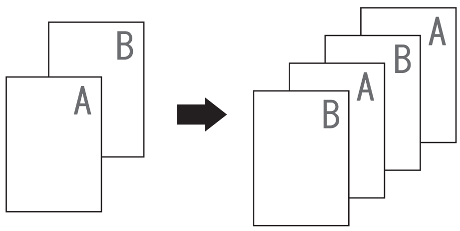
注意

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」および「ブックコピー」、「レイアウト コピー」と「ソートコピー」は同時に設定することはできません（「スタックコピー」は同時設定できます）。

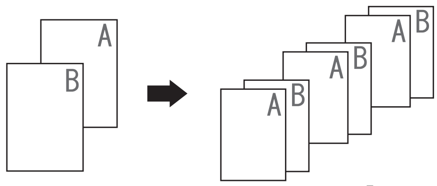
- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。



コピーは読み取った順に上向きで排出されるため、複数部のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。したがってソートコピー機能を使って大量の部数のコピーを作成するときは、できあがりを逆順に入れ替える手間を省くため、あらかじめ元になる原稿を逆順にしておくことをお勧めします。



原稿を逆順にしてセットすれば…　ソートコピーされた「できあがり」がそのまま使用できる

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 62 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【スタック / ソート】を押す

4 【スタックコピー】または【ソートコピー】を押す

5 コピーしたい部数（1 ～ 99）を操作パネルのダイヤルボタンで入力する

部数表示を押して表示されるテンキーを押したり、＋ / − を押すことでも部数の入力ができます。
⇒ 167 ページ「複数部コピーする」

コピー枚数は 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、再度設定してください。

6 モノクロでコピーするときは [スタート モノクロ] を、カラーでコピーするときは [カラー スタート] を押す

読み取りが開始されます。

- 原稿の読み取り中に「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは下記をご覧ください。
⇒ 184 ページ「「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは」
- メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。
- スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

2in1 コピー/4in1 コピー/ ポスターコピーする（レイアウト コピー）

［レイアウト コピー］

2 枚、または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を 9 枚の A4 記録紙に拡大コピーして、ポスターを作ったりできます。

注意

■「レイアウト コピー」では、記録紙サイズを【A4】に設定してください。

■「拡大 / 縮小」、「インク節約モード」、「ソートコピー」、「ブックコピー」、「透かしコピー」と同時に設定することはできません。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

「ポスターコピー」をする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

ADF から「ポスターコピー」をすることはできません。

2 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

※この設定は、2in1、4in1 のモノクロコピーのみ有効です。

部数表示を押して表示されるテンキーを押したり、（＋）／（－）を押すことでも部数の入力ができます。
⇒ 167 ページ「複数部コピーする」

4 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【レイアウト コピー】を選ぶ

5 レイアウトを選ぶ

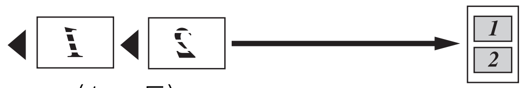
レイアウトは【オフ（1 in 1）／2in1（タテ長）／2in1（ヨコ長）／4in1（タテ長）／4in1（ヨコ長）／ポスター（3 x 3)】から選びます。

コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

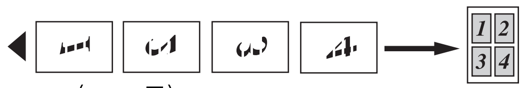
※A4 サイズの原稿を使った場合のイメージです。

- 2in1（タテ長）

- 2in1（ヨコ長）

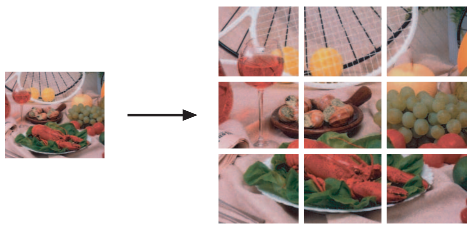


- 4in1（タテ長）



- 4in1（ヨコ長）

- ポスター（3 x 3)



ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9 枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を分割される枚数以上セットしてください。

6 モノクロでコピーするときは スタート モノクロ を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

ADF を使った場合や、【オフ】または【ポスター（3 x 3)】を選んだときは、コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして、【2in1】または【4in1】を選んだときは、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 【はい】を押す

8 次の原稿をセットし、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

コピーするすべての原稿に対して、手順 7、8 を繰り返し行います。

9 すべての原稿を読み取ったら、【いいえ】を押してコピーを終了する

ブックコピーする

[ブックコピー]

原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーできます。補正を本製品で自動的に調整する方法と、画面で確認しながら合わせる方法があります。

注意

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウトコピー」、「透かしコピー」、「ソートコピー」と同時に設定することはできません。

■ ADF に原稿をセットすることはできません。

自動的に補正してブックコピーする

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【ブックコピー】を選ぶ

4 【オン】を押す

5 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

手動で補正してブックコピーする

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

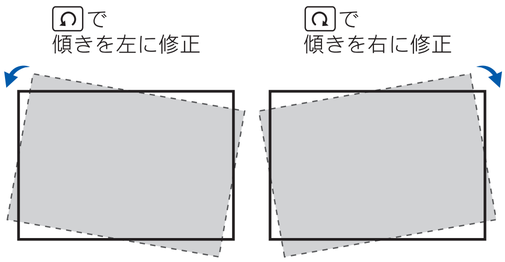
コピーモードに切り替わります。

3 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【ブックコピー】を選ぶ

4 【オン（画面で確認）】を押す

5 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

6 画面で確認しながら、[左回転]/[右回転] で傾きを調整する



読み取った原稿の傾きを補正してコピーする

7 **画面で確認しながら、◀/▶で影補正を調整する**

8 **モノクロでコピーするときは スタート モノクロ を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す**

コピーに文字や画像を追加する

[透かしコピー]

コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。追加する透かしには以下の種類があります。

- テンプレート

【CONFIDENTIAL】【重要】【COPY】のいずれかの文字を挿入します。位置、サイズ、回転、透過度、色を設定できます。

- メディア

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーなどに保存されているデータから画像を選択して追加できます。位置、サイズ、回転、透過度を設定できます。

- スキャン

スキャンした画像を追加できます。透過度を設定できます。

注意

■「拡大 / 縮小」の「用紙に合わせる」、「インク節約モード」、「レイアウトコピー」、「ブックコピー」と同時に設定することはできません。

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

テンプレートを追加してコピーする

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 （コピー）を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーを押したり、（＋）／（－）を押すことでも部数の入力ができます。
⇒ 167 ページ「複数部コピーする」

4 （◀）/（▶）を押して画面をスクロールさせ、【透かしコピー】を押す

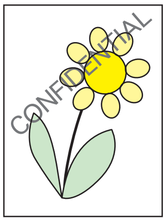
5 【透かしコピーをする】を押す

6 【テンプレートを使う】を押す

7 透かしの設定を行う

以下の設定ができます。項目を選択し、設定する内容を選択して OK を押してください。

- 【テキスト】：
  透かしの文字を【COPY/CONFIDENTIAL/重要】から選びます。
- 【位置】：
  透かしの位置を【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に文字を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  透かしの角度を【-90°／ -45°／ 0°／ +45°／ +90°】から選びます。
- 【透過度】：
  透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。
- 【色】：
  透かしの色を【赤／オレンジ／黄／緑／青／紫／黒】から選びます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：－45°
透過度：＋2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

8 OK を押す

9 モノクロでコピーするときは（スタート モノクロ）を、カラーでコピーするときは（カラー スタート）を押す

メディアの画像を追加してコピーする

メモリーカードやUSBフラッシュメモリーをセットして、保存されている画像を透かしとして追加します。

注意

■ [デジカメプリント] が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

1 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

部数表示を押して表示されるテンキーを押したり、[+]／[−]を押すことでも部数の入力ができます。
⇒ 167 ページ「複数部コピーする」

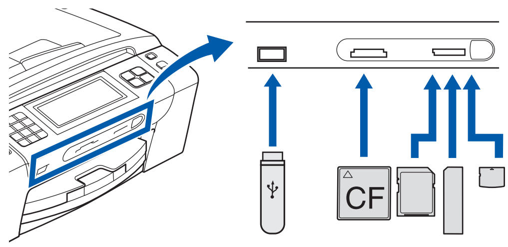
4 [◀]/[▶]を押して画面をスクロールさせ、【透かしコピー】を押す

5 【透かしコピーをする】を押す

6 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

7 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。



⇒ 187 ページ「使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー」

8 [デジカメプリント] が点灯してから、【メディア】を押す

注意

■ [デジカメプリント] が点滅している間は、押さないでください。

9 画像を選ぶ

注意

■ 1280 × 1280 ピクセルを超えるデータは透かしの画像として使用できません。

10 透かしの設定を行う

以下の設定ができます。
項目を選択し、設定するボタンを押して [OK] を押してください。

- 【位置】：
  透かしの位置を【A ／ B ／ C ／ D ／ E ／ F ／ G ／ H ／ I ／全面】から選びます。【全面】を選ぶと、紙面全体に選んだ画像を繰り返し追加します。
- 【サイズ】：
  透かしのサイズを【小／中／大】から選びます。
- 【回転】：
  透かしの角度を【-90°／ -45°／ 0°／ +45°／ +90°】から選びます。
- 【透過度】：
  透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 OK を押す

12 モノクロでコピーするときは スタート モノクロ を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

スキャンした画像を追加してコピーする

1 コピー を押す

コピーモードに切り替わります。

2 複数部コピーするときは、操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

> 部数表示を押して表示されるテンキーを押したり、＋／－を押すことでも部数の入力ができます。
> ⇒ 167 ページ「複数部コピーする」

3 ◀/▶を押して画面をスクロールさせ、【透かしコピー】を押す

4 【透かしコピーをする】を押す

5 【スキャン / メディアの画像を使う】を押す

6 【スキャン】を押す

7 透かしに使用する原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

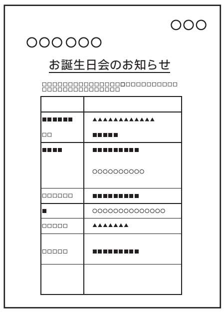
透かしに使用する原稿

8 カラー スタート を押して原稿をスキャンする

スキャンが始まります。

9 スキャンした原稿を取り除き、コピーする原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」



コピーする原稿

10 透かしの透過度を選び、OK を押す

透かしの透過度を【-2 ／ -1 ／ 0 ／ +1 ／ +2】から選びます。

11 モノクロでコピーするときは スタート モノクロ を、カラーでコピーするときは カラー スタート を押す

仕上がりイメージ

> スキャンした透かしは拡大 / 縮小できません。

「メモリーがいっぱいです」と表示されたときは

本製品内部のメモリーがいっぱいになると、画面にエラーメッセージが表示されます。

- 停止/終了 を押すと、コピーがキャンセルされます。
- カラー スタート モノクロ を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のコピーが開始されます。

スタック / ソートコピーを行っている場合は、画質の設定を変更するか、原稿の枚数を少なくしてお試しください

第 7 章

フォトメディアキャプチャ

デジカメプリント

PictBridge

赤外線プリント

スキャン TO メディア

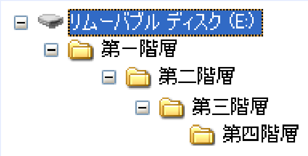
写真や動画をプリントする前に

デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、写真や動画の画像をプリントします。パソコンがなくてもデジタルカメラの写真や動画の画像をプリントできます。

注意

- L 判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
  ⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式のフォーマットには対応していません。）
- 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。ただし、インデックスシートにはすべて大文字で表示されます。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。ただし 1 ファイルのファイルサイズが 1GB 以上（撮影時間およそ 30 分前後）の AVI ファイル、2GB 以上（撮影時間およそ 60 分前後）の MOV ファイルは印刷できません。
- 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。
- 日本語のファイル名が付けられた画像は、インデックスプリント（⇒ 192 ページ「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像は、4 階層までしか認識されません。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにパソコン上から書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダーに保存しないでください。

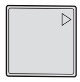


- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像は、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- フォトメディアキャプチャとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- Macintosh の場合、デスクトップにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されているときは、フォトメディアキャプチャが使用できません。デスクトップのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーアイコンをゴミ箱に移動したあと、フォトメディアキャプチャをお使いください。

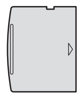
使用できるメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー

本製品では、下記のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用できます。

- コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 16GB）

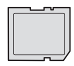


- xD-Picture Card™（最大 512MB）
xD-Picture Card™ TypeM／TypeM^{+}／TypeH（最大 2GB）

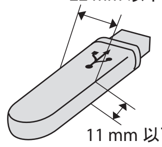


- メモリースティック™（最大 128MB）
メモリースティック PRO™（最大 16GB）

- SD メモリーカード
（最大 2GB）
SDHC メモリーカード
（最大 16GB）



- USB フラッシュメモリー
（最大 32GB）



※メモリースティック デュオ™、メモリースティック PRO デュオ™、メモリースティック マイクロ™（M2™）も使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※miniSD カード /microSD カードも使用できます。ただし、本製品にセットするときはアダプターが必要です。
※著作権保護機能には対応していません。

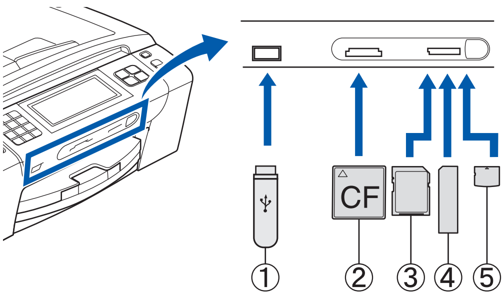
注意

■ スマートメディア、マイクロドライブ、マルチメディアカード™ には対応していません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、正しいカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にしっかりと差し込んでください。



①USB フラッシュメモリー
②コンパクトフラッシュ® (TYPE1)
③SD メモリーカード、SDHC メモリーカード
④メモリースティックTM、メモリースティック PROTM
⑤xD-Picture CardTM、xD-Picture CardTM TypeM/TypeM+/TypeH

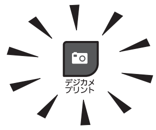
が点灯します。

注意

- が点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。
- カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- コンパクトフラッシュ® はメーカーによって印刷表記が異なります。差し込む前に表裏をご確認ください。
- 2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況

の表示で、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況がわかります。

点灯 	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すことができます。
点滅	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにさわらないでください。
消灯	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが差し込まれていません。または、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていないため、本製品に認識されていません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

デジカメプリント が点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。

パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、デジカメプリント が点滅していないことを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。

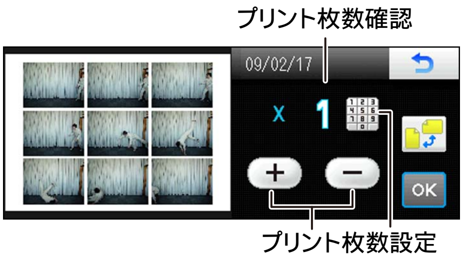
⇒画面で見るマニュアル「フォトメディアキャプチャ」ー「フォトメディアキャプチャ（Windows®）」ー「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
⇒画面で見るマニュアル「フォトメディアキャプチャ」ー「フォトメディアキャプチャ（Macintosh）」ー「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

本製品の動画プリントについて

本製品はメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている動画から画像をプリントすることができます。
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品にセットして表示されるデジカメプリントメニューから【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を押すと、以下の画面のように内容が表示されます。

写真と共に保存されている動画も表示されます

動画を選択すると、動画プリントの設定画面が表示されます。



動画は動画記録時間から自動的に 9 分割され、縦 3 ×横 3 に配置して表示／プリントされます。

出力例

動画の特定のシーンを指定することはできません。

写真や動画をプリントする

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで写真や動画の画像をプリントします。

> パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスしている間は、デジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする

[かんたんプリント]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 本製品のカードスロットまたはUSB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

⇒ 188 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、(デジカメプリント) を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

(デジカメプリント) が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像が表示されます。

> 画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

画像をプリントする場合⇒手順 3 へ

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

4 ＋/－でプリント枚数を設定し、OK を押す

プリント枚数

> プリント枚数表示の右側に表示される (テンキー) を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。
>
> (回転) を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

5 手順 3、4 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、OK を押す

6 画面で設定を確認する

プリント合計枚数

- を押すと、自動で色や明るさを補正することができます。
- 画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

7 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

選択した画像がプリントされます。

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）（*1）を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか？／はい／いいえ】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1)【はい】を押す

(2)【印刷設定】を押す

◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(3)【記録紙サイズ】を押す

(4) 記録紙のサイズを選ぶ

◆他の設定項目も変更することができます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。

(5) スタート モノクロ または カラー スタート を押す

◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

(*1)：デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

※DPOF からの動画のプリントはできません。

インデックスシートをプリントする

［インデックスプリント］

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリント（インデックスプリント）できます。
A4 サイズの記録紙 1 ページ内に【速い /1 行 6 個印刷】の場合は最大 42 個、【きれい /1 行 5 個印刷】の場合は最大 30 個の画像がプリントされます。

注意

■ インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

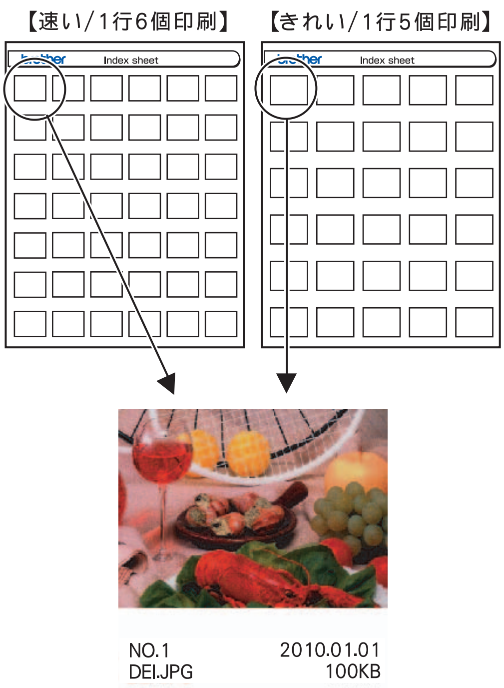
デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】を押す

3 【インデックスシート】を押す

4 インデックスのタイプを選ぶ

インデックスのタイプは、【速い /1 行 6 個印刷】【きれい /1 行 5 個印刷】から選びます。



5 ［カラースタート］を押す

記録紙のタイプを変えることもできます。
⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、1、2、3 のように番号が割り振られます。
- インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
- プリントできる画像は JPEG（.JPG）および MotionJPEG の AVI（.AVI）、MOV（.MOV）ファイル形式です。

番号を指定して画像をプリントする

［番号指定プリント］

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【インデックスプリント】を押す

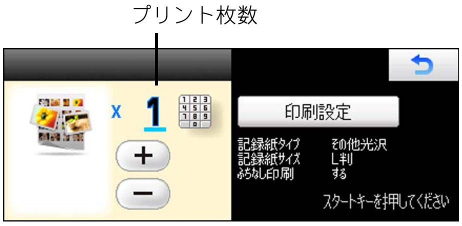
3 【番号指定プリント】を押す

4 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像の番号を入力し、OK を押す

例 1：1 ～ 5 番をプリントしたいとき
「1-5」と入力する
例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき
「1,3,5」と入力する

- 操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。
- 入力できる文字は、区切り記号も含めて 12 文字までです。

5 画面で設定を確認する



画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

6 ＋/－でプリント枚数を設定する

プリント枚数表示の右側に表示される（テンキー）を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

7 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

指定した番号の画像がプリントされます。

色や明るさを補正してプリントする

[こだわりプリント]

画像をプリントする際に、色や明るさを補正して美しくプリントすることができます。

> 「こだわりプリント」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。
> REALLUSION

人物と風景を美しくプリントする [自動色補正]

人物も風景も美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画像をスクロールさせます。

> を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 を押す

補正後の画像が表示されます。

> 人物の赤目も同時に補正したいときは、を押します。

> を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶ でスクロールすることができます。を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 ＋/－でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示されるを押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

8 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

9 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

選択した画像がプリントされます。

肌を美しくプリントする［肌色あかるさ補正］

人物の肌を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

> を押すたびに90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 を押す

補正後の画像が表示されます。

> ◀/▶で補正量を3段階に調節できます。
>
> を押すと拡大表示されます。このとき、▲▼◀▶でスクロールすることができます。を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 ＋/－でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示されるを押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

8 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒205ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

9 スタート（モノクロ）または スタート（カラー）を押す

選択した画像がプリントされます。

風景を美しくプリントする［色あざやか補正］

風景を美しくプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

> を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 を押す

補正後の画像が表示されます。

> ◀/▶で補正量を 3 段階に調節できます。

> を押すと拡大表示されます。このとき、▲▼◀▶でスクロールすることができます。を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 ＋/－でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示されるを押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

8 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

9 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した画像がプリントされます。

赤目を修正する［赤目補正］

フラッシュ撮影時の赤目を修正してプリントできます。

> 赤目補正は付属のソフトウェア「FaceFilter Studio」でも行うことができます。パソコンに保存されている画像の赤目を修正するときは「FaceFilter Studio」を使用してください。
>
> ⇒画面で見るマニュアル「FaceFilter Studio で写真をプリントする」
>
> フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

> デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

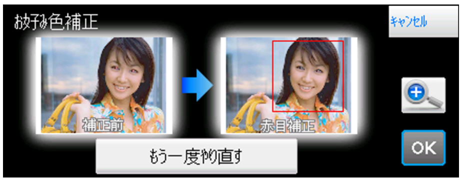
> ［回転］を押すたびに 90゜ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 ［赤目］を押す

■補正できたとき

補正後の画像が表示され、顔が赤枠で囲まれます。



> 赤目と風景を同時に補正したいときは、［赤目・風景］を押します。
>
> ［拡大］を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶でスクロールすることができます。［縮小］を押すと、元に戻ります。

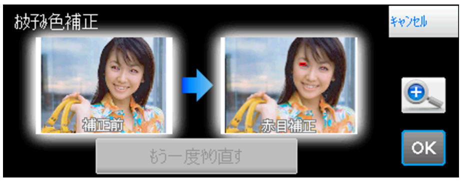
■補正できなかったとき

「赤目を検出できません」と表示されます。

6 再度補正するには、【もう一度やり直す】を押す

■補正できたとき

補正後の画像が表示され、目が赤枠で囲まれます。



> ［拡大］を押すと拡大表示されます。このとき、▲ ▼ ◀ ▶でスクロールすることができます。［縮小］を押すと、元に戻ります。

■補正できなかったとき

「赤目を検出できません」と表示されます。

7 OK を押す

8 +/−でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示される を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

9 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

10 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

選択した画像がプリントされます。

白黒でプリントする［モノクロ］

カラーで撮影した画像をモノクロでプリントしたいときに使用します。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

> を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

4 【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 を押す

モノクロに補正された画像が表示されます。

> を押すと拡大表示されます。このとき、▲▼◀▶でスクロールすることができます。を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 ＋/－でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示されるテンキーを押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

8 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

9 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

選択した画像がモノクロでプリントされます。

セピア色でプリントする［セピア］

画像をセピア色でプリントします。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリント を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2【こだわりプリント】を押す

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

> を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

4【お好み色補正】を押し、OK を押す

5 を押す

セピア色に補正された画像が表示されます。

> を押すと拡大表示されます。このとき、▲▼◀▶でスクロールすることができます。を押すと、元に戻ります。

6 OK を押す

7 ＋/－でプリント枚数を入力し、OKを押す

> プリント枚数表示の右側に表示されるテンキーアイコンを押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

8 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

9 モノクロスタート または カラースタート を押す

選択した画像がセピア色でプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をすべてプリントする

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像をすべてプリントするときは、以下の手順で行います。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、［デジカメプリント］を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

3 ［×1］を押す

【すべての写真枚数を 1 枚にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

5 ［OK］を押す

6 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」
>
> ［自動色補正］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

7 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のすべての画像がプリントされます。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

[スライドショー]

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を、画面に一定の間隔で順番に表示することができます。このとき、必要な画像を選んでプリントすることもできます。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、(デジカメプリント) を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】または【こだわりプリント】を押す

3 を押す

スライドショーが始まります。

4 終了するには(停止/終了)を押す

スライドショーが終了します。

スライドショーの途中で画像をプリントする

1 プリントしたい画像が表示されている間に OK を押す

> こだわりプリントからスライドショーを開始した場合は、以下どちらかの設定を行う必要があります。どちらも設定する必要がないときは、(戻る) を押してプリント設定およびスライドショーを終了します。
> - お好み色補正
>   ⇒ 194 ページ「色や明るさを補正してプリントする」
> - トリミング
>   ⇒ 204 ページ「画像の一部をプリントする」

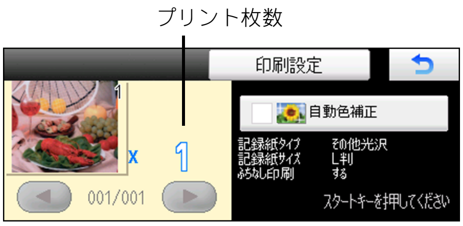
2 (+)/(−) でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示される (テンキー) を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

かんたんプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 3 へ
こだわりプリントからスライドショーを開始した場合⇒手順 4 へ

3 OK を押す

4 画面で設定を確認する



- 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」
- かんたんプリントからスライドショーを開始した場合は、上記画面の［自動色補正アイコン］を押すと、自動色補正をしてプリントされます。

5 ［モノクロスタート］または［カラースタート］を押す

選択した画像がプリントされます。

画像の一部をプリントする

［トリミング］

画像の中から必要な部分だけを切り出してプリントすることができます。画像を回転させることもできます。

> 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【こだわりプリント】を押す

3 トリミングしたい画像を選ぶ

4 【トリミング】を押し、OK を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

> （回転）を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

5 枠の位置とサイズを選ぶ

▲ ▼ ◀ ▶ で移動します。

＋ で拡大、− で縮小します。

（回転）を押すたびに、枠の縦横が入れ替わります。

6 OK を押す

7 トリミングを確認し、OK を押す

8 ＋ / − でプリント枚数を入力し、OK を押す

> プリント枚数表示の右側に表示される（テンキー）を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

9 画面で設定を確認する

プリント枚数

> 画質や記録紙サイズなど、設定を変えることもできます。
> ⇒ 205 ページ「設定を変えて画像をプリントするには」

10 モノクロスタート または カラースタート を押す

トリミングした画像がプリントされます。

いろいろなプリント方法

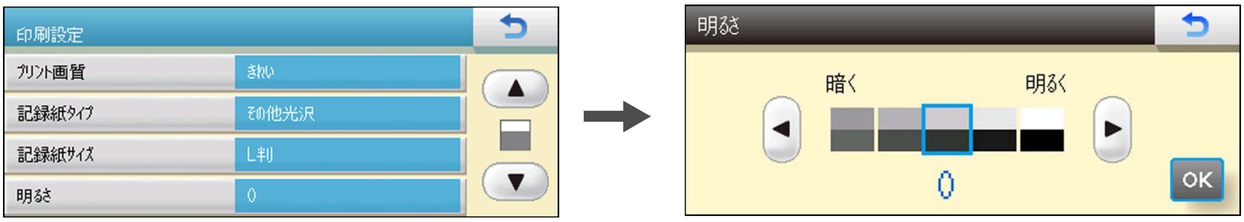
設定を変えて画像をプリントするには

デジカメプリントの設定画面で、画像をプリントする際の設定を変更できます。

例：明るさ

▲/▼ を押して画面をスクロールさせ【明るさ】を押す

◀/▶ で設定値を選ぶ



(1) プリント画質

画像をプリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

※DPOF を使用していない場合に設定できます。

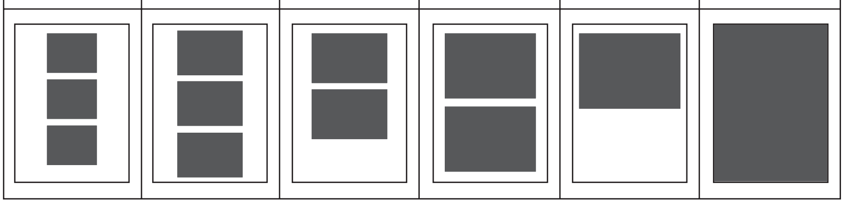
(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷



(4) 明るさ（こだわりプリントでは表示されません）

画像をプリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すと明るくなり、◀ を押すと暗くなります。

(5) コントラスト（こだわりプリントでは表示されません）

画像をプリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。▶ を押すとコントラストが強くなり、◀ を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調（こだわりプリントでは表示されません）

(1) ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【画質強調】を押す

(2) 【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

項目は以下の 3 つから選びます。

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) ◀/▶ でレベルを調整し、OK を押す

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

(6) 調整が終わったら、設定確認画面に戻るまで ⮌ を押す

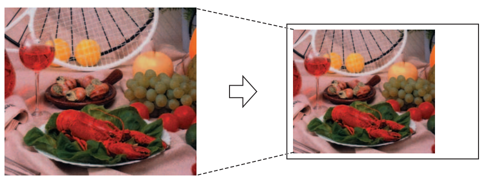
※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した画像は、そのままプリントしてください。
なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。

- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいに写真をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷
撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。 ※DPOF を使用していない場合にプリントできます。 ※動画を選択した場合は、【する】に設定しても、日付はプリントされません。
(10) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
(11) 設定をリセットする
印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L 判、2L 判、はがきに画像をプリントする

画像を L 判サイズやはがきサイズの記録紙にプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

⇒ 50 ページ「記録紙のセット」

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 188 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

（デジカメプリント）が点灯し、画面にデジカメプリントメニューが表示されます。

3 【かんたんプリント】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像が表示されます。

ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

4 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていない場合は、◀/▶を押して画面をスクロールさせます。

- ◀/▶を長押しすると画面を速くスクロールできます。
- （回転）を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

5 ＋/－でプリント枚数を設定し、OK を押す

プリント枚数表示の右側に表示される（テンキー）を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

6 OK を押す

デジカメプリントの設定確認画面が表示されます。

7 【印刷設定】を押す

8 【記録紙サイズ】を押す

9 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【2L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

10 設定確認画面に戻るまで（戻る）を押す

11 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

選択した画像がプリントされます。

デジタルカメラから直接プリントする PictBridge

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

PictBridge

注意

- ■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- ■ PictBridge使用中はメモリーカードの使用はできません。
- ■ 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントすることができますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。
- ■ PictBridge使用中は赤外線プリント機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定について

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラの以下の設定が有効になります。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF プリント（＊ 1）	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正（＊ 2）	する、しない
日付印刷	する、しない

＊ 1：DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

＊ 2：画質補正を「する」に設定した場合は、本製品のメニュー【画質強調】で、設定を行います。

設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- 記録紙サイズ：L 判
- ふちなし印刷：する
- 記録紙タイプ：その他光沢紙
- プリント画質：きれい
- 日付印刷：しない

写真をプリントする

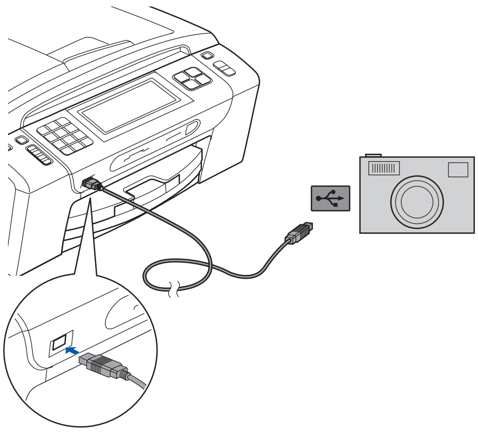
注意

- PictBridge 使用中は、ファクスの送受信ができません。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



注意

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。詳しくは、⇒ 209 ページ「デジタルカメラで行う設定について」をご覧ください。

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

注意

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
操作方法について詳しくは、⇒ 191 ページ「DPOF を使用する場合」をご覧ください。

赤外線プリントする

赤外線プリント

本製品は高速赤外線通信方式である IrSimple™ 規格の受信機能を搭載しています。
カメラ付き携帯電話などで撮影／保存した画像を、赤外線通信で本製品に送り、プリントできます。
カメラ付き携帯電話などに以下の機能が搭載されている必要があります。

- **JPEG 画像が撮影／保存可能な機能**
- **赤外線通信機能（IrSimple™ 規格【または IrDA® 規格】対応の赤外線通信ポート搭載）**

赤外線通信を行う場合は、お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

> 本製品は、赤外線データ通信機能として株式会社 ACCESS の IrFront を搭載しています。Copyright (c)1996-2006 ACCESS CO., LTD.
>
> 赤外線プリントが可能な画像ファイルのサイズは以下のとおりです。
> - JPEG 形式：3MB
> - vNote 形式：約 2.3MB
>
> 赤外線プリントを使用しての動画のプリントはできません。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
フォトメディアキャプチャ
RSS
こんなときは
付 録

1 待ち受け画面の【赤外線プリント】を押す

2 ＋/－でプリント枚数を設定する

> プリント枚数表示の右側に表示される を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。

3 【印刷設定】を押して、希望のプリント設定をする

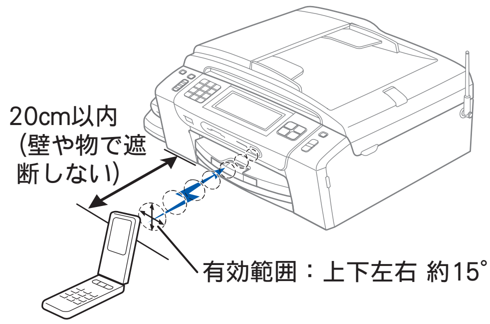
①プリント画質
　プリント時の画質を設定します。
②記録紙タイプ
　記録紙の種類を設定します。
③記録紙サイズ
　記録紙のサイズを設定します。
④ふちなし印刷
　ふちなし印刷をするかしないかを設定します。
⑤日付印刷
　日付印刷をするかしないかを設定します。
⑥設定をリセットする
　設定をお買い上げ時の状態に戻します。

4 目的の設定を選ぶ

①プリント画質
　【標準／きれい】から選びます。
②記録紙タイプ
　【普通紙／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／その他光沢】から選びます。
③記録紙サイズ
　【L判／2L判／ハガキ／A4】から選びます。
④ふちなし印刷
　【する／しない】から選びます。
⑤日付印刷
　【する／しない】から選びます。

5 を押す

6 携帯電話などから本製品に画像を送る



設定した内容で写真がプリントされます。

スキャンした画像を保存する　スキャン TO メディア

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンした画像をメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する

【メディア：メディア保存】

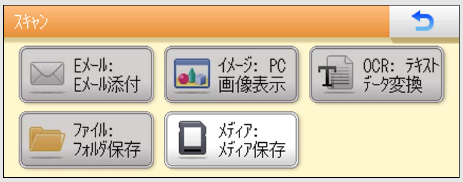
1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

2 原稿をセットする

⇒ 62 ページ「原稿をセットする」

3 スキャン を押す

スキャンメニューが表示されます。



4 【メディア：メディア保存】を押す

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

画質は以下から選びます。

【カラー 150 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100 dpi ／モノクロ 200 dpi】

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

ファイル形式は以下から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
  【PDF ／ JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
  【TIFF ／ PDF】

7 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力する

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。
例）2011 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「110503XX」になります。（「XX」は通し番号です）

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、⌫ を押して消去します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

8 OK を押す

9 スタート モノクロ または カラー スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、【次の原稿はありますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合⇒手順 12 へ

読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順 10 へ

⑩ 【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

注意

■【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了 を押したり、操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータは保存されません。

⑪ 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、スタート モノクロ または カラー スタート を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順⑩、⑪を繰り返します。

⑫ すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押す

スキャンを終了します。

注意

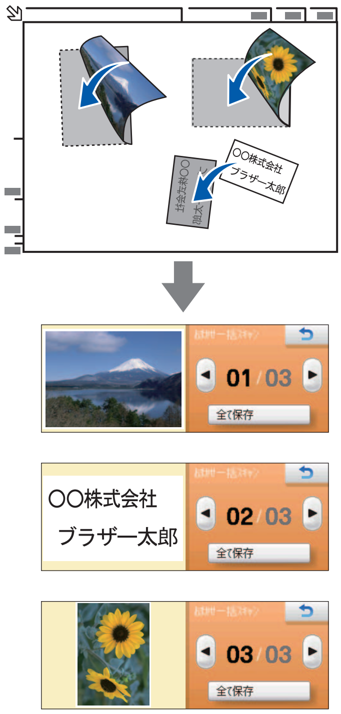
■ デジカメプリント が点滅しているときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

本製品をスキャナーとして使う操作については、画面で見るマニュアルをご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「スキャナー」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

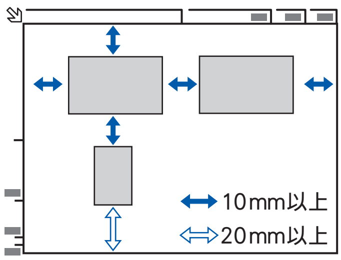


(1) **メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする**

(2) **原稿をセットする**

下記に注意して原稿をセットしてください

- ADF からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 原稿台ガラスの端から 10mm 以上（手前部分のみ20mm以上）空けてセットしてください。
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。



(3) スキャン **を押す**

(4) **【メディア：メディア保存】を押す**

(5) 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

(6) 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される 1 つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【おまかせ一括スキャン】を押す

(8) 【オン】を押す

(9) スタート モノクロ または カラー スタート を押す

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10) OK を押す

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※ ◀ / ▶ で次の画像を確認することができます。

(11)【全て保存】を押す

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに画像が保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

REALLUSION

設定を保持する

(1) スキャン を押す

(2) 【メディア：メディア保存】を押す

(3) 初期値にしたい設定に変更する

(4) ◀ / ▶ を押して画面をスクロールさせ、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (1) ～ (3) のあと、手順 (4) で【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

Memo

第 8 章

RSS

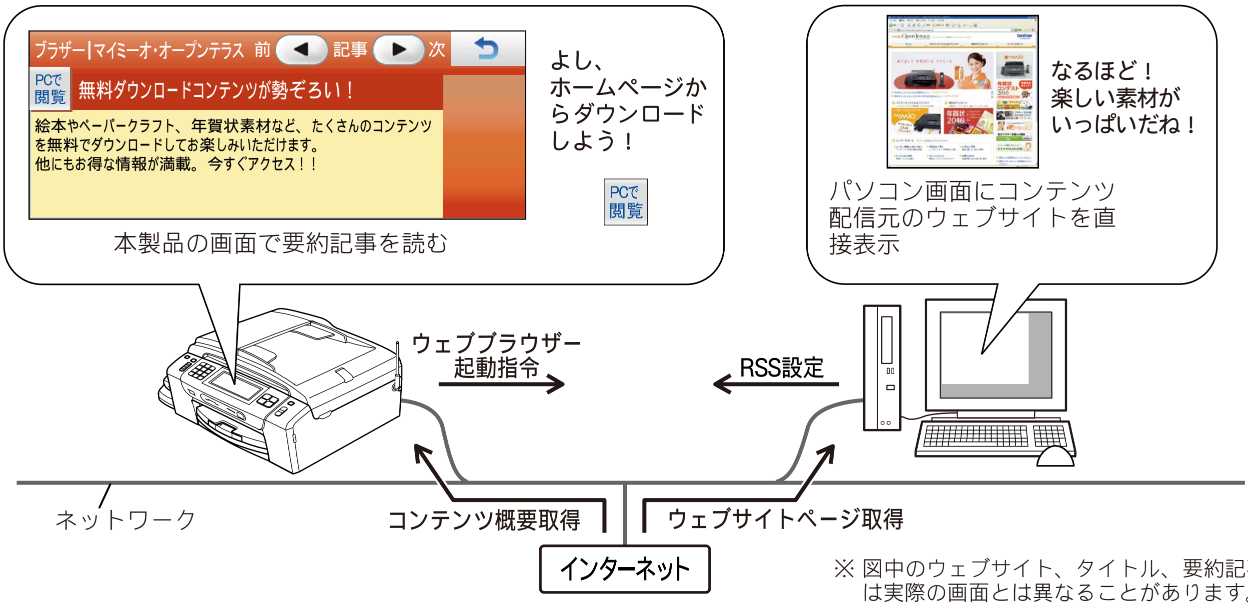
RSS の準備

RSS 閲覧

RSS ステータス

RSS 機能とは

RSS 機能とは、インターネット上のウェブサイト、特にニュースやブログなどから発信されるコンテンツの概要などを本製品の画面上に表示することができる機能です。指定された更新間隔で自動的に新しい情報を取得して表示します。
気になる情報を本製品の画面上で選択すると、ネットワーク上にあるパソコン（Windows®）でコンテンツ配信元のウェブサイトを表示し、更に詳しい情報を閲覧することもできます。



※ 図中のウェブサイト、タイトル、要約記事は実際の画面とは異なることがあります。

RSS 関連用語

本書内で使われているRSSに関連する用語を紹介します。

● RSS

ニュースやブログなど各種のウェブサイトの更新情報を簡単にまとめ、配信するための文書フォーマットの総称です。
本製品で対応している RSS 形式は RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 です。

● フィード

ウェブサイトのコンテンツの概要をRSS/Atomなどの文書形式で配信することです。

● プロキシ

ユーザーのコンピューターとインターネットとの間に設置され、直接インターネットに接続できないユーザーのコンピューターに代わって「代理」としてインターネットとの接続を行うコンピューターのことです。

各種ウェブサイトにおける RSS 配信について

お客様がご覧になっているすべてのウェブサイトがRSS 配信を行っているわけではありません。各ウェブサイト上で、「RSS について」というような案内がないかを、また、RSS 配信を行っているウェブサイトでは下記のような表示をしていることも多いので、これらの表示なども探してみてください。本製品には、各ウェブサイト上で紹介されている RSS サイトの URL（形式例：http://****************.xml）を登録します。

RSS配信を行っていることを示すマークの例

RSS　XML

フィードアイコン（ ）の使用に関しては、Mozilla Foundationによって制定されたフィードアイコンガイドラインに準拠しています。

ネットワークの接続を確認する

RSS 機能を使用するためには、本製品がネットワークに接続されている必要があります。ネットワークは有線、無線のどちらにも対応しています。あらかじめネットワークの接続および設定を行ってください。
⇒かんたん設置ガイド（ネットワーク編）

注意

- RSS 機能を使用するためには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要です。また、プロバイダーとの契約が、従量課金制または定額従量課金制である場合は、RSS の接続時間に応じて（定額従量課金制の場合は決められた時間を越えた場合に）通信料が発生します。
- インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、本製品にもプロキシサーバーの情報を設定する必要があります。
  ⇒ 223 ページ「プロキシを設定する」
- RSS 機能は USB 接続では使用できません。必ず、有線または無線ネットワークに本製品を接続してください。
- 本製品で RSS のコンテンツを選んで [PCで閲覧] を押すとパソコンでウェブサイトを表示しますが、これは本製品とパソコンをともにネットワークに接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動している場合にのみ可能です。
  「RSS 連携ユーティリティ」のインストールについては、かんたん設置ガイド（ネットワーク編）をご覧ください。
- Macintosh をお使いの方は、本製品の画面では RSS を表示できますが、[PCで閲覧] で Macintosh にウェブサイトを表示させることはできません。また、本製品付属のソフトウェア「RSS 連携ユーティリティ」は Macintosh に対応していません。

RSS の設定をする

RSS を設定するためには、次の 2 とおりの方法があります。

- 本製品の RSS メニューから設定する
- ネットワーク上のパソコンで「RSS 連携ユーティリティ」を使用して設定する（Windows® のみ）

－ RSS の設定を本製品とパソコンで行う場合の比較－

設定項目	本製品	RSS 連携ユーティリティ（Windows® のみ）
サイトの URL 登録	○	○
登録サイトの一覧表示	○	○
登録サイトの変更	○	○
登録サイトの削除	○	○
登録サイトのタイトル変更	×	○
登録サイトの表示順変更	×	○
登録希望サイトの URL の取り込み、リスト作成	×	○
RSS のオン / オフ設定	○	○
プロキシ設定	○	○
更新間隔の設定	○	○
RSS 最新情報の手動更新	○	×
RSS スクロール速度の変更	○	×
ウェブサイトを閲覧するパソコンの選択および固定	○	×

お使いのパソコンが Windows® であれば、RSS に関する設定は「RSS 連携ユーティリティ」から行うことをお勧めします。パソコン上ではマウス操作のドラック＆ドロップや、キーボードによる入力が行えるため、URL の登録などは本製品で 1 文字ずつ入力する場合に比べて非常に簡単なためです。また、いくつかの設定がひとつの画面で一度にできます。

⇒画面で見るマニュアル「RSS」－「RSS 連携ユーティリティで RSS 機能の設定をする」

RSS サイトの URL を登録する

本製品から登録する場合の手順です。
RSS を本製品の画面に表示させるためには、情報を取得したい RSS サイトの URL を登録する必要があります。

- お買い上げ時は、弊社サイト「マイミーオ・オープンテラス」が登録されています。「マイミーオ・オープンテラス」は、マイミーオの無料素材をダウンロードしたり、お楽しみコンテンツが見られるスペシャルサイトです。年賀状などのカード素材やコンテスト・プレゼント企画などの情報が定期的に更新されます。
- 登録サイトは最大 8 箇所まで設定できます。
- RSS サイトタイトルは、「サイト 2」などと表示され、本製品から登録 / 変更することはできません。サイトタイトルを変更したい場合は、「RSS 連携ユーティリティ」を使用します。
⇒画面で見るマニュアル「RSS」－「RSS 連携ユーティリティで RSS 機能を設定する」

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 【登録サイト】を押す

登録されている RSS サイトの一覧画面が表示されます。

4 【登録 / 変更 / 消去】を押す

5 【URL 登録 / 変更】を押す

6 「未登録」と表示されている緑のバーを押す

5 項目目以降を選ぶ場合は、▼/▲で画面をスクロールさせてください。

7 画面に表示されているキーボードで URL を入力し、OK を押す

- 「http://」よりうしろの部分を入力してください。
- 「http://」を含めて最大 160 文字まで入力できます。
- 国際化ドメイン名（日本語など）には対応していません。

⇒ 297 ページ「文字の入力方法」

RSS サイトが登録されます。
- 登録を続ける場合⇒手順 6 へ
- 登録を終了する場合⇒手順 8 へ

8 停止 / 終了 を押す

設定を終了します。

RSS サイトの URL を変更する

登録されている RSS サイトの URL を変更することができます。

- RSS の設定をお買い上げ時の状態に戻すには、【メニュー】－【RSS】－【RSS 設定リセット】の順に押します。
- 【メニュー】－【初期設定】－【設定リセット】－【RSS 設定リセット】を押すことでも、RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
⇒ 284 ページ「RSS 設定を元に戻す」

1 「RSS サイトの URL を登録する」の手順 1 ～ 5 を行う

2 変更したい URL の緑のバーを押す

5 項目目以降を選ぶ場合は、▼/▲で画面をスクロールさせてください。

3 画面に表示されているキーボードで URL 変更し、OK を押す

⇒ 297 ページ「文字の入力方法」

4 停止 / 終了 を押す

設定を終了します。

登録している RSS サイトを消去する

登録されているRSSサイトを消去することができます。

1 「RSS サイトの URL を登録する」の手順 1 ～ 4 を行う

2 【URL 消去】を押す

3 消去したい RSS サイトを押す

5 項目目以降を選ぶ場合は、▼/▲で画面をスクロールさせてください。
複数の RSS サイトを消去したい場合は、続けて RSS サイトを押します。

チェックボックスにチェックマークが付きます。

4 OK を押す

【URL を消去しますか ?/ はい / いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

手順 3 でチェックマークが付いた RSS サイトが消去されます。

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

RSS の情報取得間隔を設定する

［更新間隔］

RSS の情報取得間隔を設定することができます。設定された間隔で本製品が自動的にインターネットに接続します。

お買い上げ時は【2 時間】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 【更新間隔】を押す

4 希望の更新間隔を選ぶ

【2 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間】から選びます。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

プロキシを設定する

インターネットの接続環境がプロキシサーバーを経由している場合は、プロキシ設定を行います。

プロキシ情報を調べる

お使いのパソコンなどですでにインターネットを使用している場合は、インターネット接続環境がプロキシサーバー経由であるかどうかを、以下の方法で調べることができます。
ユーザー認証やパスワードを必要とする場合など、以下の方法で調べてもわからない場合は、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者またはネットワーク管理者に問い合わせてください。

● Windows® の場合

1 本製品を接続した同じネットワーク上にあるパソコンでウェブブラウザーを起動する

2 ツールバーのメニューから、[ツール] − [インターネットオプション] の順にクリックする

3 [接続] タブを選び、[LAN の設定] をクリックする

4 [プロキシ　サーバー] の [LAN にプロキシ　サーバーを使用する] にチェックがあるかどうかを確認する

> チェックが付いていれば、プロキシが設定されています。アドレスとポート名を書き留めてください。
> チェックが付いていなければ、プロキシは設定されていません。本製品のプロキシ設定も不要です。

● Macintosh の場合

1 本製品を接続した同じネットワーク上にある Macintosh を起動する

2 アップルメニューから「システム環境設定」を開く

Mac OS X 10.4 の場合

3 [ネットワーク]、[設定]、[プロキシ] の順にクリックする

4 [設定するプロキシサーバーを選択：] のいずれかの項目にチェックがついているかどうかを確認する

Mac OS X 10.5 − 10.6 の場合

3 [ネットワーク]、[詳細]、[プロキシ] の順にクリックする

4 [構成するプロトコルを選択 :] のいずれかの項目にチェックがついているかどうかを確認する

> チェックが付いていれば、プロキシが設定されています。アドレスとポート名を書き留めてください。
> チェックが付いていなければ、プロキシは設定されていません。本製品のプロキシ設定も不要です。

> 「RSS 連携ユーティリティ」(Windows® にのみ対応) には、パソコンのインターネットオプションに設定されているプロキシ情報 (アドレス、ポート名) をワンクリックで取り込む機能があります。

プロキシ設定する

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【プロキシ設定】を押す

4 【アドレス】を押す

5 画面に表示されているキーボードでアドレスを入力し、OKを押す

80 文字以内で入力します。

6 【ポート】を押す

7 画面に表示されているキーボードでポート番号を入力し、OKを押す

> お買い上げ時は【8080】に設定されています。

8 【ユーザ名】を押す

プロキシ使用時にユーザー認証が必要な場合は、ここでユーザー名と 10 11 でパスワードを入力します。

9 画面に表示されているキーボードでユーザー名を入力し、OKを押す

プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を 32 文字以内で入力します。

10 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【パスワード】を押す

11 画面に表示されているキーボードでパスワードを入力し、OKを押す

プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを 32 文字以内で入力します。

12 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【プロキシ経由接続】を押す

13 【オン】を押す

> お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

14 停止/終了 を押す

設定を終了します。

RSS を表示する

本製品に RSS を表示させるには RSS 設定を【オン】にする必要があります。

お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

RSS メニュー画面が表示されます。

3 【RSS】を押す

4 【オン】を押す

インターネットの使用に関する承諾許可の画面が表示されます。

注意

■ このあと【はい】を選ぶと、インターネットに接続します。プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
⇒ 219 ページ「ネットワークの接続を確認する」

5 【はい】を押す

RSS機能が有効になります。インターネットに接続し、最新情報を取得します。その後はあらかじめ設定した更新間隔（初期値は 2 時間ごと）に従って、情報を更新します。
電話回線を利用するダイヤルアップ接続の場合、モデムやターミナルアダプターで切断（タイムアウト）が設定されていない限り、いったんインターネットに接続すると最新情報の取得後も、回線は切断されません。

6 停止/終了 を押す

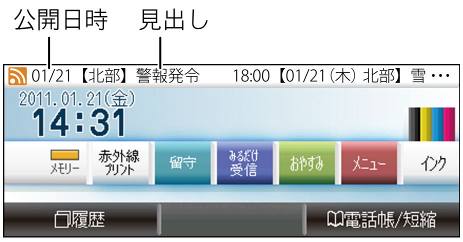
設定を終了します。
RSS が待ち受け画面に表示されます。

RSS を閲覧する

RSS 閲覧

待ち受け画面の RSS 表示について

RSS は待ち受け画面の最上部に表示され、右から左へスクロールします。

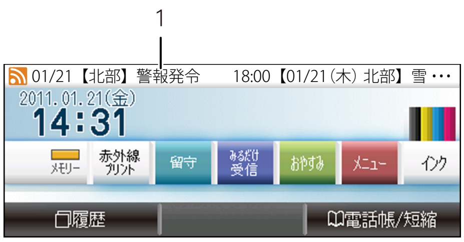


※ 図中のRSSサイト、見出し、要約記事は架空のものです。

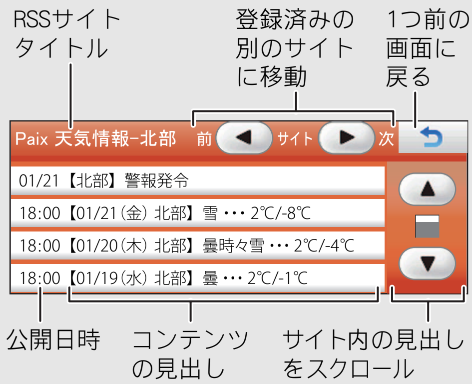
RSS コンテンツを表示する

待ち受け画面で流れているコンテンツの見出しを一覧表示させたり、それぞれの要約記事を本製品の画面で読むことができます。また、気になる記事は、RSS配信元のウェブサイトをネットワーク上のパソコンにワンタッチで表示させて、より詳しい内容を閲覧することもできます。

1 待ち受け画面の RSS 表示（1）を押す



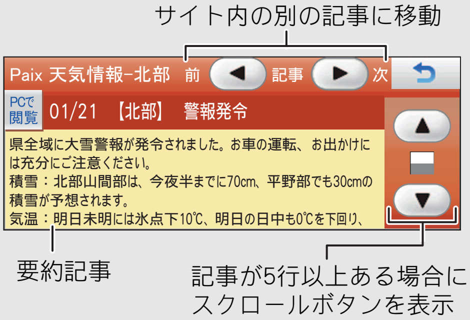
RSS のコンテンツの見出し一覧が表示されます。



> コンテンツの公開日時の新しいものから順に最大 10 件が表示されます。

2 表示された一覧の中から読みたいコンテンツの見出しを押す

要約記事が最大で 200 文字まで表示されます。コンテンツ配信元から要約記事が提供されていない場合、記事欄は空白です。



- より詳しい内容をパソコンで見たい場合（Windows® のみ）⇒手順 3 へ
- 記事の閲覧を終了する場合
  ⇒［↩］を押して、コンテンツ見出し一覧画面に戻ります。
- RSS の閲覧を終了する場合
  ⇒［停止/終了］を押して、待ち受け画面に戻ります。

3 ［PCで閲覧］を押す

現在ウェブサイトを表示させることのできるパソコンの一覧が表示されます。

注意

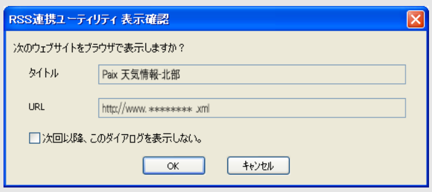
- ■ ウェブサイトをパソコンで閲覧するときは、下記すべての条件が整っていることを確認してください。条件が整っていない場合、本製品の［PCで閲覧］がグレー表示となり、パソコンに情報を送れません。
  - パソコンはネットワーク接続されている（どこかで切断されていないか）
  - パソコンの電源が入っている
  - パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」が起動している
    ⇒画面で見るマニュアル「RSS」－「RSS 連携ユーティリティを起動する」

  すべての条件が整っていても［PCで閲覧］がグレー表示となる場合は、⇒ 228 ページ「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」をご覧ください。
- ■ ［PCで閲覧］は Macintosh には対応していません。
- ■ ウェブサイトの URL が取得できない場合や、URL が 256 文字以上の場合は、［PCで閲覧］がグレー表示となりパソコンに情報を送れません。
- ■ パソコンでウェブサイトを表示させる場合、プロバイダーとの契約内容によっては通信料が発生する場合があります。
  ⇒219ページ「ネットワークの接続を確認する」

4 ウェブサイトを閲覧するパソコンを選択して、［OK］を押す

あらかじめ閲覧するパソコンを設定しておくと、ここでパソコンを選択する手順を省略することができます。
⇒ 229 ページ「閲覧するパソコンを設定する」

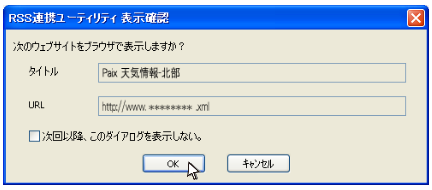
パソコンの画面に「RSS 連携ユーティリティ表示確認」のダイアログボックスが表示されます。



注意

- ■ パソコン一覧に目的のパソコンが表示されない場合は、⇒ 228 ページ「パソコンでウェブサイトを表示できないときは」をご覧ください。

5 パソコン上のダイアログボックスの［OK］をクリックする



パソコンのウェブブラウザーが起動し、指定されたウェブサイトが表示されます。

パソコンでウェブサイトを表示できないときは

下記のような場合は、ネットワークで接続されているパソコンが本製品で正しく認識されていないことが考えられます。

- 本製品とパソコンをともにネットワークで接続し、パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していても、本製品の画面で［PCで閲覧］がグレー表示になり、操作できない。
- パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動し、［PCで閲覧］を押しても、本製品の画面に表示されるパソコン一覧に目的のパソコンが表示されない。

パソコンで次の操作を行ってください。

(1) タスクトレイの［R］をクリックして、表示されるメニューから［設定］－［(目的のデバイス)］を選択する

(2) 「RSS 連携ユーティリティ」ダイアログボックスで［検索］をクリックする

(3) 「デバイスの検索」ダイアログボックスで本製品を選び、［OK］をクリックする

(4) 「RSS 連携ユーティリティ」ダイアログボックスが表示されたら［OK］をクリックする

RSS の最新情報を取得する

［手動更新］

【更新設定】で設定されている更新間隔に関係なく、手動更新をすることで最新の情報を取得できます。

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 【更新間隔】を押す

4 画面右上の【手動更新】を押す

「受付けました」と表示され、インターネットに接続します。

5 ［停止/終了］を押す

設定を終了します。

RSS の設定を変更する

スクロール速度を変更する

[スクロール速度]

待ち受け画面のRSS表示のスクロール速度を変更することができます。

お買い上げ時は【標準】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 【スクロール速度】を押す

4 希望のスクロール速度を選ぶ

【速い／標準／遅い】から選びます。

5 停止/終了 を押す

設定を終了します。

閲覧するパソコンを設定する

[閲覧 PC 設定]

ウェブサイトを表示させるパソコンが常に同じであれば、そのパソコンをあらかじめ本製品に設定しておくことをお勧めします。PCで閲覧 でパソコンにウェブブラウザー起動指令を出すたびに、サイトを表示するパソコンを選択する必要がなくなります。

お買い上げ時は【閲覧 PC を選択しない】に設定されています。

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【閲覧 PC 設定】を押す

ネットワーク上にある設定可能なパソコンが一覧表示されます。

注意

■ パソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動していないと、本製品の設定画面に表示されません。ウェブサイトの閲覧を希望するパソコン上で「RSS 連携ユーティリティ」を起動させてください。

4 希望のパソコンを選ぶ

5 OK を押す

6 停止/終了 を押す

設定を終了します。

RSS の取得状態を確認する

RSS ステータス

RSS の取得が正常に行われているかどうかを確認することができます。

1 【メニュー】を押す

2 【RSS】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【RSS ステータス】を押す

登録した RSS サイトの更新情報について、個々に取得状態を表示します。表示の内容については下表をご覧ください。

4 RSS ステータスの確認が終了したら、停止/終了 を押す

ステータス	状態および対処法	
正常	最新の情報の取得が正常に終了している。	
データエラー： 非対応形式	登録した RSS サイトのデータの形式が、本製品で対応可能な RSS1.0、RSS2.0、Atom1.0 以外である。	本製品では見られない RSS サイトです。登録を削除してください。
データエラー： 非対応文字コード	登録したRSSサイトで使用されている文字のコードが、本製品で対応可能な UTF-8、Shift-JIS、iso-8859-1 以外である。	
データエラー： フィード異常	配信データが壊れている。	本製品には問題がありません。RSS 配信元のデータ修復をお待ちください。
データエラー： 表示情報無し	表示する情報が含まれていない。	本製品には問題がありません。RSS 配信元からのデータ配信をお待ちください。
接続エラー： アクセス先のアドレス不明	RSS サイトのアドレスに誤りがある。	RSS サイトのアドレスを再度確認し、設定し直してください。
接続エラー： サーバへの接続失敗	LAN ケーブルが外れている。 RSS サイトのアドレスに誤りがある。 プロキシのアドレスに誤りがある。 ネットワークやサイトが混み合っている可能性がある。	いずれかもしくはすべてを順に確認し、接続または設定し直してください。正しく接続および設定できている場合は、しばらく待ってから接続してください。
接続エラー： タイムアウト	ネットワークやサーバーが混み合っている。	しばらく待ってから接続してください。
接続エラー： サーバへの接続不可	対応可能なデータサイズを超えているか、本製品では対応できない認証を必要とする RSS サイトである。	本製品では見られない RSS サイトです。登録を削除してください。
接続エラー： サーバへの認証失敗	プロキシのアカウント名、パスワードに誤りがある。	アカウント名、パスワードに誤りがないかを確認してください。わからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせて、正しく設定し直してください。
未接続	まだ RSS サイトへの接続を開始していない。	接続されるまでお待ちください。
未登録	RSS サイト URL が登録されていない。	

第 9 章

こんなときは

本製品が汚れたら

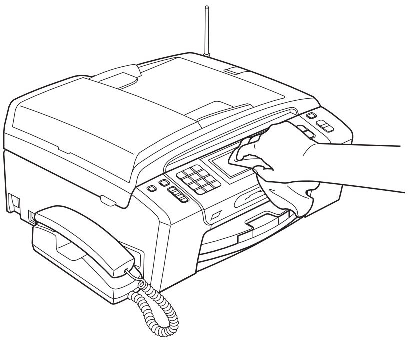
本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

注意

- ■ タッチパネルを清掃するときは、本製品の電源をオフしてください。
- ■ 液体の洗浄剤は使用しないでください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

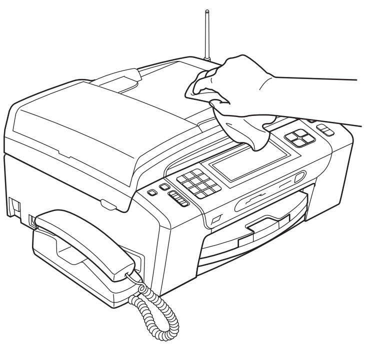


本製品の外側を清掃する

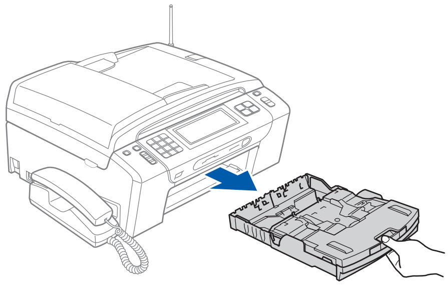
注意

- ■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

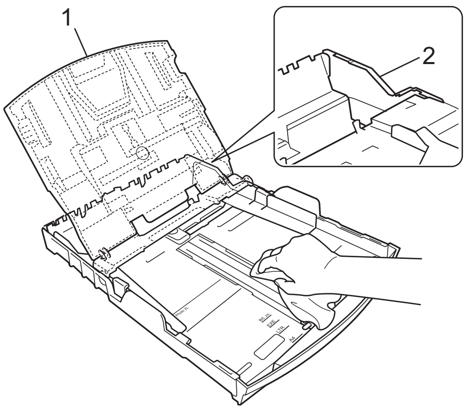
1 本体を乾いた柔らかい布で軽く拭く



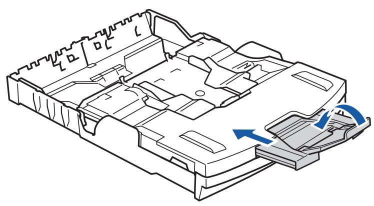
2 記録紙トレイを引き出す



3 トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側および右側の枠の上（2）を軽く拭く



記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてからトレイカバーを開いてください。

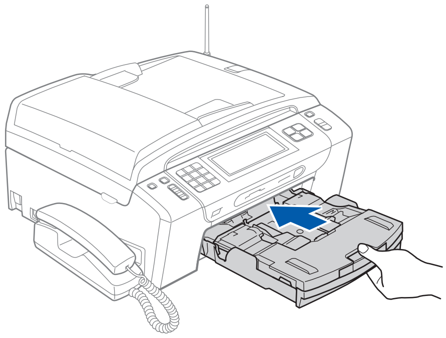


⚠注意

- ● トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- ● トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

4 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



スキャナー（読み取り部）を清掃する

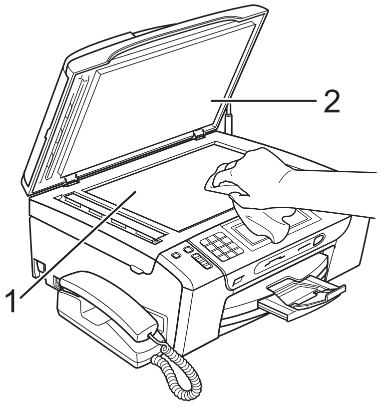
スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

注意

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

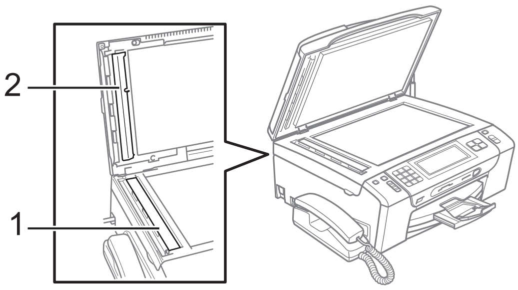
1 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。



2 ADF 読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、ADF 読み取り部（1）と白色のバー（2）を拭いてください。



注意

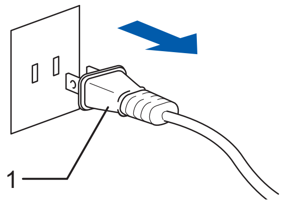
■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部（1）の清掃を行ってください。
非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、念入りに拭いてください。
汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触ってどこに汚れがあるかを確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。
最後に ADF からコピーしてみて、黒い縦線が消えていることを確認してください。

無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーが使用できます。

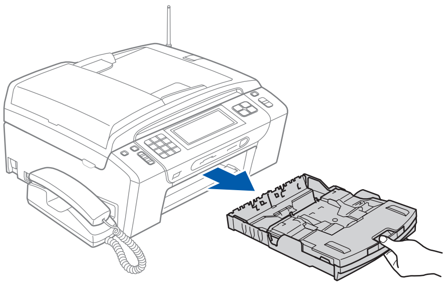
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

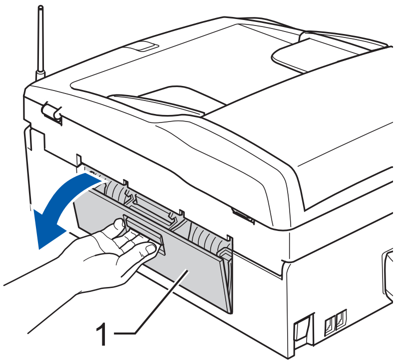
1 電源プラグ（1）をコンセントから抜く



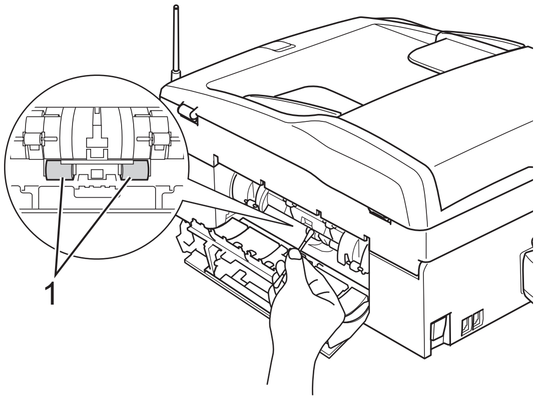
2 記録紙トレイを引き出す



3 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

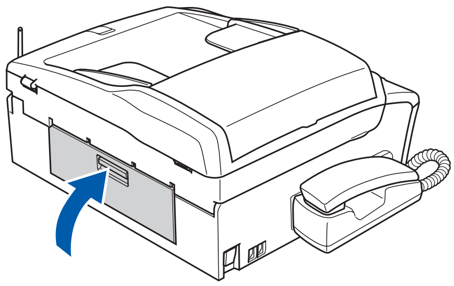


4 オーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた綿棒で給紙ローラー（1）を拭く

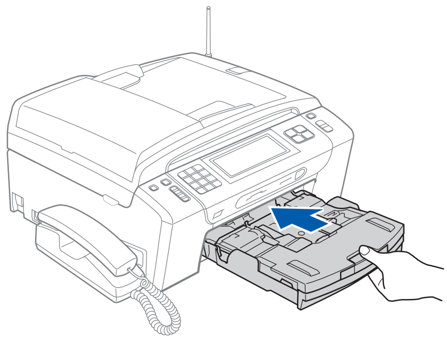


5 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



6 記録紙トレイを元に戻す



7 電源プラグをコンセントに差し込む

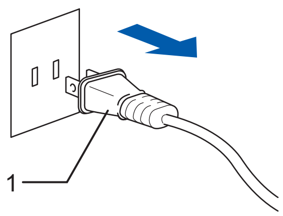
本体内部を清掃する

記録紙の裏面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れている可能性があります。

⚠注意

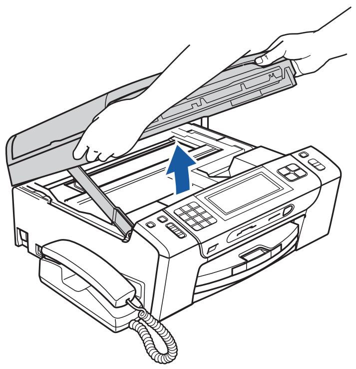
● 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグ（1）をコンセントから抜く



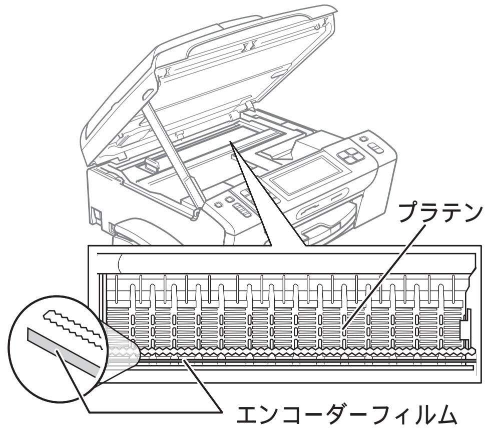
2 両手で本体カバーを開く

本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げてください。



3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテンを軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、乾いた柔らかい布でていねいに拭き取ってください。

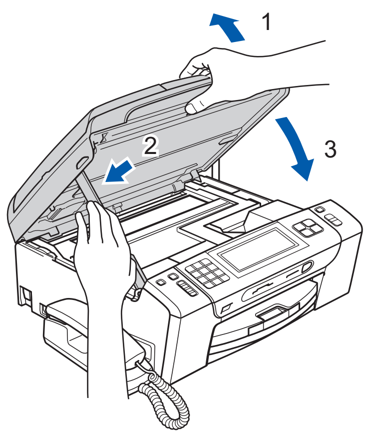


注意

■ エンコーダーフィルム（半透明なフィルム）に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着すると新たな問題を引き起こす原因になります。

4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、本体カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉めます（3）。



⚠注意

● 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

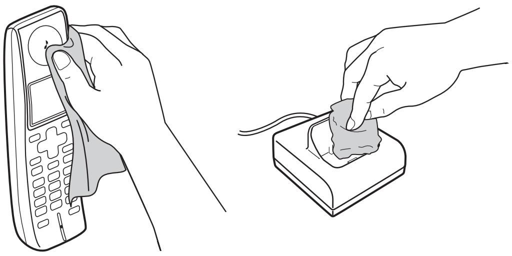
5 電源プラグをコンセントに差し込む

子機と充電器を清掃する

1 充電器から子機を外す

2 充電器の電源プラグを抜く

3 乾いた柔らかい布で子機と充電器を拭く



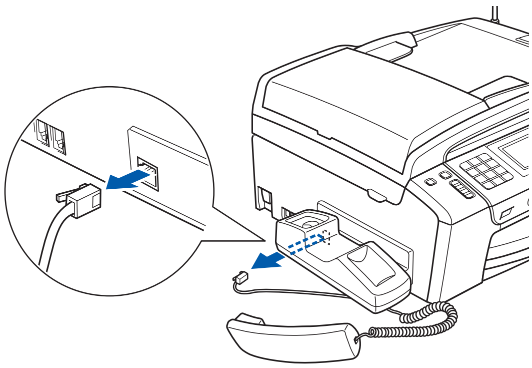
4 充電器の電源プラグをコンセントに差し込む

5 子機を充電器に戻す

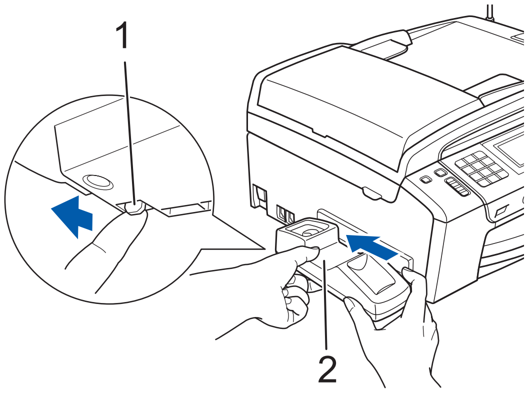
受話器（親機）を使用しないときは

受話器を使用しない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

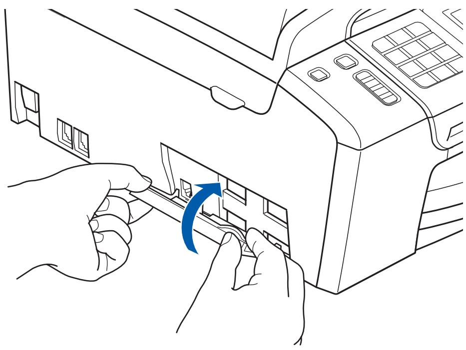
1 受話器コードを外す



2 つまみ（1）を手前に引き、受話器台（2）を矢印の方向に外す



3 受話器台外し口カバーをつける

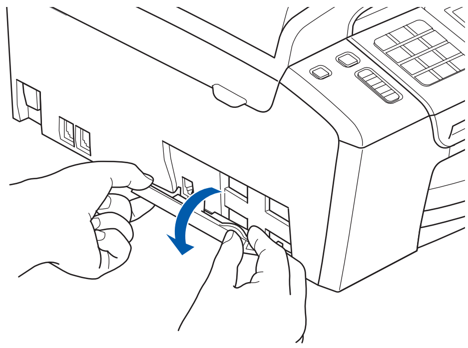


受話器台を再度取り付ける場合

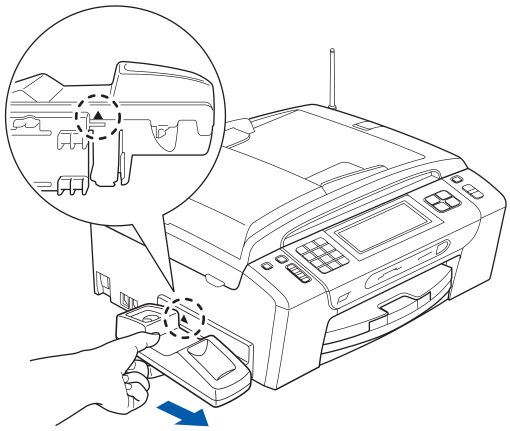
外した受話器台を取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

(1) 受話器台外し口カバーを外す

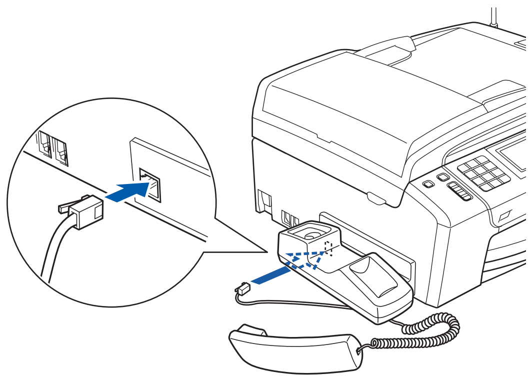
※受話器台外し口カバーを手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。



(2) 本製品と受話器台の▲印を合わせて矢印の方向に引いて取り付ける



(3) 受話器コードを接続する



インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき（ブラックが少なくなったとき）：【まもなくインク切れ BK】
- インクがなくなったとき：【印刷できません　インク交換 BK】

注意

■【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、「印刷設定」をモノクロに設定する必要があります。
  ⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「プリンター」－「印刷の設定を変更する」
- コピー、ファクスの場合は【記録紙タイプ】が【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができなくなりますので、速やかにインクを交換してください。

- 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 241 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 336 ページ「消耗品」
⇒ 337 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

注意

■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。

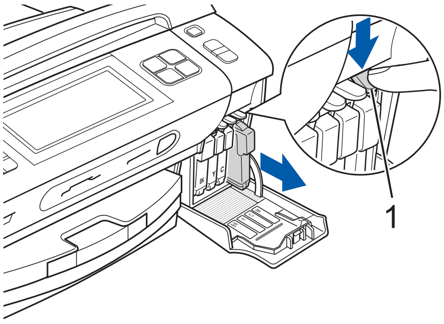
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
（6ヶ月以上のご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）

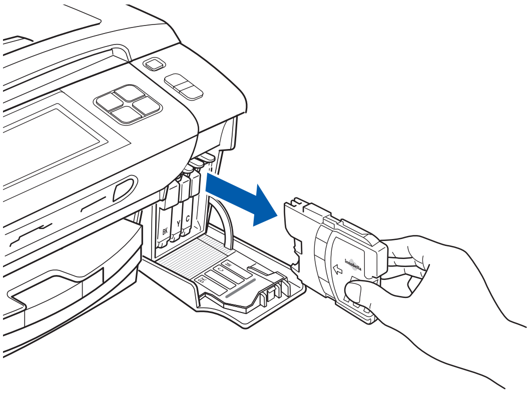
■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

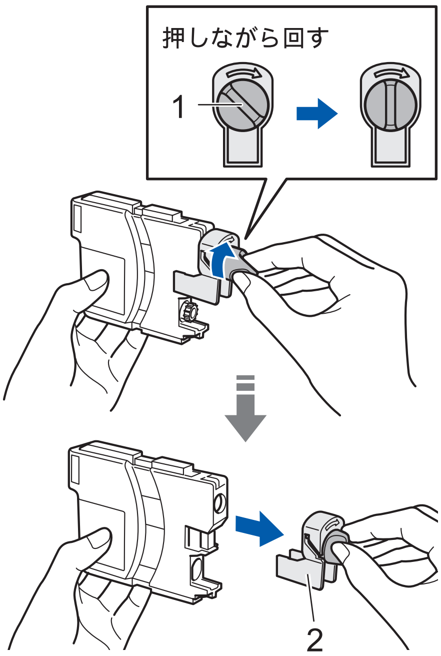
2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げ、インクカートリッジを取り出す





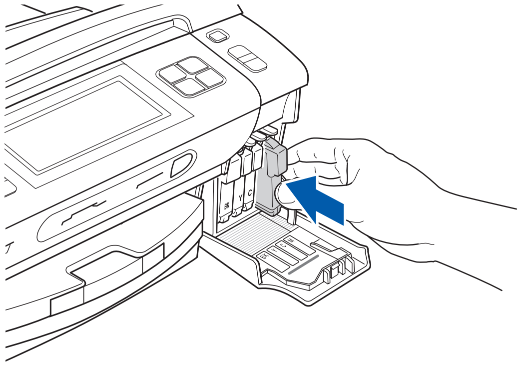
3 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色のつまみ（1）を右に最後まで回して封印を開放し、黄色いキャップ（2）を引き抜きます。

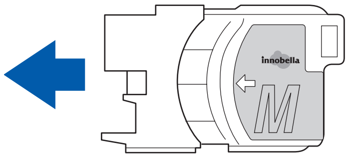


4 新しいインクカートリッジを取り付ける

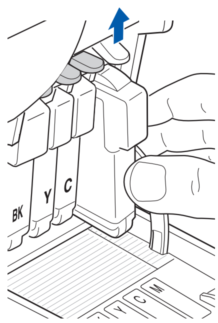
インクカートリッジを押し込むように「カチッ」と音がするまで確実に押します。



インクカートリッジは、本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。



セットしたカートリッジの色のリリースレバーが上がっているか確認します。



注意

■ 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。
⇒ 242 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

5 インクカバーを閉じる

- 【印刷できません　インク交換】または【まもなくインク切れ】のメッセージが表示されているときにインクを交換した場合は、自動的に内蔵カウンターがリセットされます。
- インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

6 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

注意

- 画面に【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【はい】を押さなかった場合、本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- 【カートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。
- インクカートリッジはリリースレバーの色に合わせて正しい位置にセットしてください。間違った位置にセットすると正しい色で印刷されません。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 337 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

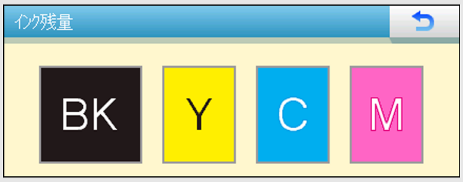
[インク残量]

本製品では、以下の手順でインク残量を確認できます。

1 待ち受け画面の インク を押す

2 【インク残量】を押す

「ブラック／イエロー／シアン／マゼンタ」のインク残量が表示されます。



3 停止/終了 を押す

確認を終了します。

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、画面で見るマニュアルをご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「プリンター」－「プリンター（Windows®）」－「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」
⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「便利な使い方（ControlCenter）」－「デバイス設定」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は自動的にプリントヘッドをクリーニングしています。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

注意

- 電源プラグはコンセントに差したままご利用になることをお勧めします。
- On / Off で電源を切ることにより、本製品を使用しない時の消費電力を極力抑えることができます。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

プリントヘッドをクリーニングします。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

目詰まり時

正常

ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 待ち受け画面の インク を押す

2 【ヘッドクリーニング】を押す

ヘッドクリーニングの設定画面が表示されます。

3 クリーニングする色を選ぶ

色は、【ブラック／カラー／全色】から選択します。

プリントヘッドのクリーニングが開始されます。

【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 2 分かかります。

記録紙の裏面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙の裏面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 236 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 235 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 原稿台やADFに原稿をセットせずに、コピー、スタート モノクロ の順に押してコピーを行う

記録紙が排紙され、それによって本製品の内部がクリーニングされます。

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 待ち受け画面の インク を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷品質チェックシート】を押す

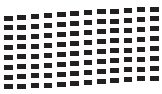
5 カラースタート を押す

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

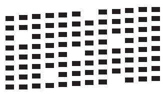
6 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

＜良い例＞



＜悪い例＞



【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。
【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

7 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

8 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？スタートボタンを押す】と表示されます。

9 カラースタート を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。
クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

10 カラースタート を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

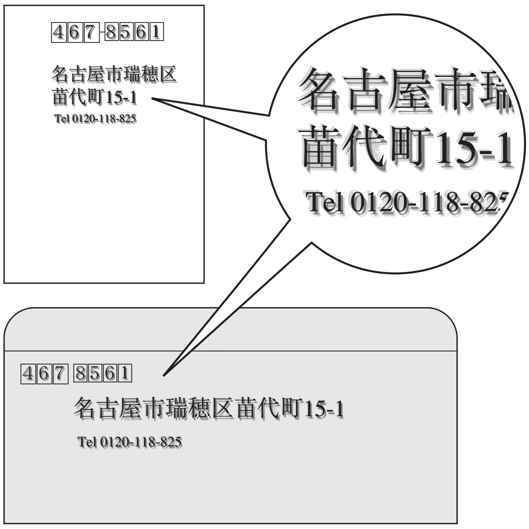
11 停止/終了 を押す

注意

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。



1 **A4 サイズの記録紙をセットする**

⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 **待ち受け画面の インク を押す**

3 **【テストプリント】を押す**

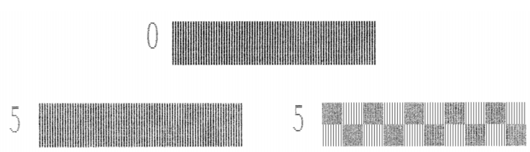
4 **【印刷位置チェックシート】を押す**

5 **カラースタート 押す**

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷位置は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 **600dpi、1200dpi とも「No.0」と最も似ている印字パターンが「No.5」のときは【はい】を、「No.5」以外のときは【いいえ】を押す**

「No.0」と最も似ているのが「No.5」であれば正常です。



<良い例>　<悪い例>

【はい】を押した場合は、印刷位置チェックが終了します。手順 9 へ進みます。
【いいえ】を押した場合は、【600DPI の補正】と表示されます。

7 **600dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を入力する**

【1200DPI の補正】と表示されます。

8 **1200dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を入力する**

9 **停止/終了 を押す**

印刷位置チェックを終了します。

子機のバッテリを交換するときは

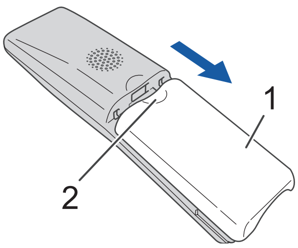
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約 1 年です。交換バッテリ（型名：BCL-BT30）は、本製品または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

注意

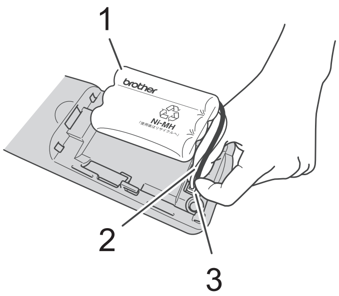
- ■ バッテリを交換したら必ず 12 時間以上充電してください。
- ■ バッテリを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。

1 バッテリカバー（1）を開ける

バッテリカバーのくぼみ部（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリカバーの後端部を持ち上げ、バッテリカバーを外します。

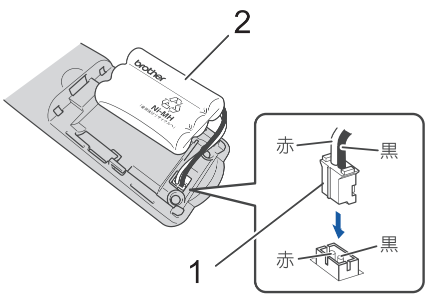


2 バッテリ（1）を取り出し、コード（2）の根元を持ってコネクタ（3）を上へ引き抜く

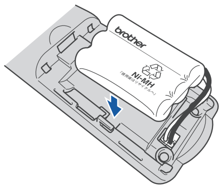


3 新しいバッテリのコネクタ（1）を差し込む

バッテリのビニールカバー（2）を傷付けないように注意して、コネクタを下図の向きに奥まで完全に差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

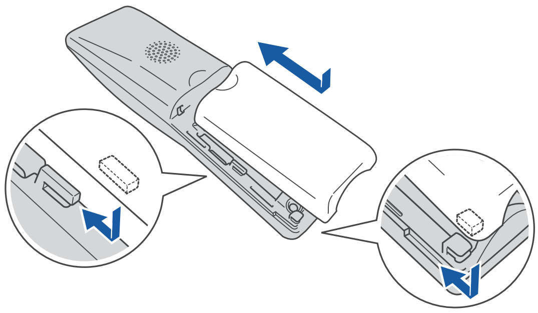


4 バッテリを子機に入れる



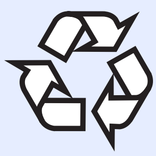
5 バッテリカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



注意

- ■ バッテリには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
  - ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
  - 分解しないでリサイクル箱へ
- ■ 使用済み電池の届け出先は、293 ページをご覧ください。



Ni-MH

紙がつまったときは

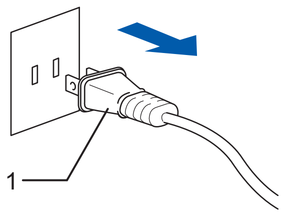
記録紙がつまったときは

記録紙がつまると、ブザーが鳴って、画面に【記録紙が詰まっています】と表示されます。

注意

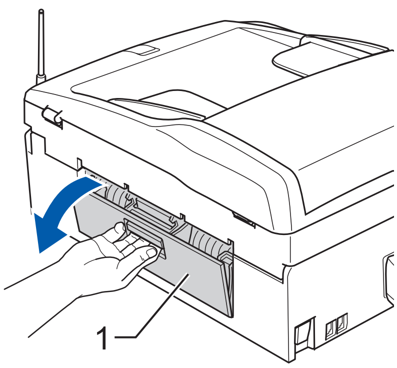
- 紙づまりが解消されても本体カバーの開け閉めは必ず行ってください。
- プリントヘッドの下に紙がつまったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 何度も紙がつまるときは…。
  - 紙の曲がりやそりを直して使用してください。
    ⇒ 51 ページ「カールしている記録紙について」
  - 給紙ローラーを清掃してください。
    ⇒ 235 ページ「給紙ローラーを清掃する」
  - 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
    ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」手順 4
  - 紙の切れ端、クリップなどの異物がマシンに残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
  - 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
    ⇒ 51 ページ「専用紙・推奨紙」
  - それでもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグの抜き差しを行ってください。
- 紙づまりの対処法については、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」で、より詳しい内容をご案内しています。

1 電源プラグ（1）をコンセントから抜く



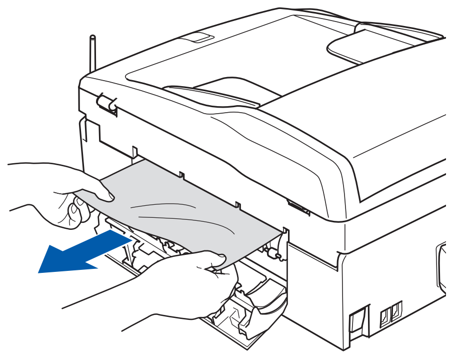
2 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

中央のつまみをつまんで、手前に引いて開きます。



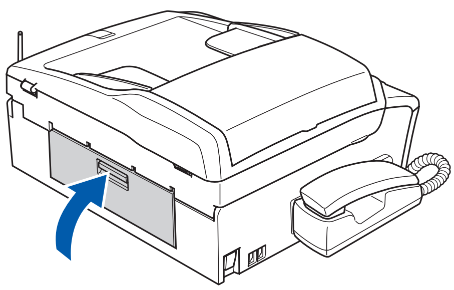
3 つまった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

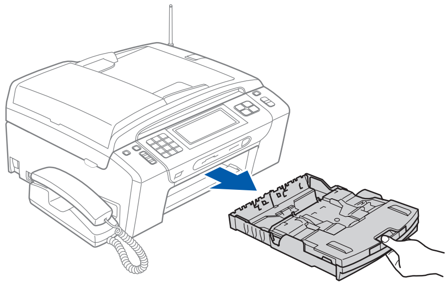


4 紙づまり解除カバーを閉じる

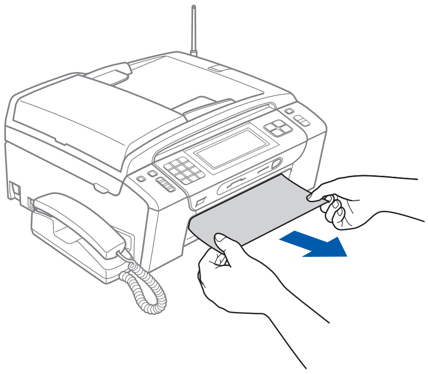
カバーを押して確実に閉じてください。



5 記録紙トレイを引き出す



6 記録紙挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く



注意

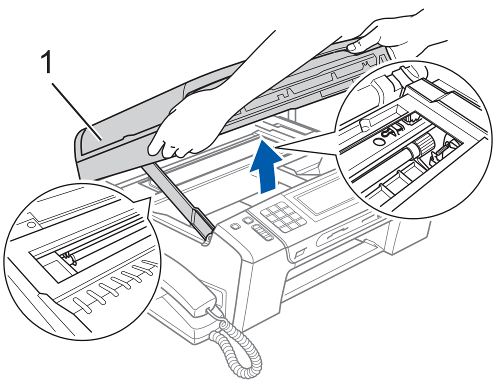
■ 記録紙挿入口に繰り込まれている記録紙は、無理に引き抜かないでください。

7 両手で本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げてください。

残っている記録紙があれば取り除いてください。

紙が破れないように静かに抜き取ります。

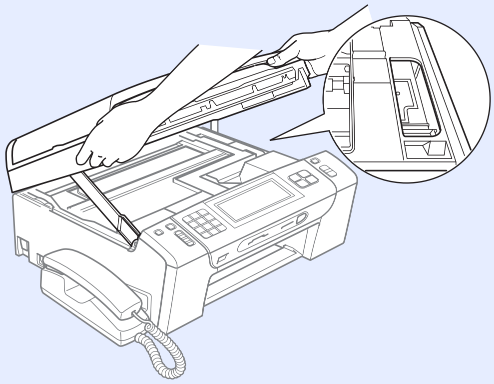


注意

■ プリントヘッドの下に紙がつまったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

■ 内部につまった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



(1) 停止/終了 を長押しする

プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

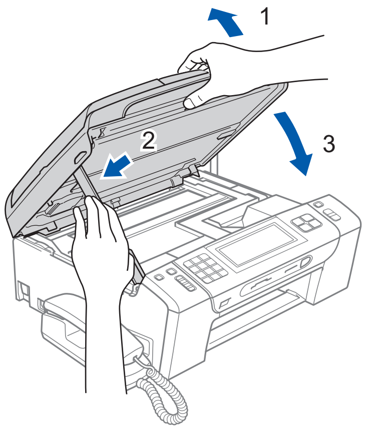
(3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む

本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

■ 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

8 本体カバーを閉める

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し⑴、本体カバーサポートをゆっくり押して⑵、本体カバーを両手で閉めます⑶。

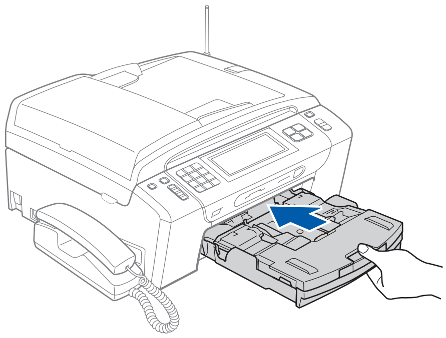


⚠ 注意

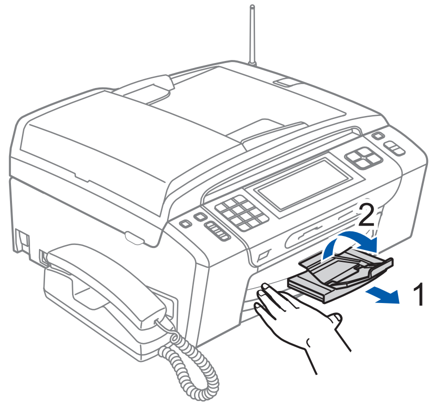
● 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

9 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。



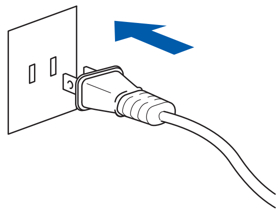
10 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）



注意

■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

11 電源プラグをコンセントに差し込む



12 エラーメッセージが消えていることを確認する

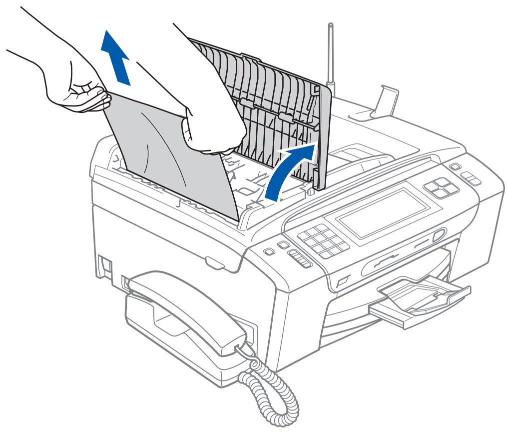
ADF に原稿がつまったときは

ADF で原稿がつまると、ブザーが鳴って、画面に【原稿が詰まっています】と表示されます。

1 ADF から、つまっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF カバーを開き、つまった原稿を抜き取る

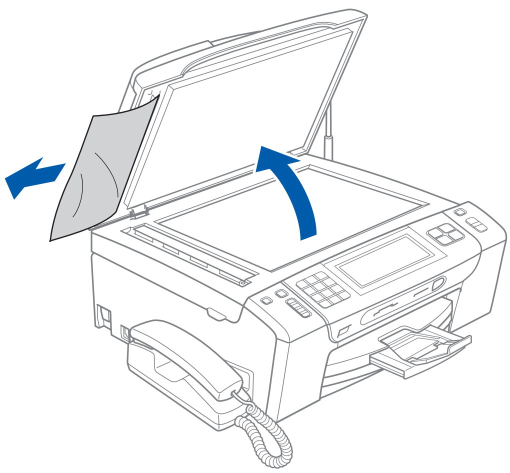
原稿が破れないように静かに抜き取ります。



3 ADF カバーを閉める

4 原稿台カバーを開き、つまった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。



5 原稿台カバーを閉める

6 停止/終了 を押す

エラーメッセージ

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、エラーメッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付け直してください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押してセットします。
印刷できないデータです	本製品では読み込めない画像のデータ形式を赤外線受信した。	画像を以下の形式になるよう、カメラ付き携帯電話などの設定を変更してください。 また、画像を以下の形式に保存し直してください。 • JPEG 形式 • vNote 形式
印刷できません インク交換 BK Y C M	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になりました。ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。 一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません　XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 256 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
印刷できません　46	廃インク吸収パッド（*1）が満杯になりました。	廃インク吸収パッドを交換してください。お客様自身による交換はできませんので、お買い求めいただいた販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
カートリッジがありません	インクカートリッジが装着されていません。	インクカートリッジを装着してください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」
回線設定してください	ADSLのIPフォンに接続している。 PBX に接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。

エラーメッセージ	原因	対処
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
画像のデータサイズが大きすぎます	画像のファイルサイズが大きすぎる。	画像のファイルサイズを以下よりも小さくなるよう、カメラ付き携帯電話などの設定を変更してください。 また、画像の編集をし、ファイルサイズを小さくしてください。 • JPEG 形式：3MB • vNote 形式：約 2.3MB
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを再度閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを再度閉め直してください。
記録紙が詰まっています	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。紙づまりが解消されてもカバーの開け閉めは必ず行ってください。⇒ 246 ページ「紙がつまったときは」
記録紙サイズを確認してください 正しいサイズの記録紙をセットして、スタートを押してください	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	設定したサイズの記録紙をセットして（カラースタート）または（モノクロスタート）を押してください。 ⇒ 50 ページ「記録紙のセット」
記録紙を送れません 記録紙を入れ直して スタートを押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、正しくセットして、（カラースタート）または（モノクロスタート）を押してください。 ⇒ 50 ページ「記録紙のセット」
	スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」
	スライドトレイが手前にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 242 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません　46	廃インク吸収パッド（*1）が満杯になりました。	廃インク吸収パッドを交換してください。お客様自身による交換はできませんので、お買い求めいただいた販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
原稿が詰まっています	ADF に原稿が正しくセットされていない。 原稿が ADF に詰まっている。 ADF で読み込んでいる原稿が長すぎる。	ADF に原稿を正しくセットしてください。 ⇒ 61 ページ「ADF にセットできる原稿」、 ⇒ 62 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする」 ADF につまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 249 ページ「ADF に原稿がつまったときは」 原稿づまりが解消されても ADF の開け閉めは必ず行ってください。

エラーメッセージ	原因	対処
子機使用できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 256 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
受信できませんでした	待ち受け画面の【赤外線プリント】を押して設定完了後、2 分間データの受信や本製品での操作がない。	カメラ付き携帯電話などから本製品に画像を送るときの距離や有効範囲を確認し、送り直してください。 ⇒ 211 ページ「赤外線プリントする」
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外して On/Off ボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから画像をプリントすることもできます。 ⇒ 188 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能なUSBハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 256 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
初期化できません 46	廃インク吸収パッド（*1）が満杯になりました。	廃インク吸収パッドを交換してください。お客様自身による交換はできませんので、お買い求めいただいた販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。

エラーメッセージ	原因	対処
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 256 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
接続が切断されました	赤外線通信が途中で切断された。	カメラ付き携帯電話などから本製品に画像を送るときの距離や有効範囲を確認し、送り直してください。 ⇒ 211 ページ「赤外線プリントする」
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに何も乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを指し込み、異物を取り除いてください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。(相手側を含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
データが残っています	印刷データが本体のメモリーに残っている。	停止/終了 を押してください。 (印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。)
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
話し中／応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
プリンタ使用中	本製品のプリンターが、動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。

エラーメッセージ	原因	対処
まもなくインク切れ BK Y C M	インクの残りが少なくなっている。 このとき、カラーファクスの受信は中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	カラーファクスを受信したいときは、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 337 ページ「消耗品などのご注文について」 なお、モノクロでのファクス受信やカラーコピーに影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。
メディアがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
メモリーがいっぱいです	本製品のメモリーがいっぱいで、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルが読み取れない。	本製品のメモリーをクリアするかメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像データのサイズを小さくしてください。
	空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 119 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 119 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒137 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 120 ページ「すべてのファクスを消去する」 • 留守番電話録音メッセージ ⇒ 158 ページ「音声メッセージを確認する」
メモリーがいっぱいです を押してください	空きメモリーが不足している。	停止/終了 を押して、送信またはコピーをキャンセルします。 メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 119 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 119 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒137 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 120 ページ「すべてのファクスを消去する」 • 留守番電話録音メッセージ ⇒ 158 ページ「音声メッセージを確認する」
メモリーがいっぱいです 読み取り分送信⇒ 中止⇒	空きメモリーが不足している。	すでに読み取りが終わっているファクス原稿は、カラー スタート または スタート モノクロ を押すと送信されます。 停止/終了 を押すと送信をキャンセルします。 メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 119 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 119 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒137 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 120 ページ「すべてのファクスを消去する」 • 留守番電話録音メッセージ ⇒ 158 ページ「音声メッセージを確認する」

エラーメッセージ	原因	対処
メモリカードエラー（メモリーカードがセットされている場合） 使用不能なUSB機器です（USB　フラッシュメモリーがセットされている場合）	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが壊れている。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを抜き、正しいメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品のメモリーがいっぱいで、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルが読み取れない。	本製品のメモリーをクリアするかメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像のサイズを小さくしてください。
モノクロ印刷のみ可能です	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 プリンタードライバーからグレースケール印刷の指示をすれば、モノクロで引き続き印刷できます。通常の使用頻度で約1ヶ月間使用できます。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。 • ファクス 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロで受信し、印刷します。 ただし、次の場合は新しいインクカートリッジを取り付けるまで、モノクロでも印刷できません。 • 電源プラグを抜いたり、空のインクカートリッジを取り外した場合 • 記録紙タイプを【ブラザー BP71 光沢】、【その他光沢】、【OHP フィルム】に設定している場合	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」

*1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収します。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐために、ヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷することができません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかパソコンに転送することができます。

別のファクシミリに転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【サービス】を押す

(4) 【データ転送】を押す

(5) 【ファクス転送】を押す

◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。

◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (6) に進んでください。

(6) 転送先のファクス番号を入力し、スタート モノクロ を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) 【ファクス / 電話】を押す

(4) 【受信設定】を押す

(5) ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【メモリー受信】を押す

(6) 【PC ファクス受信】を押す

(7) メッセージを確認して、【OK】を押す

◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒画面で見るマニュアル「パソコン活用」－「PC-FAX（Windows®）」－「パソコンでファクスを受信する」－「PC-FAX 受信を起動する」

(8) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、＜ USB ＞を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

(9) OK を押す

◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(10)【はい】を押す

(11) 停止/終了 を押す

通信管理レポートを別のファクシミリに転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 【メニュー】を押す

(3) ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【サービス】を押す

(4) 【データ転送】を押す

(5) 【レポート転送】を押す

(6) 転送先のファクス番号を入力し、スタート モノクロ を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

子機のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処
ガイセン　シヨウチュウ	親機またはその他の子機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
オヤキヲ サガシテイマス	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	通話中は、使用圏内に戻ってください。
ツウワ　ケンガイ	電波状態が悪い、親機の電源が入っていない。	親機の状態を確認してください。 子機の 外線 を押してください。
<デンチノコリナシ> ジュウデン シテクダサイ	バッテリがなくなった。	充電器に置いて充電してください。
ガイセンボタンヲ オシテクダサイ コキガ ハズレテイマス	子機または充電器が汚れている。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま約 60 秒経過したときも表示されます。）	子機および充電器は定期的に掃除してください。 ⇒ 237 ページ「子機と充電器を清掃する」 充電器に子機を戻す、または 切 を押すと表示が消えます。
デンワチョウガ イッパイデス ！	電話帳に登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
デンワチョウトウロク トウロクガ　アリマセン	電話帳に登録がない。	電話帳を登録してください。 ⇒ 150 ページ「子機の電話帳を利用する」
ハッシンリレキ　ナシ	発信履歴がない。	ー
ジュウデン　デキマセン。モウイチド セット　シテクダサイ。	充電器に異物がある、または設置不良。（すき間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない／電話を受けられない。	モジュラージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッターを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュラージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるか確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
	電話がかけられない。（受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 再ダイヤル/ポーズ （親機）または 文字切替/P （子機）を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」または「P」が入っていませんか。	「－」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ 70 ページ「親機の音量を設定する」
	通話中に で受話音量の設定ができない。	機能設定中に電話を受けましたか。	機能設定中に電話を受けた場合は、 停止/終了 を押してから で受話音量を変更してください。
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。 ⇒ 70 ページ「親機の音量を設定する」
	受話器からの相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 70 ページ「親機の音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	子機でスピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	スピーカーホン を押して子機を持って話してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない。	呼出回数が0回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【あり】になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。 ⇒ 96 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	携帯電話に電話がかけられない。	ひかり電話サービス、直収電話サービス、ケーブル TV 局が提供する電話サービスをご利用していて、ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを【しない】に設定してください。 ⇒ 78 ページ「ケータイ通話お得サービスを設定する」
	受話器から「ツー」という音が聞こえない。	オンフック（親機）を押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり接続されているか確認してください。 「ツー」という音が聞こえていない場合は、電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているか確認してください。
		電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているか確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。 ⇒ 130 ページ「電話に出ると自動的に受ける」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。 ⇒ 96 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバー・ディスプレイサービス（有料）の契約はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバー・ディスプレイサービスを契約する必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバーディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 96 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」 なお、もし電話会社とナンバー・ディスプレイサービスの契約をしていない場合でも、本製品の電話帳に登録されている相手から電話がかかってきた場合のみ、電話番号は表示されます。
	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 278 ページ「回線状況に応じて設定する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	本製品からメロディが鳴りだして止まらない。	【デモ動作設定】が【する】になっていませんか。	メロディは 停止/終了 を押すと止まります。 本製品は、電話回線を接続しない状態で【デモ動作設定】が【する】に設定されていると、本製品の機能をメロディにのせて紹介するデモ動作を開始します。【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【デモ動作設定】の順に押して、デモ動作を【しない】に変更すると、以後はデモ動作をやめることができます。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	おやすみモードが設定されていませんか。	おやすみタイマーの開始 / 終了時刻を変更してください。または、おやすみモードを解除してください。 ⇒ 76 ページ「おやすみモードに入る時間を設定する」
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド（基本編）
ﾅﾝﾊﾞｰ・ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド（基本編）
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ 96 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ 70 ページ「音量を設定する」
	電話がかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i･ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【ISDN】にしてください。 ⇒ 278 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 （電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を「プッシュ」に設定してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
	携帯電話にかけられない。	ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを【しない】に設定してください。 ⇒ 78 ページ「ケータイ通話お得サービスを設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー･ディスプレイが動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバー･ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	動作しない／着信音が鳴らない。	バッテリのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 245 ページ「子機のバッテリを交換するときは」
		バッテリの残量がなくなっていませんか。	バッテリを充電してください。
			バッテリを交換してください。 ⇒ 245 ページ「子機のバッテリを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
	動作しない／着信音が鳴らない。	着信音量が「OFF」になっていませんか。	着信音量を「OFF」以外に設定してください。 ⇒ 70 ページ「音量を設定する」
		親機の呼出回数が1回に設定されていませんか。	親機の呼出回数を 2 回以上に設定してください。子機は親機よりも遅れて着信音が鳴り始める場合があります。
		親機から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、(子機を) 親機に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。 ⇒288ページ「通話がうまくいかないときは」
		親機で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		子機通信チャンネルの設定を変更しましたか。	変更した場合は、すべての子機のバッテリコネクタを抜き差ししてください。
		親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機のアンテナと子機充電器の電源コードが近くにありませんか。	親機のアンテナから子機充電器の電源コードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)
		子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		携帯電話の充電器や、AC アダプターが近くにあったり、電源が一緒になっていませんか。	親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		2.4GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。 ⇒288ページ「通話がうまくいかないときは」
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。 ⇒130ページ「電話に出ると自動的に受ける」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 116 ページ「子機で受ける」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	親機で、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。 ⇒ 96 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	雑音が入りやすい。	近くに電気製品や障害物はありませんか。	設置環境を確認してください。 ⇒288ページ「通話がうまくいかないときは」
			親機のアンテナを立てたり、向きを調節してみてください。
			親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。
			親機のアンテナから充電器の電源コードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)
			親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		親機を使っても同様に雑音が入りますか。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 278 ページ「回線状況に応じて設定する」
	雑音が入りやすい。 通話が切れる。	子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
			子機の通話パワーを「ツヨイ」に設定してください。 ⇒282ページ「通話パワーの設定を変更する」
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 71 ページ「受話音量を設定する」
	相手から聞こえないと言われる。	送話口(マイク)をふさいでいませんか。	送話口(マイク)をふさがないでください。
	通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 278 ページ「回線状況に応じて設定する」	
	子機の着信音が遅れて鳴る。	故障ではありません。(電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。)	そのままお使いください。
	充電器に置いても「ジュウデンチュウ」と表示されない。	充電器の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	充電器の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
		充電器に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
		充電器が汚れていませんか。	充電器をきれいに拭いてください。 ⇒ 237 ページ「子機と充電器を清掃する」
		バッテリを交換しましたか。	新しいバッテリは充電されていないことがあります。その場合は、子機を充電器に置いて約 2 分後に「ジュウデンチュウ」と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリが寿命ではありませんか。	バッテリを外して、充電器にセットしてください。 • 表示する場合 バッテリの寿命もしくはバッテリコードを確認してください。 • 表示しない場合 充電器の電源プラグと充電器を確認してください。
	充電器からとったり、外線を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機から離れすぎていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリ警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に「<デンチノコリナシ>ジュウデンシテクダサイ」と表示される。	バッテリが消耗しています。	バッテリを交換してください。 ⇒ 245 ページ「子機のバッテリを交換するときは」
			バッテリのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
	警告音（ピーピーピー）が鳴り、画面に「コキガ　ハズレテイマス」と表示される。	充電器が汚れていませんか。	充電器をきれいに拭いてください。 ⇒ 237 ページ「子機と充電器を清掃する」
		充電器から子機を取り、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	子機を充電器に戻してください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。
			通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	ファクス送信／受信ができない。	スタート モノクロ または カラー スタート を押す前に、受話器を戻していませんか。	スタート モノクロ または カラー スタート を押してから受話器を戻してください。 ⇒ 115 ページ「話をしてから送る」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 46 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 279 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 279 ページ「安心通信モードに設定する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 121 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	みるだけ受信を【する】にしていませんか。	カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【ファクス転送】にしていませんか。	カラーファクスを転送することはできません。カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	カラーファクス受信ができない。	安心通信モードを【安心（VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】または【高速】にしてください。 ⇒ 279 ページ「安心通信モードに設定する」
		インクが残り少なくなるとカラーファクスの受信ができません。	カラーファクスを受信したいときは、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。（IP 網を使用している場合）	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 再ダイヤル/ポーズ を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていませんか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。 ⇒ 124 ページ「原稿をすぐに送る」
		オンフック を押してファクスを送信していませんか。	オンフック を押さずに送信してください。
		カラーファクスを原稿台ガラスから送信していませんか。	カラーファクスを複数枚送るときは、ADF をお使いください。 ⇒ 106 ページ「ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る」
	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 122 ページ「画質や濃度を変更する」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド（基本編）
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本製品の読み取り部分、または受信側ファクシミリのプリンターのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 279 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		
	受信／コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒ 50 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 241 ページ「インク残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 121 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。 ⇒ 167 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手にもう一度、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	コピーに黒い縦の線が入る。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 244 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ 131 ページ「自動的に縮小して受ける」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	自動受信できない。	着信回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。 ⇒ 68 ページ「呼出回数を設定する」 または、モノクロスタートやカラースタートを押して手動で受信してください。
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷したいときは「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 121 ページ「ファクスを自動的に印刷する （みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 278 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽く当たるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
	A4 サイズの写真用光沢紙が送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 235 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	ADF（自動原稿送り装置）使用時、本製品の動作が遅くなる。	大量の原稿を連続で読み取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてからご使用ください。
	拡大 / 縮小で「用紙に合わせる」が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、「用紙に合わせる」が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 50 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
	パソコンから印刷できない。 （①～⑫の順番に試してください。）	①本製品とパソコンの接続方式（USB、有線 LAN、無線 LAN）を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド（基本編/ネットワーク編） また、有線 LAN と無線 LAN を切り替える場合は、インストール作業を行う前に、本製品のネットワークメニューから【有線 / 無線切替え】で、新しい接続方式に設定を切り替えてください（【メニュー】→【ネットワーク】→【有線 / 無線切替え】→新たに変更したい接続方式、の順に選択）。
		② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 250 ページ「エラーメッセージ」
		③ USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。 また、LAN ケーブルでの接続の場合は正しく接続されていますか。無線LAN接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側とパソコン側の両方のUSBケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合⇒「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。［プリンター］アイコンを開き、［プリンタ］から［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。 < Windows® 7 > ［スタート］－［デバイスとプリンター］－［プリンターと FAX］の順にクリックします。 < Windows Vista® > ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。 < Windows® XP > ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］の順にクリックします。 < Windows® 2000 > ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。 （①～⑫の順番に試してください。）	⑥ ［通常使用するプリンタ］の設定になっていますか。	［プリンター］アイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックをつけます。
		⑦ ［一時停止］の状態になっていませんか。	［プリンター］アイコンを右クリックして、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。
		⑧ ［オフライン］の状態になっていませんか。	［プリンター］アイコンを右クリックして、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。
		⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	［プリンター］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		（ネットワーク接続のみ） ⑩プリンターが［オフライン］から［オンライン］に変更できない。	①ステータスモニタの状態を確認する ステータスモニタのアイコンがグレーで「オフライン状態です」と表示されている場合は、有線/無線LANの接続状態と本製品の電源が入っているかを再度確認してください。アイコンが緑色で「印刷できます」と表示されている場合は、以下の操作を行ってください。 ②パソコンで［プリンター］アイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックする ③［ポート］タブから［ポートの構成（C）...］を選び、［プロトコル］の設定を「LPR（L）」から「Raw（R）」に変更して、［OK］をクリックする ※ Windows Vista®、Windows® 7 をご使用の場合は、上記②で［プロパティ］をクリックする前に、［管理者として実行］をクリックしてください。またユーザーアカウント制御の警告が表示される場合は、［続行］をクリックして次に進んでください。
		⑪ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑫ ①～⑪までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、かんたん設置ガイド（基本編／ネットワーク編）に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows® のみ） ［スタート］－［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［MFC-XXXX（*1）］－［アンインストール］の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 （*1）XXXX はモデルの型式名です。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 50 ページ「記録紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」手順❹
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」手順❾
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」手順❹

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 235 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 50 ページ「記録紙のセット」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 57 ページ「スライドトレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 246 ページ「記録紙がつまったときは」手順 4
	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	プリンタードライバーの［拡張設定］タブの［カラー / モノクロ］の［カラー設定］をクリックして表示される画面で、［画質強調］のチェックを外してください。
		［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷中は通常よりも速度が遅くなります。印刷速度を優先するときは、Windows®の場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブにある［ふちなし印刷］のチェックを外してください。 Macintosh の場合は、ページ設定画面［用紙サイズ］で［（ふちなし）］の記載がないものを選んでください。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも24ビットカラー以上をご使用ください。Windows® の［スタート］メニューから（［設定］－）［コントロールパネル］－［画面］－［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
		画素数の多いカメラで撮影した画像ですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像は［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像に対して有効です。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」 カールしていない記録紙をご利用ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ❾
	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	Windows®の場合は、プリンタードライバーの［拡張設定］タブで［カラー / モノクロ］の［カラー設定］をクリックし、［双方向印刷］のチェックを外してください。 Macintosh の場合は、印刷設定画面の［拡張設定］タブで［双方向印刷］のチェックを外してください。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 244 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 242 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 50 ページ「本製品で使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 51 ページ「専用紙・推奨紙」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロでしか印刷されない。	カラーインクカートリッジが空かほとんど空になっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。	問題が改善されない場合は、ヘッドクリーニングを数回します。もう一度印刷し直しても、印刷の質が良くならない場合は、インクカートリッジを交換してください。 インクカートリッジを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 239 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。
		インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷の質が悪い。	純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 50 ページ「本製品で使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 51 ページ「専用紙・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 318 ページ「電源その他」
	写真プリントや動画プリントでインクが乾くのに時間がかかる。	記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているか確認してください。 ⇒57ページ「スライドトレイにセットする」
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	PictBridge 対応の USB ケーブルをお使いください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真や動画の画像の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	Windows® XP をお使いの場合、スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。 （黒い縦の線が入る）	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 234 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません　インク交換：XX（*1）】と表示されていませんか。 XX（*1）は BK など、インクのカラー表示です。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。 ※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter をご利用ください。 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 IP 取得方法の変更 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「有線 LAN の設定をする」－「TCP/IP の設定」－「IP 取得方法」 ⇒画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」－「無線 LAN の設定をする」－「TCP/IP の設定」－「IP 取得方法」 ネットワーク設定リストの印刷 ⇒かんたん設置ガイド（ネットワーク編）「ネットワーク設定の確認と初期化」－「ネットワーク設定リストを印刷する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド（基本編）
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
その他	電源が入らない。	On/Off を押して電源をオンにしましたか。	操作パネル上の On/Off を押して、電源をオンにしてください。 ⇒ 43 ページ「電源ボタンについて」
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 53 ページ「記録紙トレイにセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		
	画面の文字が読みにくい。	親機： 画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ 74 ページ「親機の画面設定を変更する」
		子機： 画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ 74 ページ「子機の画面設定を変更する」
	スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる。	アンテナとスピーカーの位置が近くないですか。	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 232 ページ「本製品の外側を清掃する」
	プリントヘッドの下につまった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ① 停止/終了 を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③本体カバーを閉めて、電源プラグをコンセントに差し込む 本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、「画面で見るマニュアル」の「ネットワーク設定」－「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	本製品の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。「タッチパネルエラー」というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、本製品に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

特別設定について

通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1. **【メニュー】を押す**
2. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**
3. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**
4. **【特別回線対応】を押す**
5. **回線種別を選ぶ**

   回線種別は、お使いの環境に合わせて、【一般】、【ISDN】、【PBX】から選びます。
6. **停止/終了を押す**

   設定を終了します。

【PBX】に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

回線状況に応じて設定する

[通話音質調整]

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整を設定することにより改善されることがあります。
お買い上げ時は、「設定 1」に設定されています。親機は「設定 1」から「設定 3」、子機は「設定 1」から「設定 4」の順にお試しください。設定は、親機で行います。

1. **【メニュー】を押す**
2. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**
3. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**
4. **【通話音質調整】を押す**
5. **【子機通話調整】または【親機通話調整】を選ぶ**
6. **現在の設定とは異なるレベルを選ぶ**
7. **停止/終了を押す**

   設定を終了します。

安心通信モードに設定する

［安心通信モード］

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、「安心通信モード」の設定を変えます。お買い上げ時は【高速】に設定されているので、【安心（VoIP）】に設定してお試しください。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【安心通信モード】を押す

4 設定を選ぶ

【安心（VoIP）】に設定してお試しください。

注意

■【安心（VoIP）】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

5 停止/終了を押す

設定を終了します。

- ファクスの送信・受信にかかる時間は、【高速】→【標準】→【安心（VoIP）】の順に、長くなります。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
  ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
- 【安心（VoIP）】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常時は【高速】または【標準】に設定して使用します。
- ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

[ダイヤルトーン設定]

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信ができない場合は、ダイヤルトーンを【検知する】に設定してください。お買い上げ時は【検知しない】に設定されています。

注意

■ 使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】のままお使いください。

1. **【メニュー】を押す**

2. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

3. **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**

4. **【ダイヤルトーン設定】を選ぶ**

5. **【検知する】または【検知しない】を選ぶ**

6. **停止/終了を押す**

設定を終了します。

子機の通信状況を改善する

[子機通信チャンネル]

無線 LAN の通信速度が低下する場合や通話状況がよくない場合、無線 LAN で使用している電波と、親機～子機間の通信で使用している電波が干渉している可能性があります。この場合、親機～子機間の通信チャンネルを切り替えると、改善されることがあります。

ステップ 1 無線 LAN の使用チャンネルを確認する

無線 LAN が使用しているチャンネルを確認するには、ネットワーク設定リストを出力します。

1 **【メニュー】押す**

2 **【レポート印刷】を押す**

3 **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【ネットワーク設定リスト】を押す**

4 **スタート モノクロを押す**

ネットワーク設定リストが出力されます。<Wireless Link Status> の「Operating Ch=」で使用チャンネルを確認してください。

ステップ 2 親機～子機間の通信チャンネルを確認する

親機～子機間の通信チャンネルは、以下の手順で確認します。

1 **【メニュー】を押す**

2 **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す**

3 **▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【その他】を押す**

4 **【子機通信チャンネル】を押す**

5 **表示されている通信チャンネルを確認する**

ステップ3 無線LANと親機～子機間のチャンネルが干渉しないよう設定を変更する

無線 LAN が使用しているチャンネルと、親機～子機間の通信チャンネルで、干渉が起きているかどうか表で確認します。

ステップ 1 のチャンネルがこの場合	ステップ 2 の通信チャンネルがこれなら干渉の可能性があります	これに変更してください
1 ～ 4	設定 2、設定 3	設定 1
5 ～ 8	設定 1、設定 3	設定 2
9 ～ 14	設定 1、設定 2	設定 3

たとえば、ステップ 1 が 7 チャンネル、ステップ 2 が設定 3 の場合は、干渉が起きている可能性があります。設定の変更が必要です。

1 ステップ 2 の 4 までを行う

2 表を参考に、子機の通信チャンネルを変更する

3 停止/終了 を押す

設定を終了します。

他の無線 LAN 機器からの干渉により、子機の通話状況が悪化することもあります。この場合は、本製品をこれらの機器から遠ざけてください。
本製品が認識している無線ネットワークは、【メニュー】を押し、【ネットワーク】－【無線 LAN】－【無線接続ウィザード】を選択して表示される画面で確認できます。

通話パワーの設定を変更する

子機の電波状況がよくないとき、通話パワーを「ツヨイ」にすると、通話品質が改善されることがあります。お買い上げ時は、「ヒョウジュン」に設定されています。

注意

■ 通話パワーを「ツヨイ」に設定したときは、「ヒョウジュン」の設定に比べ連続通話時間が短くなることがあります。

1 子機の 機能 確定 を押す

2 で「ツウワパワー」を選び、機能 確定 を押す

3 で「ツヨイ」を選び、機能 確定 を押す

4 切 を押す

設定を終了します。

子機を増設する

[子機増設モード]

別売りの増設子機を購入して、子機を増設するときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機を使用することができます。親機に付属の子機を含めて 4 台まで増設できます。

増設子機（BCL-D90WH（白）、BCL-D90BK（黒））は別売りです。本製品または子機をお買い上げの販売店または弊社ダイクレクトクラブでお買い求めください。
⇒ 337 ページ「消耗品などのご注文について」

登録方法は増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりすることができます。

機能設定を元に戻す

［機能設定リセット］

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。電話帳・履歴・メモリー内のデータは消去されません。

注意

- 録音した応答メッセージは消去されます。
⇒ 155 ページ「応答メッセージを設定する」
- 通信待ちのファクスは消去されます。
⇒ 142 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」
- 外線使用中または子機使用中は、機能設定リセットを使用できません。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【機能設定リセット】を押す

【機能設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか？実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

ネットワーク設定を元に戻す

［ネットワーク設定リセット］

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【ネットワーク設定リセット】を押す

【ネットワーク設定をリセットしますか ？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか？実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

ネットワーク設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

注意

- RSS の設定時に、プロキシ設定をした場合、［ネットワーク設定リセット］を行うと、プロキシの情報も初期化されます。ネットワークの再設定の際は、RSS のためにプロキシ情報も再度設定してください。

RSS 設定を元に戻す

[RSS 設定リセット]

本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【RSS 設定リセット】を押す

【RSS 設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

RSS 設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

【メニュー】－【RSS】－【RSS 設定リセット】の順に押しても、RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する

[電話帳 & ファクスリセット]

本製品の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お客様の名前・電話番号
  ⇒ 48 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」
- 電話帳の内容
  ⇒ 144 ページ「親機の電話帳を利用する」
- グループダイヤルの内容
  ⇒ 147 ページ「グループダイヤルを登録する」
- 電話の発信履歴、着信履歴、再ダイヤル機能の内容
  ⇒ 83 ページ「いろいろな電話のかけかた」
- ファクスの発信履歴、着信履歴の内容
  ⇒ 112 ページ「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」
- ファクス転送の設定
  ⇒ 135 ページ「ファクスを転送する」
- 留守録転送の設定
  ⇒ 163 ページ「留守録転送を設定する」
- 通信管理レポートの内容
  ⇒ 139 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- メモリーの内容（受信データも消去されます。）
- 録音した応答メッセージ
- 録音した通話

注意

■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかを確認してください。
⇒ 118 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」
⇒ 137 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【電話帳 & ファクスリセット】を押す

【電話帳 & ファクスをリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか？実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

電話帳・履歴・メモリー・録音データが消去され、本製品が自動的に再起動します。

すべての設定を元に戻す

[全設定リセット]

本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

注意

■ 全設定リセットを実行すると、電話帳などの内容を元に戻すことはできません。あらかじめ、電話帳に登録されている電話番号を印刷しておくことをお勧めします。
⇒ 149 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【初期設定】を押す

3 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【設定リセット】を押す

4 【全設定リセット】を押す

【全設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【再起動しますか？実行する場合は、はいを 2 秒間押してください。キャンセルする場合はいいえを押してください。／はい／いいえ】と表示されます。

6 【はい】を 2 秒以上押す

設定した内容が消去され、本製品が自動的に再起動します。

子機の個人情報を消去する

【個人情報消去】

子機の以下の内容を消去します。

- 電話帳の内容
  ⇒ 150 ページ「子機の電話帳を利用する」
- 発信履歴の内容
  ⇒83ページ「最近かけた相手にかける（発信履歴）」
- 着信履歴の内容
  ⇒ 84 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」

1 [機能/確定] [＊ 記号1 トーン] [機能/確定] [＊ 記号1 トーン] を続けて押す

「コジンジョウホウ ショウキョ ? ／ 1. スル 2. シナイ」と表示されます。

2 [1ア] を押す

「スベテショウキョ ? ／ 1. スル 2. シナイ バンゴウニュウリョク」と表示されます。

3 もう一度 [1ア] を押す

個人情報が消去されます。

4 [切] を押す

こんなときは

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の「ソフトウエアダウンロード」から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL

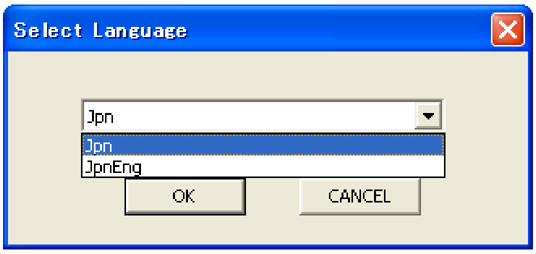
http://solutions.brother.co.jp/

ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル中央部で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

ドライバーをインストールするときの注意

- インストールの途中で下記の画面が表示されたときは、「Jpn」を選択し「OK」をクリックしてください。「JpnEng」を選択すると、ドライバーのインストール時、手順を案内する表示言語が英語になったり、印刷設定のプロパティ画面において表示言語が英語に替わったりします。



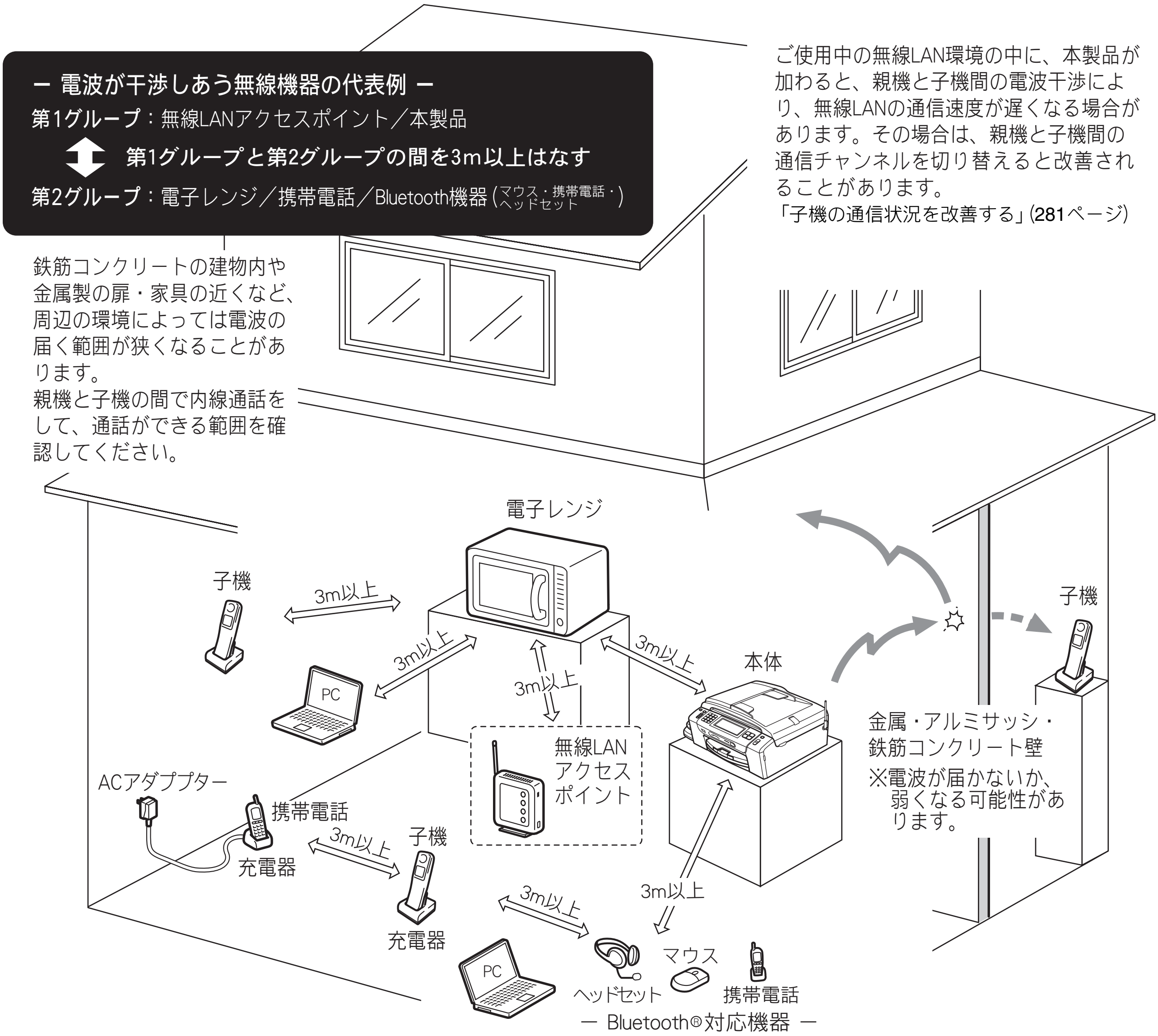
ファームウェアをインストールするときの注意

- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページの「ファームウェア更新時の注意事項」を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

通話がうまくいかないときは

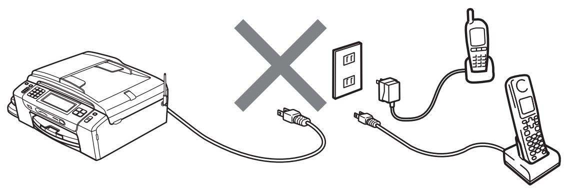
通話や子機の使用に影響をおよぼす可能性のある環境

親機や子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合は、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話状況が良くないときは、以下の環境および⇒ 31 ページ「子機の使用について」を必ずご確認ください。



電源コードの接続のしかたも確認

右図にあるような電気製品などと同じコンセントに接続すると、通話や子機の使用に不具合が起こる場合があります。

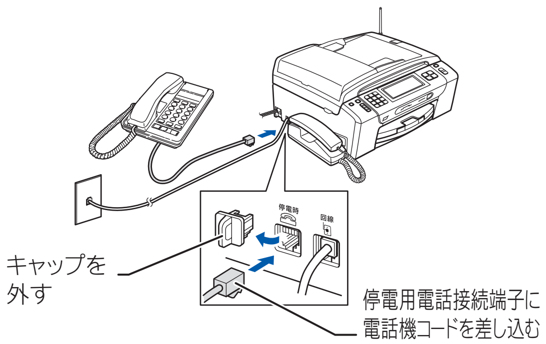


停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをお勧めします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。

停電した場合に、保持または消去されるデータは以下のとおりです。

停電になっても消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（子機）
停電が数時間続くと消去されるデータ	着信履歴（親機）、発信履歴（親機）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、送信メモリー文書



注意

- ■ 停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。
- ■ 日付と時刻は再度設定し直してください。
  ⇒ 47 ページ「日付と時刻を設定する」
- ■ 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。
- ■ 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。
- ■ 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

本製品のシリアルナンバーを確認する

[製品情報]

1 【メニュー】を押す

2 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、【製品情報】を押す

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

3 停止/終了を押す

本製品の設定内容や機能を確認する

[レポート印刷]

1 記録紙をセットする

2 【メニュー】を押す

3 【レポート印刷】を押す

4 ▼/▲を押して画面をスクロールさせ、印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ 141 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【機能案内】：
  本製品のメニューボタンを押して設定できる項目を一覧にします。
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ 149 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ 139 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒142ページ「着信履歴リストを印刷する」

5 スタート モノクロ を押す

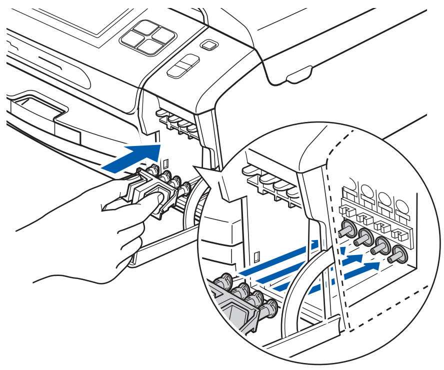
機能案内、設定内容リストまたはネットワーク設定リストが印刷されます。

6 停止/終了 を押す

本製品を輸送するときは

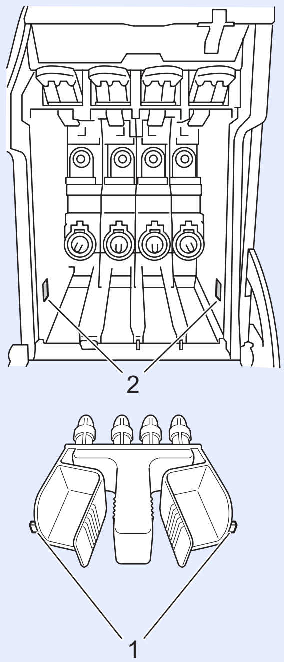
引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

● インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
保護部材がない場合は、インクカートリッジを入れたまま輸送してください。保護部材またはインクカートリッジを取り付けずに本製品を輸送すると、本製品に障害を与える可能性があります。

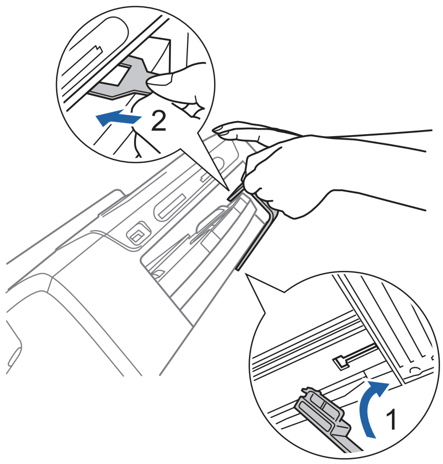


注意

■ 保護部材の突起（1）は、カートリッジのセット部内壁の溝（2）にしっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



● 記録紙トレイには、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。保護部材がない場合は、テープなどで固定してください。



● 電話機コードや USB ケーブル、LAN ケーブルは本製品から取り外してください。

本製品を廃棄するときは

本製品には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、本製品に組み込まれている電池を取り外してください。また、取り外した電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。

- 被覆ははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ
- コード先端を 1 本ずつテープなどで絶縁して、リサイクル箱へ

Ni-MH

本体のバッテリを取り外す

注意

■ バックアップ用のバッテリは、本製品を廃棄するとき以外は外さないでください。本製品が使用できなくなります。

1 本製品に保存されているすべての情報を消去する

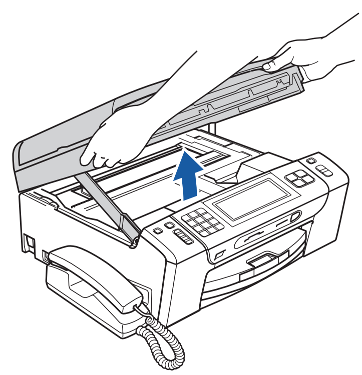
⇒ 285 ページ「すべての設定を元に戻す」

2 本製品の電源を切る

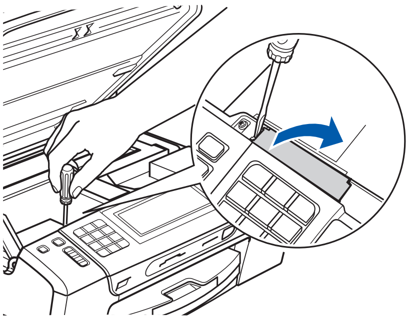
3 電源プラグを抜く

4 本製品の本体カバーを開ける

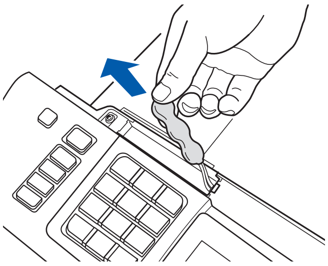
本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げてください。



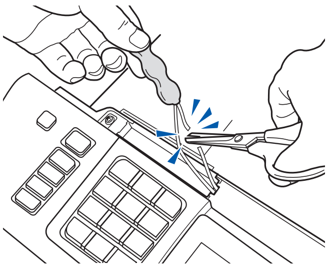
5 **バッテリの入っている溝にマイナスドライバーを差し込み、矢印方向にバッテリカバーを開ける**



6 **バッテリカバーをさらに大きく開き、中からバッテリを引き出す**

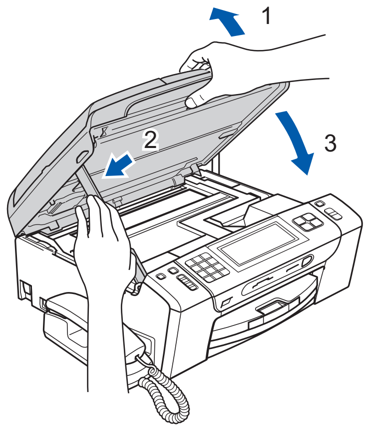


7 **引き出したバッテリのコードの部分を１本ずつはさみで切って、バッテリを取り外す**



8 **取り出したバッテリのコードを１本ずつテープなどで巻く**

9 **本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し（1）、本体カバーサポートをゆっくり押して（2）、本体カバーを両手で閉める（3）**



注意

● 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、ポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
  電話：03-6403-5673
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com/
- 社団法人 電池工業会
  電話：03-3434-0261
  ホームページ：http://www.baj.or.jp
- ブラザー販売（株）　ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
  電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒 564-0045　大阪府吹田市金田町 28-21
  電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株）　ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。
- 一般社団法人 JBRC
  電話：03-6403-5673
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com/

Memo

付録

親機での文字の入れかた

発信元登録、電話帳の登録では、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

入力できる文字（文字列一覧表）

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	ま	まみむめも
か	かきくけこ	や	やゆよゃゅょ
さ	さしすせそ	ら	らりるれろ
た	たちつてとっ	わ	わをん
な	なにぬねの	゛゜	(濁点、半濁点)
は	はひふへほ	ー	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
ア	アイウエオ ァィゥェォ	マ	マミムメモ
カ	カキクケコ	ヤ	ヤユヨャュョ
サ	サシスセソ	ラ	ラリルレロ
タ	タチツテトッ	ワ	ワヲン
ナ	ナニヌネノ	゛゜	(濁点、半濁点)
ハ	ハヒフヘホ	ー	ー

● 英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
ABC	ABCabc	PQRS	PQRSpqrs
DEF	DEFdef	TUV	TUVtuv
GHI	GHIghi	WXYZ	WXYZwxyz
JKL	JKLjkl	:;	:;
MNO	MNOmno	@!	@!

● 数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
1	1	7	7
2	2	8	8
3	3	9	9
4	4	0	0
5	5	*	＊
6	6	#	#

● 記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
!?&	!?&	,.	,.
#$	#$	:;	:;
+-	+ -	<>	< >
=/	=/	[]	[ ]
@%*	@% ＊	()	( )
" '	” ’	␣^_	(スペース) ^_

入力できる文字の種類や文字数

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○（＊1）	20
読み仮名	×	○	○	16
名前（＊2）	○	○	○	10

＊1 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約3秒間の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは［ポーズ］で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。
＊2 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

> 漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

文字の入力方法

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
［あア A1@］［A 1@］	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびにカタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベットの順で切り替わります。
［変換］	ひらがなを漢字に変換します。
［確定］	入力した文字を確定します。
［⌫］	選択中の文字を消去します。［◀］を押して削除したい文字まで（カーソル）を移動して押します。
［◀］［▶］	カーソルを左右に移動します。同じボタンを続けて入力する場合には、［▶］を押します。

> 変換範囲を変更することはできません。

入力例

「鈴木エリ」と入力するときは、以下のように操作します。

操作のしかた	画面表示
［さ］を 3 回押す	す
［▶］を 1 回押す	す
［さ］を 3 回押す	すす
［゛゜］を 1 回押す	すず
［か］を 2 回押す	すずき
［変換］を 1 回押す	スズキ すずき 鈴木 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
［あア A1@］を 1 回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
［ア］を 4 回押す	鈴木エ
［ラ］を 2 回押す	鈴木エリ

子機での文字の入れかた

電話帳の登録では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

子機で入力できる文字と入力制限

入力できる文字（文字列一覧表）

ボタン	カタカナ	英・数字
1ア	アイウエオ ァィゥェォ	1
2カ ABC	カキクケコ	abcABC2
3サ DEF	サシスセソ	defDEF3
4タ GHI	タチツテトッ	ghiGHI4
5ナ JKL	ナニヌネノ	jklJKL5
6ハ MNO	ハヒフヘホ	mnoMNO6
7マ PQRS	マミムメモ	pqrsPQRS7
8ヤ TUV	ヤユヨャュョ	tuvTUV8
9ラ WXYZ	ラリルレロ	wxyzWXYZ9
0ワ	ワヲン、。ー	0
＊記号1 トーン	゛゜ ー （）/ &	- ( ) / &
#記号2	（スペース）! ? @ # ＊ + $ % . , " ' : ; _ = < > [ ] ^	

入力できる文字の種類や文字数

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○（＊1）	20 文字
	名前	○	○	11 文字

＊1 電話帳での電話番号入力時は、0 〜 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。ポーズは 文字切替/P で入力します。入力したポーズはディスプレイに「P」で表示されます。

文字の入れかた（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
カタカナと英数字を切り換える	文字切替/P を押す ※押すたびに カナ（半角カタカナ）、英（アルファベット・数字）が切り替わります。
文字を入れる	0ワ 〜 9ラ、＊記号1、#記号2 を押す
電話番号に「ポーズ」（約 3 秒の待ち時間）を入れる	文字切替/P を押す
文字を削除する	(十字キー) を押して削除したい文字まで ▒（カーソル）を移動し、クリア/音質 を押す
文字を変更する	(十字キー) を押して変更したい文字まで ▒（カーソル）を移動し、文字を削除して入力し直す
文字の間を空ける（スペースを入れる）	(十字キー右) を 2 回押す または #記号2 を 1 回押す
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊記号1 または #記号2）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	(十字キー右) を押して、▒（カーソル）を 1 文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	機能/確定 を押す

入力例

電話帳に「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	画面表示
文字切替/P を押して、カナ入力モードにする	
3サDEF を 3 回押す	ス
▶ を 1 回押す	ス
3サDEF を 3 回押す	スス
＊記号1 を 1 回押す	スズ
2カABC を 2 回押す	スズ　キ
▶ を 2 回押す（または #記号2 を1回押す）	スズ　キ
2カABC を 4 回押す	スズ　キ　ケ
1ア を 2 回押す	スズ　キ　ケイ
2カABC を 5 回押す	スズ　キ　ケイコ

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定は次のようになります。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

親機

赤外線プリントボタン

待ち受け画面の【赤外線プリント】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
印刷設定	プリント画質	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	211 ページ
	記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／**その他光沢**	
	記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4	
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかしないかを設定します。	**する**／しない	
	日付印刷	日付印刷をするかしないかを設定します。	する／**しない**	
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	

留守ボタン

留守モードを設定／解除します。

みるだけ受信ボタン

みるだけ受信設定時に、【みるだけ受信】を押して表示される【メニュー】から、以下の項目を実行します。みるだけ受信が設定されていないときは、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。

設定項目	機能説明	参照ページ
すべてプリント	メモリー内のすべてのファクスを印刷します。	118 ページ
すべて消去	メモリー内のすべてのファクスを削除します。	
みるだけ受信をしない（受信したら印刷）	みるだけ受信を解除します。	

おやすみ

おやすみモードを設定します。

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
基本設定	モードタイマー		ファクスモードに戻る時間を設定します。「切」を選ぶと最後に使ったモードを保持します。	切／0 秒／30 秒／1 分／**2 分**／5 分	43 ページ
	記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム	59 ページ
	記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判	60 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／**中**／大	70 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／**中**／大	
		受話音量	受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小／**中**／大	
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く	74 ページ
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／ 10 秒／ 20 秒／ **30 秒**	
	おやすみタイマー		設定した時刻に留守モードに切替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定をします。	オン／**オフ**	76 ページ
		開始時刻	おやすみタイマーの開始時刻を設定します。	00:00 ～ 23:59（初期値 **22:00**）	
		終了時刻	おやすみタイマーの終了時刻を設定します。	00:00 ～ 23:59（初期値 **07:00**）	
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／ 2 分／ 3 分／ **5 分**／ 10 分／ 30 分／ 60 分	75 ページ

● ファクス / 電話

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照ページ
ファクス / 電話	受信設定	ファクス 無鳴動受信	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	―		67 ページ
		呼出回数	「在宅モード」「留守モード」ごとに、着信してから本製品が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅 モード	0 ～ 15 ／無制限 （初期設定は **7**）	68 ページ
				留守 モード	0 ～ 7 ／トールセーバー（初期設定は **2**）	
		再呼出設定	在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。	**オン（相手にベル）**／ オン（相手にメッセージ）／ オフ（ファクス専用） ※「オン」を選択した場合は、【20 秒／ **30 秒**／ 40 秒／ 70 秒】から時間を選びます。		69 ページ
		親切受信	自動受信する前に電話を取った場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	**する**／しない		130 ページ
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかしないかを設定します。	**する**／しない		131 ページ
		メモリー 受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	**オフ**／ファクス転送／メモリ保持のみ／ PC ファクス受信		135 ページ 136 ページ 137 ページ
	レポート設定	送信結果 レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン+イメージ／オフ／ **オフ+イメージ**		141 ページ
		通信管理 レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／**50件ごと**／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと		139 ページ
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	―		137 ページ
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	－－－＊		160 ページ
	通信待ち確認		タイマー送信などの設定を確認したり解除したりできます。	―		142 ページ
	メロディ設定	着信音	着信音を選びます。	**ベル 1** ～ 4 ／メロディ 1 ～ 30		72 ページ
		保留 メロディ	保留音を選びます。	メロディ 1 ～ 30（**花のワルツ**）		
	留守番電話設定	応答 メッセージ	留守応答メッセージ、在宅応答メッセージの録音／再生／消去をします。	留守応答1／留守応答2／在宅応答		155 ページ
		録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30 秒／ **60 秒**／ 120 秒／ 180 秒		155 ページ
		留守録 モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる／聞こえないの設定をします。	**する**／しない		156 ページ
		留守録転送	「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する／**しない** ※「する」を選択した場合は、転送先を設定します。		163 ページ

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、画面で見るマニュアル「ネットワーク設定」をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto**／Static／RARP／BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	**Auto**／100B-FD／100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	－
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	－
			電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	－
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	－
			通信モード	無線 LAN の通信モードを表示します。	－
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	有線 / 無線切替え			有線 LAN ／無線 LAN を切り替えます。	**有線 LAN** ／無線 LAN
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	－

● RSS

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
RSS	RSS	RSS を本製品の待ち受け画面に表示させる／表示させないの設定をします。	オン／**オフ**	225 ページ
	登録サイト	登録されている RSS サイトを一覧表示します。		221 ページ
	登録サイト：登録 / 変更 / 消去：URL 登録 / 変更	URL を新たに登録、または登録されている RSS サイトの URL を変更します。		
	登録サイト：登録 / 変更 / 消去：URL 消去	登録されている RSS サイトを消去します。		
	スクロール速度	待ち受け画面の RSS 表示のスクロール速度を設定します。	速い／**標準**／遅い	229 ページ
	更新間隔	RSS の情報取得間隔を設定します。	**2 時間**／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間、手動更新	222 ページ
	閲覧 PC 設定	コンテンツの概要画面から、パソコンでウェブサイトの表示をするときに、閲覧 PC 設定画面を表示させる／表示させないの設定をします。	（PC リスト表示）／**閲覧 PC を選択しない**	229 ページ
	プロキシ設定：プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／**オフ**	223 ページ
	プロキシ設定：アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	－	
	プロキシ設定：ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	**8080**	
	プロキシ設定：ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	－	
	プロキシ設定：パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	－	
	RSS ステータス	RSS の取得状態を確認できます。	－	230 ページ
	RSS 設定リセット	本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	221 ページ

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	141 ページ
	機能案内	本製品の機能一覧を印刷します。	290 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	149 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	139 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	290 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）の設定内容を印刷します。	290 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	142 ページ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	289 ページ

● 初期設定

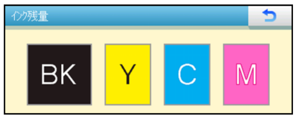
<table>
<tr><th>機能</th><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定内容
(太字：初期設定値)</th><th>参照
ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="17">初期設定</td><td colspan="2">時計セット</td><td>画面に表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。</td><td>－</td><td>47 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">発信元登録</td><td>ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。</td><td>ファクス／名前</td><td>48 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">回線種別設定</td><td>お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。</td><td>プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS／自動設定</td><td>46 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ナンバーディスプレイ</td><td>ナンバー・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。</td><td>あり／なし</td><td>96 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="6"></td><td>着信鳴り分け</td><td>電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。</td><td>－</td><td>98 ページ</td></tr>
<tr><td>非通知着信拒否</td><td>電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。</td><td>する／しない</td><td rowspan="4">99 ページ</td></tr>
<tr><td>公衆電話拒否</td><td>公衆電話からの着信を拒否します。</td><td>する／しない</td></tr>
<tr><td>表示圏外拒否</td><td>サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。</td><td>する／しない</td></tr>
<tr><td>着信拒否モニター</td><td>着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。</td><td>する／しない</td></tr>
<tr><td>キャッチディスプレイ</td><td>キャッチホン・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。</td><td>あり／なし</td><td>103 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">子機増設モード</td><td>増設子機（別売り）の ID 登録をします。登録後、増設子機が使用できます。</td><td>増設／登録子機を消去</td><td>282 ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">安心通信モード</td><td>安心通信モードに設定します。</td><td>高速／標準／安心（VoIP）</td><td>279 ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="5">設定リセット</td><td>機能設定リセット</td><td>本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>283 ページ</td></tr>
<tr><td>ネットワーク設定リセット</td><td>本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>283 ページ</td></tr>
<tr><td>RSS 設定リセット</td><td>本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>284 ページ</td></tr>
<tr><td>電話帳 & ファクスリセット</td><td>本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。</td><td>－</td><td>284 ページ</td></tr>
<tr><td>全設定リセット</td><td>本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。</td><td>－</td><td>285 ページ</td></tr>
</table>

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
初期設定	その他	ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかしないかを設定します。	検知する／**検知しない**	280 ページ
		特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**一般**／ ISDN ／ PBX	278 ページ
		通話音質調整	親機や子機での通話中やファクス通信時の回線状況に応じて調整します。	子機通話調整（**設定 1** ／設定 2 ／設定 3 ／設定 4）／親機通話調整（**設定 1** ／設定 2 ／設定 3）	278 ページ
		子機通信チャンネル	使用環境によって、通話状況が良くないときなどに設定します。	設定 1 ／設定 2 ／**設定 3**	281 ページ
		ケータイ通話お得サービス	携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信するように設定します。	する／しない	78 ページ
		事業者識別番号	【ケータイ通話お得サービス】を【する】に設定している場合に、携帯電話番号の前に付ける事業者識別番号を設定します。	－	80 ページ
		デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	－

インクボタン

待ち受け画面の

を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

機能	設定項目	機能説明	設定内容	参照ページ
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	243 ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	242 ページ
	インク残量	インク残量を確認します。		241 ページ

履歴

待ち受け画面の【履歴】を押して表示される画面で、発信／着信履歴を確認できます。
※ナンバー・ディスプレイをご契約されていない場合は、着信履歴は表示されません。

電話帳

待ち受け画面の【電話帳 / 短縮】を押して表示される画面で、以下の設定が行えます。

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
メニュー	電話帳登録	電話帳に、相手先番号と名前を登録します。	144 ページ
	グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	147 ページ
	変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	145 ページ、148 ページ
	消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	145 ページ、148 ページ
	子機に転送	電話帳に登録されている相手先を子機に転送します。	148 ページ

コピーボタン

を押して表示される画面で、コピーに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	高速／**標準**／高画質	169 ページ
拡大 / 縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	**等倍 100%** ／拡大／縮小／用紙に合わせる／カスタム（25% ～ 400%）	169 ページ
倍率	拡大 / 縮小で【拡大】を選んだ場合に設定します。	240% L 判⇒ A4 204% ハガキ⇒ A4 142% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4 113% L 判⇒ハガキ	
	拡大 / 縮小で【縮小】を選んだ場合に設定します。	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／ OHP フィルム	170 ページ
記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判	170 ページ
明るさ	原稿に合わせて設定します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／＋ 1 ／＋ 2	170 ページ
コントラスト	コントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／＋ 1 ／＋ 2	170 ページ
インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	オン／**オフ**	173 ページ
スタック / ソート	複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。	**スタックコピー** / ソートコピー	174 ページ
レイアウトコピー	2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	**オフ（1 in 1）** ／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター（3 x 3）	176 ページ
ブックコピー	原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを修正してコピーします。	オン／オン（画面で確認）／**オフ**	178 ページ
透かしコピー	コピー画像にロゴマークやテキストなど、設定した画像を追加します。	－	180 ページ
お気に入り設定	お気に入り設定コピーに関する下記の設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。 コピー画質・拡大 / 縮小・記録紙タイプ・記録紙サイズ・明るさ・コントラスト・スタック / ソート・レイアウト コピー・ブックコピー・透かしコピー・インク節約モード	保存／名前の変更：お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3 ※	171 ページ
お気に入り	お気に入りに登録した設定を呼び出します。	お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3 ※	

※お気に入りとして保存するときに名前を登録すると、その後は登録名が表示されます。

「透かしコピー」を【透かしコピーをする】にすると、以下の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照ページ
テンプレートを使う	あらかじめ設定されている文字を選択し、位置やサイズなどを設定します。	テキスト:**COPY**／CONFIDENTIAL／重要 位置：A／B／C／D／**E**／F／G／H／**I**／全面 サイズ：小／**中**／大 回転:-90°／**-45°**／0°／+45°／+90° 透過度：-2／-1／**0**／+1／+2 色：赤／オレンジ／黄／緑／青／紫／**黒**		181 ページ
スキャン／メディアの画像を使う	スキャンした画像、または、USBフラッシュメモリーやカードから画像を選択し、位置やサイズなどを設定します。	スキャン	透過度:-2／-1／**0**／+1／+2	183 ページ
		メディア	位置：A／B／C／D／**E**／F／G／H／I／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90°／**-45°**／0°／+45°／+90° 透過度:-2／-1／**0**／+1／+2	182 ページ

デジカメプリントボタン

を押して表示される画面で、デジカメプリント機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照ページ
かんたんプリント	簡単な操作で、写真や動画の画像のプリントをします。	プリント画質：標準／**きれい** 記録紙タイプ：普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／**その他光沢** 記録紙サイズ：**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4 明るさ：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 コントラスト：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 画像強調：する／**しない** 画像トリミング：**する**／しない ふちなし印刷：**する**／しない 日付印刷：する／**しない** 設定を保持する 設定をリセットする		190 ページ
こだわりプリント	色を補正したり、トリミングをして、写真や動画の画像をプリントします。	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正： -1 ／ **0** ／ +1 色あざやか補正： -1 ／ **0** ／ +1 赤目補正 モノクロ セピア 自動色補正＆赤目補正	194 ページ
		トリミング	－	204 ページ
インデックスプリント	インデックスシートのプリントまたは番号を指定して写真や動画の画像のプリントをします。	インデックスシート	速い／ 1 行 6 個印刷 きれい／ 1 行 5 個印刷	192 ページ
		番号指定プリント	－	193 ページ

また、写真プリントや動画プリント前に表示される確認画面の【印刷設定】では、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
プリント画質 *1	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	205 ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／**その他光沢**	205 ページ
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4	205 ページ
プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**	
明るさ *2	プリントの明るさを調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	205 ページ
コントラスト *2	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	206 ページ
画質強調 *2	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 **しない**	206 ページ
	<シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		
	<カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。		
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかしないかを設定します。	**する**／しない	206 ページ
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかしないかを設定します。	**する**／しない	206 ページ
日付印刷 *1	日付印刷をするかしないかを設定します。	する／**しない**	207 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	207 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	207 ページ

*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。
*2 こだわりプリントからプリントする写真や動画を選択した場合は表示されません。

インデックスシートプリント前に表示される確認画面の【印刷設定】を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢	205 ページ

ファクスボタン

を押して表示される画面で、ファクス機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真	122 ページ
原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く	
同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	－	128 ページ
みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**	110 ページ
タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	する（現在の時刻を表示）／**しない**	125 ページ
とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する／**しない**	126 ページ
リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する／**しない**	124 ページ
ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準／機密／**しない**	127 ページ
ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準／機密／タイマー／**しない**	132 ページ
海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**	126 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	124 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	
電話帳 / 短縮	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	－	113 ページ
履歴	発信／着信履歴を表示します。 ナンバー・ディスプレイをご契約されていない場合は、着信履歴は表示されません。	－	112 ページ
録音※	通話を録音したり、録音されたメッセージを再生したりします。	－	85 ページ
キャッチ※	キャッチホンを受けるときに押します。	－	92 ページ
音量※	受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小／**中**／大	70 ページ

※受話器をとった場合に表示されます。

スキャンボタン

を押して表示される画面で、スキャン機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	参照ページ
E メール：E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	画面で見るマニュアル「スキャナー」
イメージ：PC 画像表示	スキャンした画像をパソコンに保存します。	
OCR：テキストデータ変換	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	
ファイル：フォルダ保存	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	
メディア：メディア保存	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	213 ページ

また、【メディア：メディア保存】では、以下の項目を確認および設定できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照ページ
スキャン画質	スキャン TO メディア時の画質を設定します。	**カラー 150 dpi** ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 200 × 100 dpi ／モノクロ 200 dpi	213 ページ
ファイル形式	スキャンするときのファイル形式を設定します。	カラー：**PDF** ／ JPEG モノクロ：TIFF ／ **PDF**	
ファイル名	ファイル名を設定します。	−	
おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	オン／**オフ**	214 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	−	215 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げの状態に戻します。	−	

子機

電話帳ボタン

を押して表示される画面で、電話帳の登録・変更が行えます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
デンワチョウトウロク		子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	150 ページ
(ナマエ)	ヘンコウ	電話帳に登録した内容を変更・削除します。	–	150 ページ
	ショウキョ			
	テンソウ	電話帳に登録した内容を親機に転送します。	–	151 ページ

機能ボタン

待ち受け状態で

を押して表示される画面で、各機能を設定できます。

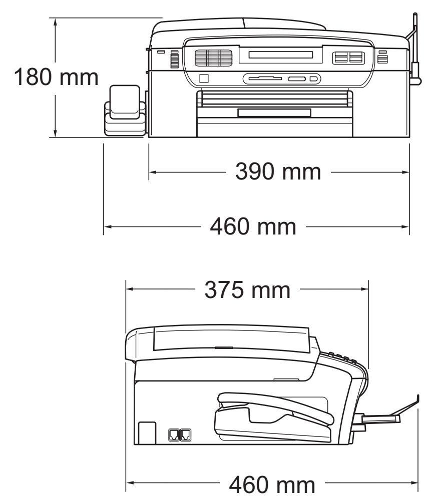
設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
メイドウオンセッテイ	1. チャクシンオン	着信音を選択します。	**ベル**／アヴェ・マリア／オオキナフルドケイ／ガボット／キラキラボシ／シキヨリ [ハル] ／ハナノワルツ	73 ページ
	2. チャクシン　ナリワケ	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		98 ページ
	3. ボタンカクニンオン	ボタンを押したときの音を設定します。	**ON** ／ OFF	71 ページ
ハッシンリレキ	1 ケン　ショウキョ	発信履歴から 1 件削除します。	－	101 ページ
	ゼンケン　ショウキョ	発信履歴の内容をすべて削除します。	－	101 ページ
	デンワチョウトウロク	発信履歴から電話帳に登録します。	－	151 ページ
チャクシンリレキ*1	1 ケン　ショウキョ	着信履歴から 1 件削除します。	－	101 ページ
	ゼンケン　ショウキョ	着信履歴の内容をすべて削除します。	－	101 ページ
	デンワチョウトウロク	着信履歴から電話帳に登録します。	－	151 ページ
ガメンノコントラスト		子機の画面の明るさを設定します。	1 ～ 7 段階（4）	74 ページ
トケイセッテイ		現在の日付と時刻を登録します。	－	48 ページ
ツウワパワー		子機の電波環境が悪いときに設定します。	**ヒョウジュン**／ツヨイ	282 ページ
コキ　ゾウセツ		増設子機の ID 登録をします。	－	282 ページ

*1 ナンバー・ディスプレイをご契約されていない場合は、着信履歴は表示されません。

仕様

親機

外形寸法



※5.0 インチワイドカラー液晶タッチパネル搭載。液晶タッチパネルは非常に精度の高い技術でつくられていますが、画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

ファクス / 電話

形式	ITU-T Super Group3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JPEG
電送時間 *1	約 3 秒
通信速度	33600/31200/28800/26400/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動切換）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：215.9mm 長さ：297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：215.9mm 長さ：355.6mm
記録紙サイズ	A4
最大有効読取幅 *2	原稿台ガラス使用時：204mm ADF（自動原稿送り装置）使用時：208mm
最大有効記録幅	204mm
記録方式	インクジェット式
読取方式	CIS 方式
ハーフトーン	256 階調
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85 本 /mm • ファイン / 写真：7.7 本 /mm • スーパーファイン：15.4 本 /mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7 本 /mm • ファイン：7.7 本 /mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
メモリー記憶枚数 *3	約 400 枚

*1 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で高速モード（33600bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2 A4 サイズの原稿を使用し、A4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。

*3 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／ mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

コピースピード	モノクロ：23 ページ / 分 (A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード) カラー：20 ページ / 分 (A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード)
拡大縮小	25 ～ 400（%）
印刷解像度	• モノクロ： 最大 1200（主走査）× 1200（副走査）dpi • カラー： 最大 600（主走査）× 1200（副走査）dpi

電源その他

使用環境	温度：10 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80% ※印刷品質のためには、20 ～ 33 ℃でご利用になることをお勧めします。
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	コピー時：約 21W*1 待機時：約 7.5W スリープモード時：約 4.5W 電源 OFF 時：約 0.55W
稼働音	動作時：50dB(A) 以下 ※お使いの機能により数値は変わります。
メモリー容量	48MB
本体重量	8.5kg ※インクカートリッジを含む

*1 画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターンにおける計測値

プリンター＆スキャナー

インターフェース	USB2.0 ハイスピード / 有線 LAN（10BASE-T/100BASE-TX）/ 無線 LAN（IEEE 802.11b/g）対応
印刷方式	インクジェット式
印刷解像度	最大 1200（主走査）× 6000（副走査）dpi
印刷速度	モノクロ 35 枚 / 分 カラー 28 枚 / 分 (最高速モード、普通紙、当社基準 A4 原稿) 約 27 秒（L 判）
スキャナー解像度	光学解像度 原稿台ガラス使用時： 最大 1200（主走査）dpi × 2400（副走査）dpi ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大 1200（主走査）dpi × 600（副走査）dpi

フォトメディアキャプチャ

対応メディア	• メモリースティック TM メモリースティック PROTM、メモリースティック デュオTM、メモリースティック PRO デュオ TM、メモリースティック マイクロ TM (M2TM) も使用できます。メモリースティック デュオ TM、メモリースティック PRO デュオ TM、メモリースティック マイクロ TM (M2TM) を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • コンパクトフラッシュ®(TYPE1) マイクロドライブ、TYPE2 には対応していません。 無線 LAN カードなどのデバイス系のカードには対応していません。 • SD メモリーカード /SDHC メモリーカード miniSD カード/microSD カードを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • xD-Picture CardTM 本製品は、xD-Picture CardTM TypeM/TypeM+/TypeH シリーズに対応しています。 • USB フラッシュメモリー ※MagicGateTM の音楽データには対応していません。 ※著作権保護機能には対応していません。
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	デジカメプリント • JPEG 形式 拡張子が「.JPG」のファイルに限ります。 プログレッシブJPEGには対応していません。 動画プリント • AVI 形式の MotionJPEG • MOV 形式の MotionJPEG ファイルとフォルダーをあわせて 999 個までの対応です。 5階層以上のフォルダーには対応していません。 スキャン TO メディア カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ：TIFF 形式、PDF 形式

子機

コードレス子機

使用周波数	2.40GHz ～ 2.4835GHz
変調方式	周波数ホッピング方式
使用可能距離	見通し距離約 100m
充電完了時間	約 12 時間
使用可能時間（充電完了後）*1	待機状態：約 200 時間、 連続通話：約 7 時間
使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、 湿度：45 ～ 80％
電源	DC3.6V （子機用バッテリ使用）
消費電力	ー
外形寸法	43（横幅）× 25（奥行き）× 154（高さ）mm
質量	約 140g （子機用バッテリ含む）

*1 子機をお使いの環境によって短くなることがあります。

充電器

使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、 湿度：45 ～ 80％
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約 1.4W（充電中）/ 約 0.5W（待機中）
外形寸法	74（横幅）× 70（奥行き）× 48（高さ）mm
質量	約 125g

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		サポートしている機能	インターフェイス	CPU/システムメモリー	必要なメモリー	推奨メモリー	必要なディスク容量	
							ドライバー	その他のソフトウェア
Windows®*1	Windows® 2000 Professional	プリント、PC-FAX 送信*4・受信、スキャン、リムーバブルディスク*5 RSS*6	USB、10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）	Intel® Pentium® II プロセッサ相当	64MB	256MB	110MB	340MB
	Windows® XP Home*2 Windows® XP Professional*2				128 MB			
	Windows® XP Professional x64 Edition*2			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	256 MB	512 MB		
	Windows Vista®*2			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	512MB	1GB	600MB	530MB
	Windows® 7*2				1GB（32 ビット）2GB（64 ビット）	1GB（32 ビット）2GB（64 ビット）	650MB	
	Windows Server® 2003（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）	プリント	10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）	Intel® Pentium® III プロセッサ相当	256 MB	512 MB	50MB	なし
	Windows Server® 2003 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）				
	Windows Server® 2003 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® III プロセッサ相当				
	Windows Server® 2003 R2 x64 Edition（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）	512MB	1GB		
	Windows Server® 2008（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当 64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）		2GB		
	Windows Server® 2008 R2（ネットワーク接続によるプリント機能のみ）			64 ビットのプロセッサ（Intel® 64またはAMD64）				
Macintosh	Mac OS X 10.4.11、10.5.x	プリント、PC-FAX 送信*4、スキャン、リムーバブルディスク*5	USB*3、10/100Base-TX（イーサネット）、無線 LAN（IEEE 802.11b/g）	PowerPC G4/G5 Intel® Core™ プロセッサ	512MB	1GB	80MB	400MB
	Mac OS X 10.6.x			Intel® Core™ プロセッサ	1GB	2GB		

*1 Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上が必要です。
*2 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*3 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*4 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*5 リムーバブルディスクはフォトメディアキャプチャの機能です。
*6 ネットワーク接続のみ

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

＝あ＝

● **アース端子**

アース（接地）を行う場合に使用します。使用環境によっては、アースを行うと通信性能や耐ノイズ性能が改善します。

● **アプリケーションソフトウェア**

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**

専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェース**

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**

Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

＝か＝

● **回線種別**

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

＝さ＝

● **親切受信**

ファクスを着信したときに間違えて電話を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッター**

ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

＝た＝

● **ターミナルアダプター**

ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**

Windows® の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**

ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**

1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **取りまとめ送信**

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

＝な＝

● **ナンバー・ディスプレイ（ND）**

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示するサービスです。このサービスを利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

＝は＝

● **ファクス転送**

受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタードライバー**

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**

1 枚の原稿を 9 分割し、9 枚の記録紙に拡大コピーします。

＝ま＝

● **メモリー送信**

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

＝ら＝

● **リアルタイム送信**

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン（ログイン）

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

＝数字＝

● 2in1

2 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4 枚の原稿を縮小し、1 枚の記録紙にコピーする機能です。

＝ A to Z ＝

● ADF（自動原稿送り装置）

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、黒（Black）によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ（2.54cm）幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● EM64T

Intel® Extended Memory 64 Technology の略。IA-32 アーキテクチャを拡張したもので、より大容量のメモリーにアクセスできるようになります。ソフトウェアも EM64T に最適化する必要があります。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX（構内交換機）

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer（パーソナルコンピューター）の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC/AT 互換機

IBM 社が開発したパーソナルコンピューター（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定することができます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略でスキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard（vcf 形式）

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManagerなどのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP で標準サポートされています。

索引

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

り

る

れ

ろ

特許、規制

VCCI 規格

本製品は、クラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。
Windows® XP Professional x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system Professional x64 Edition です。
Windows Server® 2003 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating system です。
Windows Server® 2003 x64 Edition の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system です。
Windows Server® 2008 の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating system です。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating system です。
Windows® 7 の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating system です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Illustrator、Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD は、Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標です。
FaceFilter Studio は、Reallusion Inc. の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
メモリースティック、メモリースティック デュオ、メモリースティック PRO、MagicGate、メモリースティック PRO デュオ、メモリースティック マイクロ、M2 はソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードはパナソニック株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD-Picture Card は富士フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。
PictBridge は、CIPA（Camera&Imaging Products Association）の商標です。
「デジカメ」は三洋電機株式会社の登録商標です。
AOSS は株式会社バッファローの商標です。
ACCESS、IrFront は、株式会社 ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。
IrSimple™ は Infrared Data Association® の商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

RSS のソフトウェアは、expat（http://expat.sourceforge.net/）を使用しています。
この expat は MIT License によって配布されています。
以下は、MIT/X Consortium License によって義務付けられている著作権表示およびライセンス文、免責条項です。

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ 161 ページ「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○＊

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

Memo

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）と Bella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の 2 つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC11BK
イエロー（黄）	LC11Y
シアン（青）	LC11C
マゼンタ（赤）	LC11M
4 個パック［ブラック（黒）/ イエロー（黄）/ シアン（青）/ マゼンタ（赤）各 1 個］	LC11-4PK
黒 2 個パック［ブラック（黒）2 個］	LC11BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2 回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは、住友スリーエム社製 OHP フィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
  3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

< 代引き >・・・ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
< お振込み（銀行・郵便）>　　・・・ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
　※振り込み手数料はお客様負担となります。
< クレジットカード >・・・カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 ゆうちょ銀行　振替口座　00860 － 1 － 27600

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

消耗品はブラザー純正品をお使いください

ブラザーMyMioシリーズについて、印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q＆A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からも簡単なサポート情報をみることができます。

サポートサイト

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ブラザーマイポータル

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

0120-590-381　受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00 ／土　9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

安心と信頼の修理サービス

無償　ブラザー サービス エクスプレス

SERVICE EXPRESS ブラザーサービスエクスプレス

マイミーオ	1年間無償保証

製品ご購入後１年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
  ※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。
- **7日以内に修理品を返送。**
  弊社到着後、７日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。

※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
電話 ：03-5472-7008　FAX ：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後５年です。（印刷物は２年です）

brother

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1